

令和4年度障害者のスポーツ施設利用促進事業：アンケート調査

－スポーツ施設等における障害者の利用状況調査－

－障害者スポーツ施設の利用状況調査－

報告書

令和5年3月

東京都生活文化スポーツ局

東京都障害者スポーツ協会

## 目次

I	調査実施の概要	3
1	調査目的	3
2	調査項目	3
3	調査設計	3
4	回収結果	4
5	調査実施機関	4
6	報告書を読む際の注意	4
7	スポーツ施設等の概要	5
	(1) 施設の開設年	5
8	障害者スポーツ施設の概要	6
	(1) 専用施設／優先施設	6
	(2) スタッフ数と有資格者人数	6
II	調査結果の概要	7
1	スポーツ施設等における障害者の利用状況調査の結果	7
	(1) スポーツ施設の種類のスタッフの配置状況	7
	①施設の種類のスタッフ配置施設	7
	②プール（屋内）のスタッフ配置状況	8
	③プール（屋外）のスタッフ配置状況	9
	④トレーニングルームのスタッフ配置状況	10
	(2) プールの障害者利用について	11
	①障害者専用もしくは優先レーンの有無	11
	②障害者専用もしくは優先レーンを設置していない施設が行っている配慮	12
	③車いす使用者がプールを利用する条件	13
	④プールで利用を制限しているもの	14
	(3) 体育館の障害者利用について	15
	①車いす使用者が体育館を利用する条件	15
	②体育館で利用を制限しているもの	16
	③車いす競技の団体利用の際の損傷への備え	17
	(4) 障害者の施設利用状況	18
	①障害者の施設利用状況	18
	②障害者向けの事業やイベントの主催・共催	19
	③障害者が行ったスポーツ	20
	④施設利用者の障害種別	22
	(5) 障害者向けの配慮と設備の設置状況	23
	①障害者の利用にあたって配慮している点	23
	②障害者向け設備の設置状況	24
	③更衣室の設置状況	26

(6) 障害者の施設利用規定 .....	27
①個人利用での施設利用料金の措置 .....	27
②団体利用での施設利用料金の措置 .....	28
③個人利用での障害者手帳の提示 .....	29
④個人利用での障害者手帳の提示が初回にのみで良い理由 .....	30
⑤団体利用での障害者手帳の提示 .....	30
⑥団体利用での障害者手帳の提示が初回にのみで良い理由 .....	31
⑦事前団体登録の必要性 .....	32
⑧団体利用の優先受付 .....	33
(7) 「障がい者スポーツ指導員」の配置状況 .....	34
(8) 障害者利用に関するマニュアルの有無 .....	35
(9) 障害のある方の利用促進のために、配慮している点、工夫している点 .....	36
(10) 障害者差別解消法の施行に伴い施設で取り組んだこと .....	37
(11) 東京 2020 パラリンピック開催決定以降、施設で取り組んだこと .....	38
(12) 障害のある方の利用に関して、不安な点や悩んでいる点 .....	39
2 障害者スポーツ施設の利用状況調査 .....	40
(1) 送迎バスの有無 .....	40
(2) 障害者手帳提示の必要性（個人利用） .....	40
(3) 障害者手帳提示の必要性（団体利用） .....	41
(4) 施設利用の申請 .....	41
①個人利用の申請 .....	41
②団体利用の申請 .....	42
(5) 登録情報の確認者 .....	43
(6) 継続利用者の割合 .....	43
(7) 地域の一般公共施設への支援 .....	44
(8) 障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な配慮 .....	45
(9) 障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な設備 .....	46
(10) 障害者が施設を利用する際の配慮や取り組み .....	47

## I 調査実施の概要

### 1 調査目的

障害者のスポーツ施設利用に際して配慮すべき点等を調査し、そのポイント等をまとめたマニュアルを作成し、都内公立スポーツ施設等へ配付することで、施設職員等のソフト面のバリアフリーを推進し、障害者の都内公立スポーツ施設等の利用を促進する。

### 2 調査項目

(1) スポーツ施設等における障害者の利用状況調査

- ①施設の種類とスタッフの配置状況
- ②プールの障害者利用について
- ③体育館の障害者利用について
- ④障害者の施設利用状況
- ⑤障害者向けの配慮と設備の設置状況
- ⑥障害者の施設利用規定
- ⑦「障がい者スポーツ指導員」の配置状況
- ⑧障害者利用に関するマニュアルの有無
- ⑨障害者の利用促進に関する配慮・取り組み等の具体的事例
- ⑩障害者の施設利用に関する不安な点や悩んでいる点

(2) 障害者スポーツ施設の利用状況調査

- ①送迎バスの有無
- ②障害者手帳提示の必要性
- ③施設利用の申請
- ④登録情報の確認者
- ⑤継続利用者の割合
- ⑥地域の一般公共施設への支援
- ⑦障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な配慮・設備
- ⑧障害者の利用促進に関する配慮・取り組み等の具体的事例

### 3 調査設計

(1) スポーツ施設等における障害者の利用状況調査

- ①調査対象：①都内公立スポーツ施設  
②スポーツ施設を併設した都内社会福祉施設・健康増進施設等  
③都内民間スポーツ施設
- ②調査対象数：①767施設 ②41施設 ③498施設
- ③調査方法：電子メールまたは郵送で調査依頼し、WEB上で回答
- ④調査期間：2022年7月14日(木)～8月10日(水)

(2) 障害者スポーツ施設の利用状況調査

- ①調査対象：全国障害者スポーツセンター連絡協議会加盟施設
- ②調査対象数：26施設

③調査方法：郵送で調査依頼し、WEB上で回答

④調査期間：2022年7月14日（木）～8月10日（水）

#### 4 回収結果

(1) スポーツ施設等における障害者の利用状況調査

①都内公立スポーツ施設 614施設／767施設（80.1%）

②スポーツ施設を併設した都内社会福祉施設・健康増進施設等  
29施設／41施設（70.7%）

③都内民間スポーツ施設 129施設／498施設（25.9%）

(2) 障害者スポーツ施設の利用状況調査

22施設／26施設（84.6%）

#### 5 調査実施機関

株式会社 日本リサーチセンター

#### 6 報告書を読む際の注意

(1) 「スポーツ施設等における障害者の利用状況調査」の図表中のnとは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答施設総数又は分類別の回答施設数のことである。

(2) 百分比は、小数点第2位で四捨五入して、小数点第1位までを表示した。四捨五入したため、合計値が100%を前後することがある。

(3) 「(○はいくつでも)」と表示のある質問は、2つ以上の複数回答を認めているため、回答計は100%を超える。

(4) 本文中に用いる「ポイント」とは、パーセントとパーセントの差を表す。

(5) 「障害者スポーツ施設の利用状況調査」は、回答施設総数が22と少ないため、すべて実数で表記している。

(6) スポーツ施設を併設した都内社会福祉施設・健康増進施設等は回収数が29施設と少ないため、調査結果に対する1施設当たりの寄与度が大きく、極端な結果になっている場合がある。

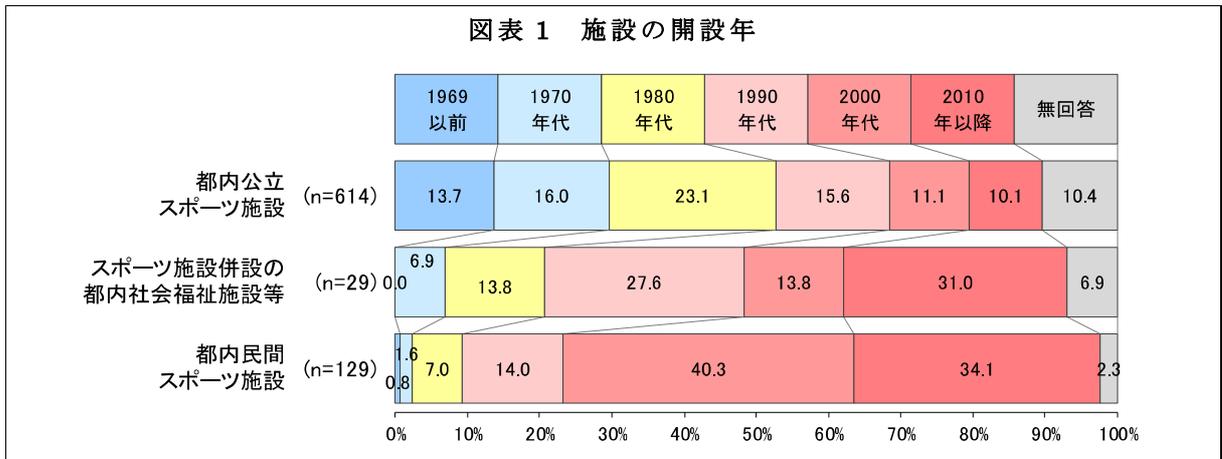
(7) 都内民間スポーツ施設は回収率が低いため、障害者の利用促進に積極的な施設からの回答協力が多かった可能性がある。

(8) 設問によっては、2015年に実施した調査と経年比較している。

(9) 「しょうがい」の用語は「障がい」「障害」などがあるが、本報告書では固有名詞を除き、法令等における表記である「障害」を使用した。

## 7 スポーツ施設等の概要

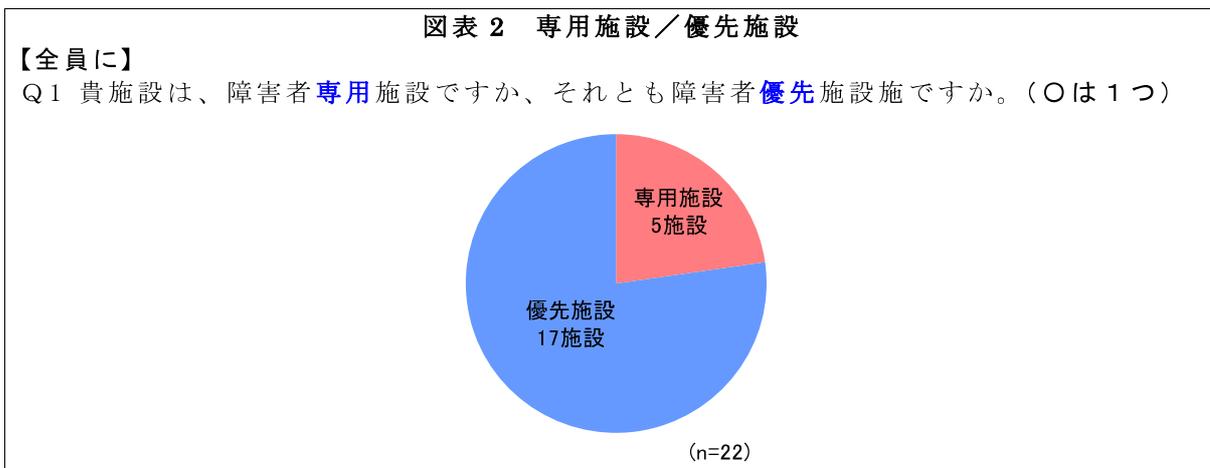
### (1) 施設の開設年



施設の開設年（図表 1）をみると、都内公立スポーツ施設は 1900 年代が 7 割弱を占めていた。一方で、都内民間スポーツ施設は 2000 年代が 7 割強を占め公立スポーツ施設と比較して新しい施設が多かった。

## 8 障害者スポーツ施設の概要

### (1) 専用施設／優先施設



### (2) スタッフ数と有資格者人数

**図表 3 スタッフ数と有資格者人数**

【全員に】  
Q2 貴施設の**常勤スタッフ数**と**非常勤スタッフ数**をお答えください。また、特定の資格を持っているスタッフ数も合わせてお答えください。一人のスタッフが複数の資格を持っている場合はそれぞれの資格でカウントして延べ人数で回答してください。

スタッフの総数	常勤スタッフ		非常勤スタッフ	
	平均	20.3人	平均	18.4人
※全体=22施設	有資格者あり		有資格者あり	
	施設数	平均	施設数	平均
初級障がい者スポーツ指導員	18施設	4.7人	8施設	7.5人
中級障がい者スポーツ指導員	18施設	3.5人	5施設	1.4人
上級障がい者スポーツ指導員	19施設	3.7人	4施設	1.0人
障がい者スポーツコーチ	9施設	1.4人	1施設	1.0人
障がい者スポーツトレーナー	0施設	-	0施設	-
障がい者スポーツ医	0施設	-	0施設	-
理学療法士	3施設	1.0人	3施設	1.7人
作業療法士	1施設	1.0人	0施設	-
看護師	7施設	1.0人	8施設	3.8人
柔道整復師	2施設	1.0人	0施設	-
精神保健福祉士	3施設	1.0人	0施設	-
社会福祉士	5施設	1.6人	1施設	1.0人

※有資格者あり平均・・・有資格者あり施設における平均人数

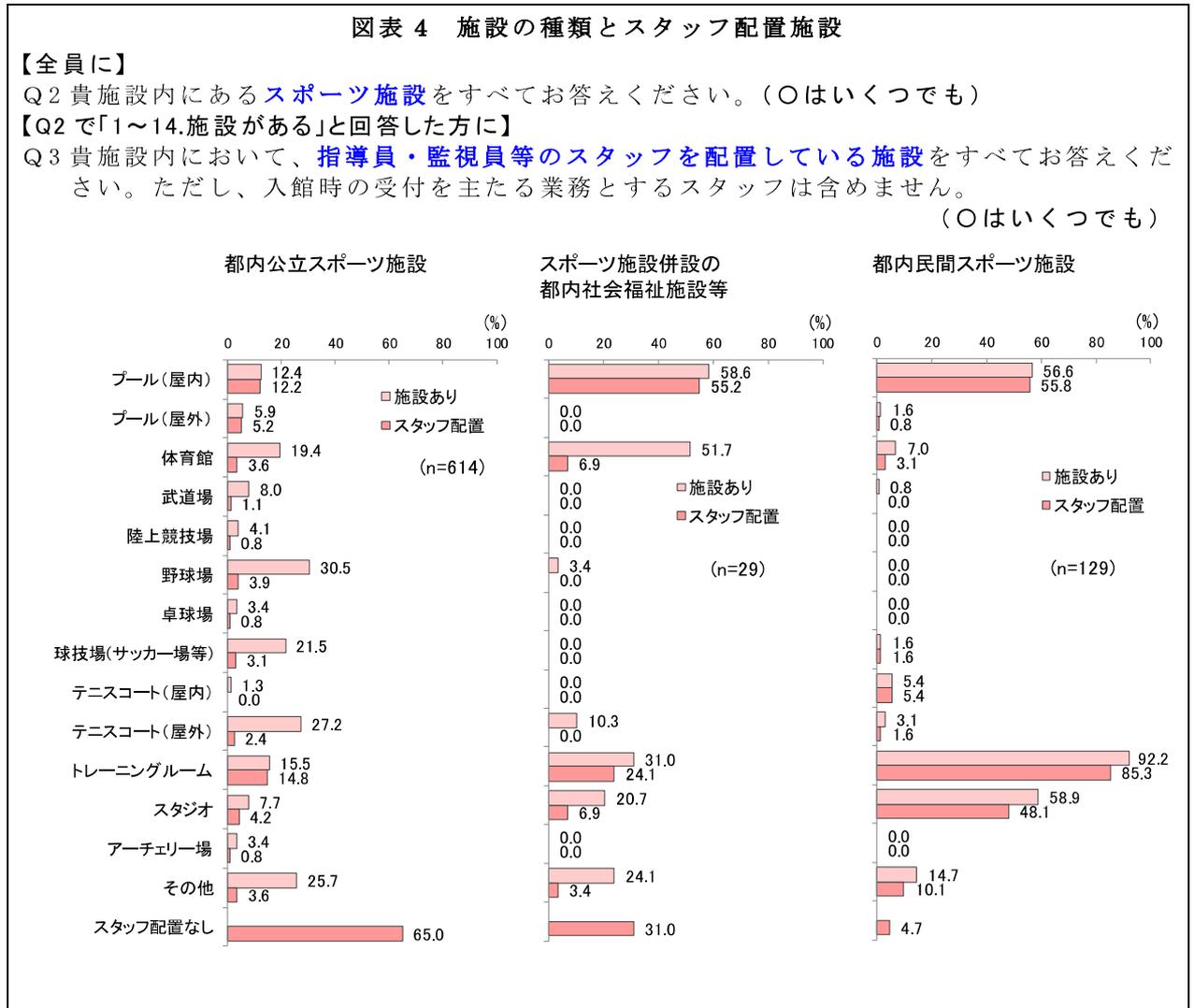
スタッフ数と有資格者人数（図表 3）をみると、常勤スタッフの平均は 20.3 人、非常勤スタッフの平均は 18.4 人であった。（初級・中級・上級）障がい者スポーツ指導員の有資格者を見ると、常勤スタッフは、平均で 3.9 人配置していた。

## II 調査結果の概要

### 1 スポーツ施設等における障害者の利用状況調査の結果

#### (1) スポーツ施設の種類のスタッフの配置状況

##### ①施設の種類のスタッフ配置施設



施設の種類の種類（図表 4）をみると、都内公立スポーツ施設では「野球場」（30.5%）、「テニスコート（屋外）」（27.2%）、「球技場(サッカー場等）」（21.5%）などの施設が多かった。一方、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等では「プール（屋内）」（58.6%）、「体育館」（51.7%）であった。都内民間スポーツ施設では「トレーニングルーム」（92.2%）、「スタジオ」（58.9%）、「プール（屋内）」（56.6%）などの施設が多かった。

②プール(屋内)のスタッフ配置状況

図表 5 プール(屋内)のスタッフ配置状況

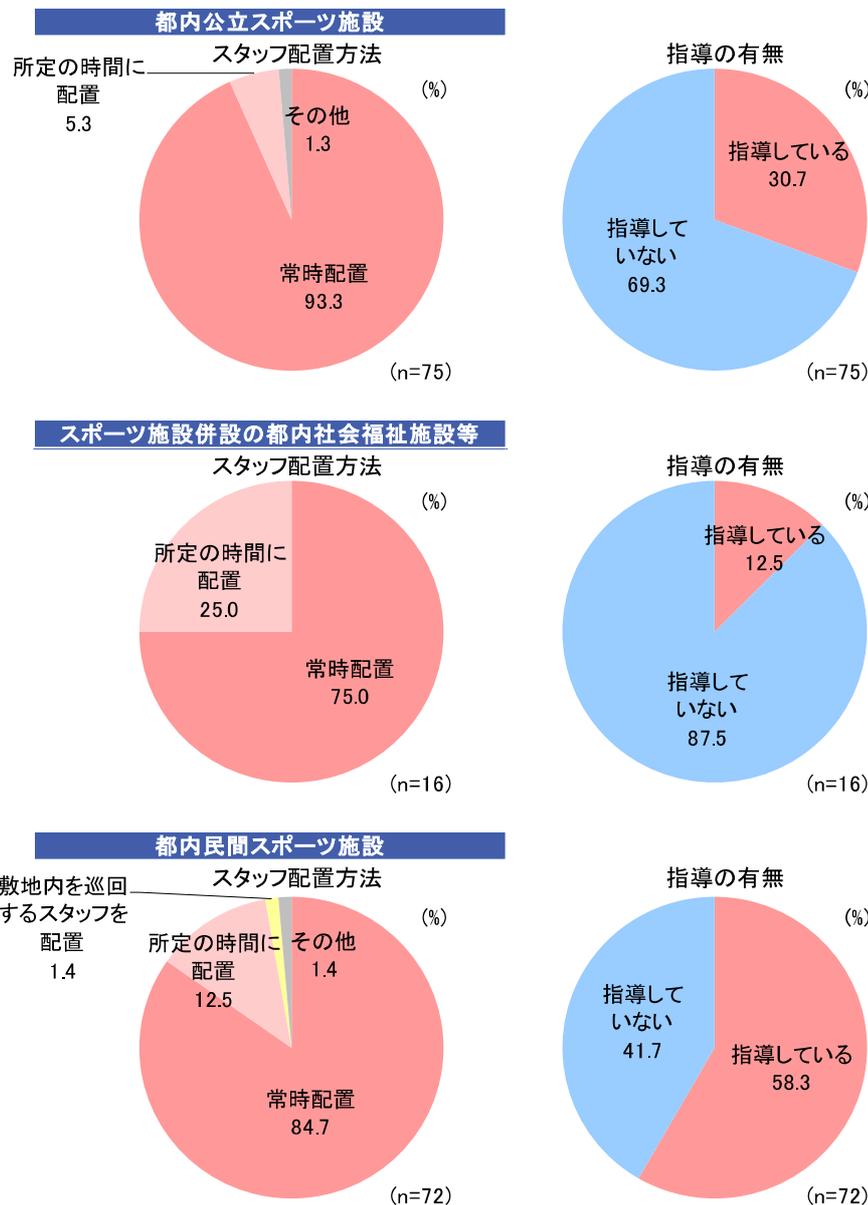
【Q3で「1. プール(屋内)」と回答した方に】

Q4 貴施設のプール(屋内)についてお聞きします。

(1) 指導員・監視員等のスタッフは、どのように配置されていますか。(〇は1つ)

(2) 配置されているスタッフは、日ごろ、施設の利用者に対して実技指導をしていますか。貴施設で主催するイベントや教室などでの指導は除いてお答えください。

(〇は1つ)



プール(屋内)のスタッフ配置状況(図表5)から「常時配置」をみると、都内公立スポーツ施設は93.3%、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は75.0%、都内民間スポーツ施設は84.7%とスタッフを常時配置している施設が多かった。配置されているスタッフの実技指導の有無をみると、都内公立スポーツ施設は30.7%、都内民間スポーツ施設は58.3%と、民間では実技指導スタッフを配置している施設が多かった。

③プール(屋外)のスタッフ配置状況

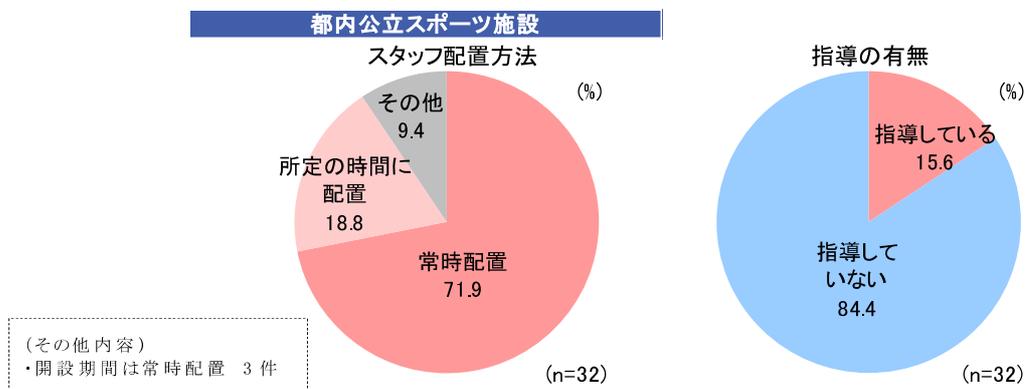
図表 6 プール(屋外)のスタッフ配置状況

【Q3で「2.プール(屋外)」と回答した方に】

Q5 貴施設のプール(屋外)についてお聞きします。

(1)指導員・監視員等のスタッフは、どのように配置されていますか。(〇は1つ)

(2)配置されているスタッフは、日ごろ、施設の利用者に対して実技指導をしていますか。貴施設で主催するイベントや教室などでの指導は除いてお答えください。(〇は1つ)



※プール(屋外)があるスポーツ施設併設の都内社会福祉施設等はなかった。

※プール(屋外)がある都内民間スポーツ施設は1施設であり、スタッフは常時配置、指導はしていません。(グラフ省略)

プール(屋外)のスタッフ配置状況(図表6)から「常時配置」をみると、都内公立スポーツ施設は71.9%がスタッフを常時配置していた。配置されているスタッフの実技指導の有無をみると、都内公立スポーツ施設は15.6%であった。

④トレーニングルームのスタッフ配置状況

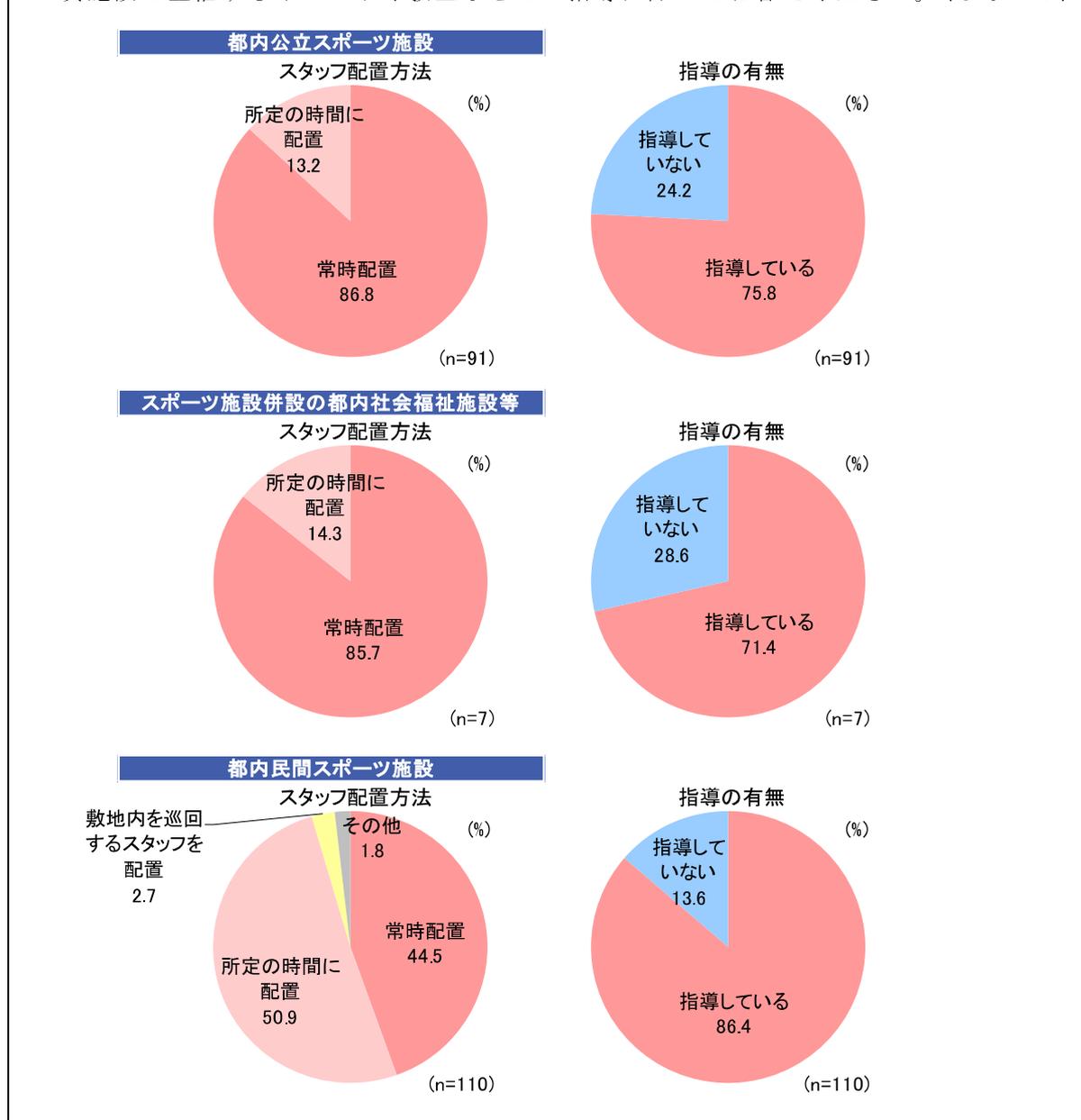
図表 7 トレーニングルームのスタッフ配置状況

【Q3で「11.トレーニングルーム」と回答した方に】

Q6 貴施設のトレーニングルームについてお聞きします。

(1) 指導員・監視員等のスタッフは、どのように配置されていますか。(〇は1つ)

(2) 配置されているスタッフは、日ごろ、施設の利用者に対して実技指導をしていますか。貴施設で主催するイベントや教室などでの指導は除いてお答えください。(〇は1つ)



トレーニングルームのスタッフ配置状況（図表 7）から「常時配置」をみると、都内公立スポーツ施設は 86.8%、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は 85.7%、都内民間スポーツ施設では 44.5%であった。

配置されているスタッフの実技指導の有無をみると、都内公立スポーツ施設は 75.8%、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は 71.4%、都内民間スポーツ施設は 86.4%であった。

(2)プールの障害者利用について

①障害者専用もしくは優先レーンの有無

図表 8 プールでの専用／優先レーンの設置について

【Q2で「1.プール(屋内)」「2.プール(屋外)」と回答した方に】

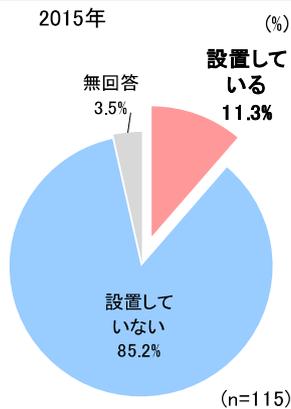
Q7 貴施設の**プール(屋内/屋外)**では、障害のある方の利用を促すための専用、もしくは優先のコース/レーンを設置していますか。(○は1つ)

【Q7で「1.設置している」と回答した方に】

Q8 貴施設の**プール(屋内/屋外)**で設置されている**障害のある方の利用を促すための専用、もしくは優先のコース/レーン**についてお聞きします。

- (1)月平均で何日くらい設置していますか。
- (2)1回あたりどのくらいの時間を設置していますか。
- (3)1回あたり何コース設置していますか。

都内公立スポーツ施設



平均的な日数 (施設)

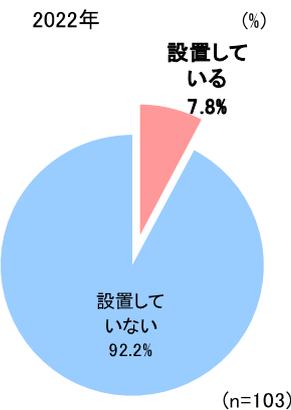
n	週1日	週2日	月2日	月4日	月6日	平均(日/月)
(13)	7	2	2	1	1	3.8

平均的な時間 (施設)

n	60分	90分	120分	150分	無回答	平均(分/回)
(13)	1	2	7	1	2	111.8

平均的なレーン数 (施設)

n	1コース	2コース	3コース	6コース	無回答	平均(コース)
(13)	3	2	2	5	1	3.6



平均的な日数 (施設)

n	月15回以上	月5~14回	月4回	月2~3回	月1回	平均値(回/月)
(8)	3	0	3	1	1	10.6

平均的な時間 (施設)

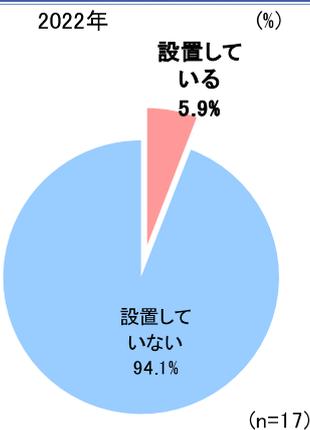
n	~60分以内	~90分以内	~120分以内	~240分以内	平均値(分/回)
(8)	5	0	2	1	82.1

※2015年は「プール」にスタッフを配置している施設、2022年は「プール」のある施設に聴取しています。

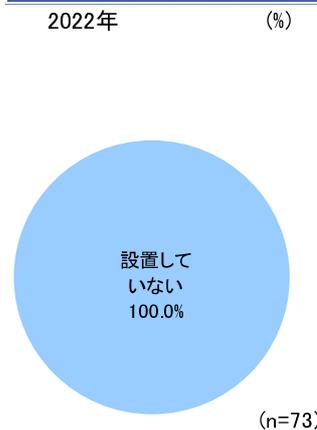
平均的なレーン数 (施設)

n	1コース	2コース	3コース	5コース	6コース	平均値(コース)
(8)	3	2	1	1	1	2.6

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等



都内民間スポーツ施設



施設内のプールに障害者専用もしくは優先レーンの設置（図表 8）からみると、都内公立スポーツ施設では「設置している」が 7.8%であった。都内公立スポーツ施設の 2015 年度設置率は 11.3%、2022 年度設置率は 7.8%であるが、両調査の質問方法が異なるため、設置率の経年比較は参考の域を出ない。都内公立スポーツ施設で障害者専用もしくは優先レーンを設置している 8 施設をみると、設置日数は月平均 10.6 日、1 回あたりの設置時間は平均 82.1 分、設置コース数は平均 2.6 コースであった。都内民間スポーツ施設では「設置している」は 0%であった。

## ②障害者専用もしくは優先レーンを設置していない施設が行っている配慮

### 図表 9 障害者専用もしくは優先レーンを設置していない施設が行っている配慮

【Q7で「2.設置していない」と回答した方に】

Q9 貴施設の**プール（屋内／屋外）**では、障害のある方の利用を促すための専用、もしくは優先のコース／レーンを設置していないとのことですが、障害のある方がプール利用時に何か配慮している事などがあれば、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。特にない場合は「特になし」とお書きください。

#### **スタッフがサポート(40件)**

- ・目の不自由な方が更衣室からプール層内へ入るまでの介助やスロープから車いすの引き上げなどはお手伝いしています。その他、出来る限りのご要望にはお応えできる様努めています。(公立施設)
- ・受付スタッフと監視員が相互に連携して、プール入場者をスムーズに誘導出来るよう努めている。(公立施設)
- ・障害のある方がプールをご利用する際は、監視員全員が共有しております。(公立施設)
- ・プールガードスタッフに共有し、利用中事故や不快な思いをしないよう、声掛けなどを積極的にを行う。(民間施設)

#### **多目的更衣室、更衣スペース、多目的トイレの設置(35件)**

- ・多目的更衣室を設けているため、お着換えの際にご利用いただけます。(公立施設)
- ・だれでも更衣室設置(異性介助者との利用可)(公立施設)
- ・多目的更衣室・多目的トイレの設置。(公立施設)

#### **プール用車いす・車いす洗浄機・障害者用昇降機配置(21件)**

- ・プール利用の際、障害者用更衣室の使用の準備やプール場内用の車いすの準備などは受付とプールスタッフと連携して準備をしております。(社会福祉施設等)
- ・多目的更衣室、多目的トイレを備え付け、プール用の車いすの貸出を行うことで、身体障害者の方の利用環境の整備を行っている。(公立施設)

#### **バリアフリー、スロープの設置(18件)**

- ・車いすのまま多目的更衣室からプールまでバリアフリーで進める。(公立施設)
- ・水中用車いすにも対応しているスロープがある。(社会福祉施設等)

#### **ウォーキングコース、初級者コースなど適正なコース案内(9件)**

- ・通常のコースは、ウォーキングコース、完泳コース(高速・低速)、フリーコースで分けております。特別に障害者としてのコースは設けておりませんが、目的に合わせて分かれて皆様ご利用いただいております。(社会福祉施設等)
- ・障害者優先ではないものの、「ゆっくりのんびり歩く」コースを設置しています。(公立施設)
- ・一般のコースの「初級者コース」のご利用を案内する。(民間施設)

#### **面談や体験による安全の確保や利用者の不便等の確認(9件)**

- ・利用希望があった場合、1度体験いただき、安全の確保や利用者の不便等を確認する。(民間施設)
- ・入会前に面談、無料体験後、双方確認したうえ利用いただく。(民間施設)
- ・障害のある方がプールを利用される場合には、事前に施設を体験いただき、利用に際しご不便なことがないかを聞き取りの上安全にご利用いただくための相談をさせていただいております。(民間施設)

#### **手すり・階段の設置(9件)**

- ・手すり、プールに入水する事が簡易的にできるよう、階段を設置している。(民間施設)
- ・車いす利用者等がいらした場合は、入水時手すりのある端のコースをご案内しています。(社会福祉施設等)

#### **利用料金の優遇(8件)**

- ・障害者の使用料無料(介助者2名まで無料)。(公立施設)
- ・区民無料 区外減免 区外月一回無料 障害者水泳教室開講。(公立施設)

#### **利用を促進する曜日や時間帯を設置、教室を開催(7件)**

- ・毎週水曜日を障害者優先日としている。(公立施設)

#### **筆談ボードの設置(6件)**

- ・筆談に応じる、更衣室や場内に付き添う。(公立施設)
- ・受付に筆談ボードの設置。(公立施設)

#### **盲導犬の特機スペース(2件)**

- ・盲導犬特機スペースの設置。(公立施設)

#### **障害者用駐車スペース設置(2件)**

- ・障害者用駐車スペース設置。(公立施設)

#### **有料でマンツーマンのトレーナー(1件)**

- ・有料でマンツーマンのトレーナーを付けて実施している。(民間施設)

#### **補助つえの準備(1件)**

#### **クッションマットを用意(1件)**

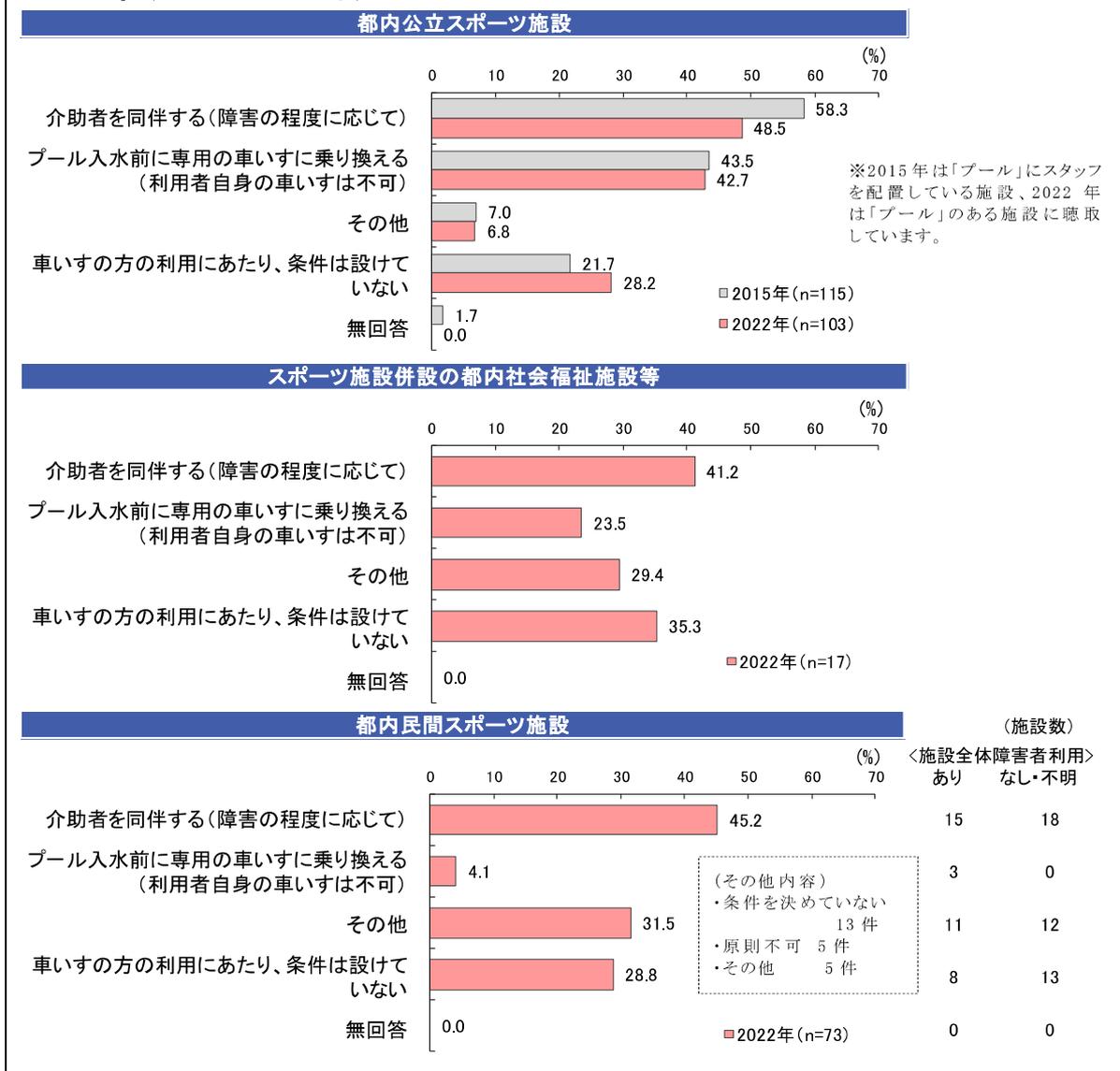
#### **看板などで他の利用者への周知(1件)**

③車いす使用者がプールを利用する条件

図表 10 車いす使用者がプールを利用する条件

【Q2で「1.プール(屋内)」「2.プール(屋外)」と回答した方に】

Q10 貴施設のプール(屋内/屋外)を、車いすの方が利用するための条件はありますか。(〇はいくつでも)



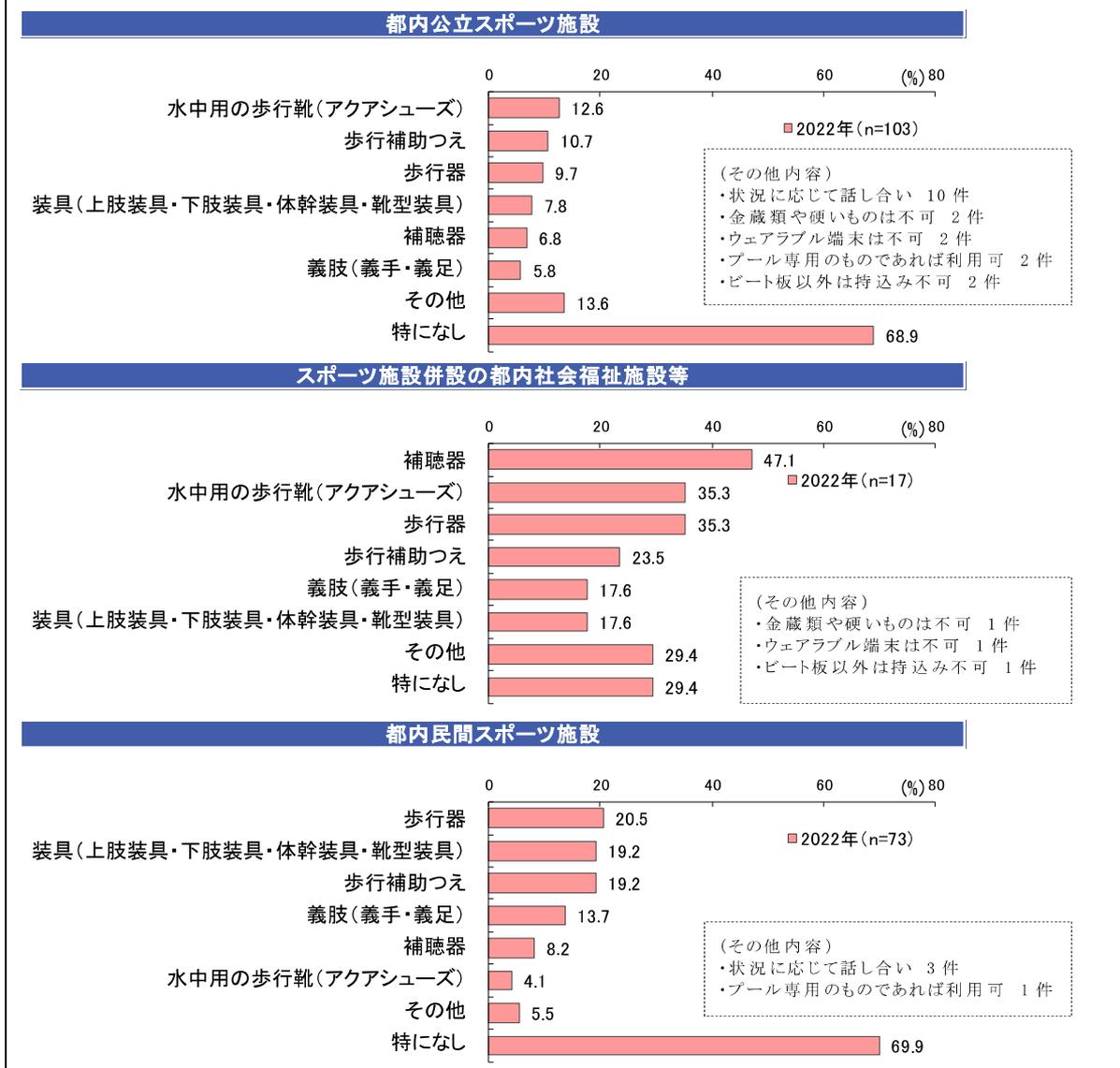
プール(屋内/屋外)で車いす使用者がプールを利用するための条件(図表10)をみると、都内公立スポーツ施設では「介助者を同伴する(障害の程度に応じて)」が48.5%、「プール入水前に専用の車いすに乗り換える(利用者自身の車いすは不可)」が42.7%であった。「車いすの方の利用にあたり、条件は設けていない」という施設は、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等で35.3%、都内公立スポーツ施設で28.2%であった。都内民間スポーツ施設は、「車いすの方の利用にあたり、条件は設けていない」という施設は28.8%と他の施設に比べて低い傾向だが、都内民間スポーツ施設のうち回答協力が得られたのは、障害者の利用促進に積極的な施設である可能性を考慮すると、さらに低くなると推測される。

④プールで利用を制限しているもの

図表 11 プールで利用を制限しているもの

【Q2で「1.プール(屋内)」「2.プール(屋外)」と回答した方に】

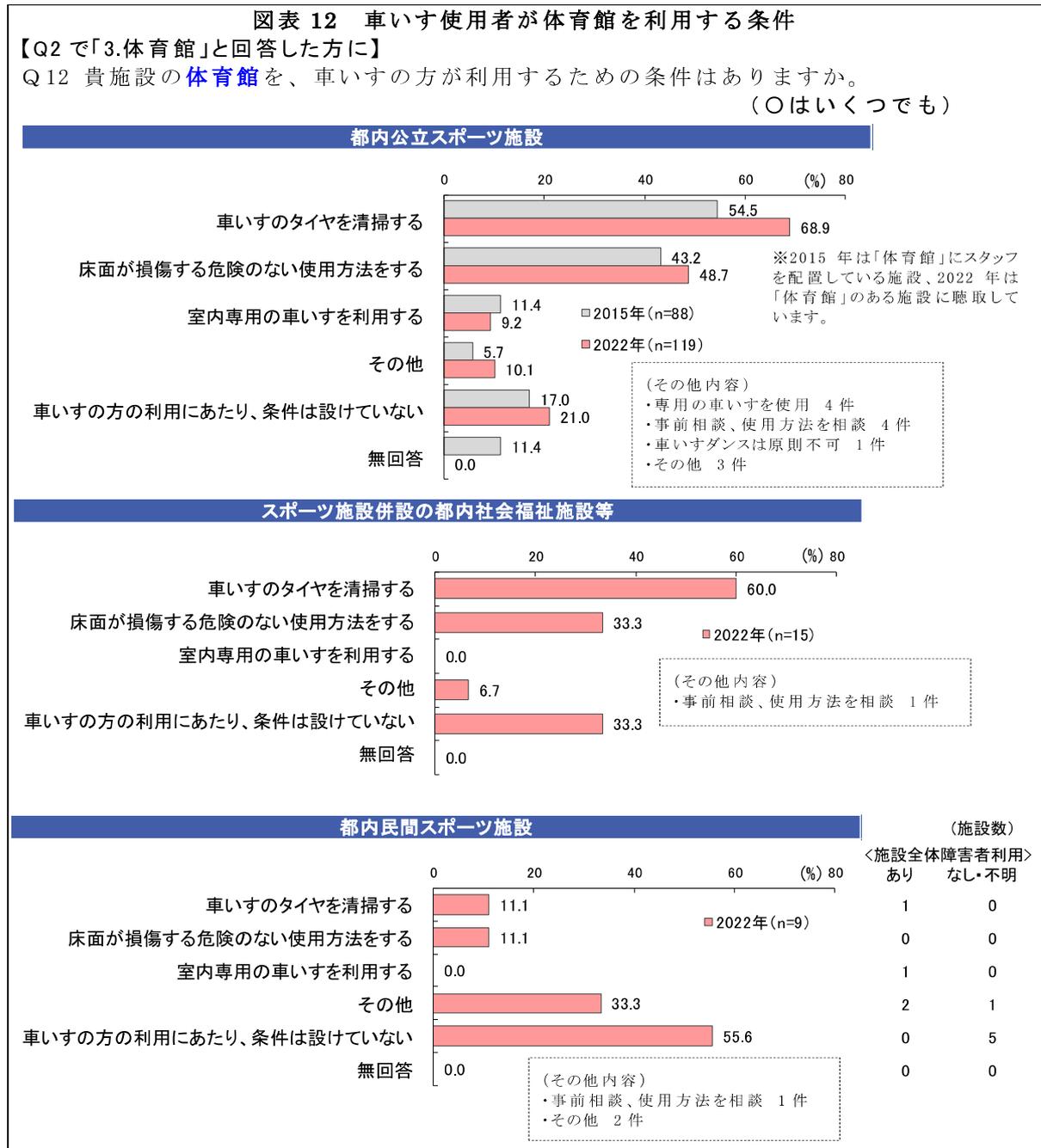
Q11 貴施設のプール(屋内/屋外)およびプールサイドにおいて、車いす以外の補装具等(眼鏡は除く)で利用を制限しているものはありますか。(〇はいくつでも)



プール(屋内/屋外)で利用を制限しているもの(図表11)をみると、都内公立スポーツ施設では「水中用の歩行靴(アクアシューズ)」が12.6%、「歩行補助つえ」が10.7%で1割程度であった。「特になし」という施設は、都内公立スポーツ施設で68.9%、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等で29.4%、都内民間スポーツ施設で69.9%であった。

### (3) 体育館の障害者利用について

#### ① 車いす使用者が体育館を利用する条件



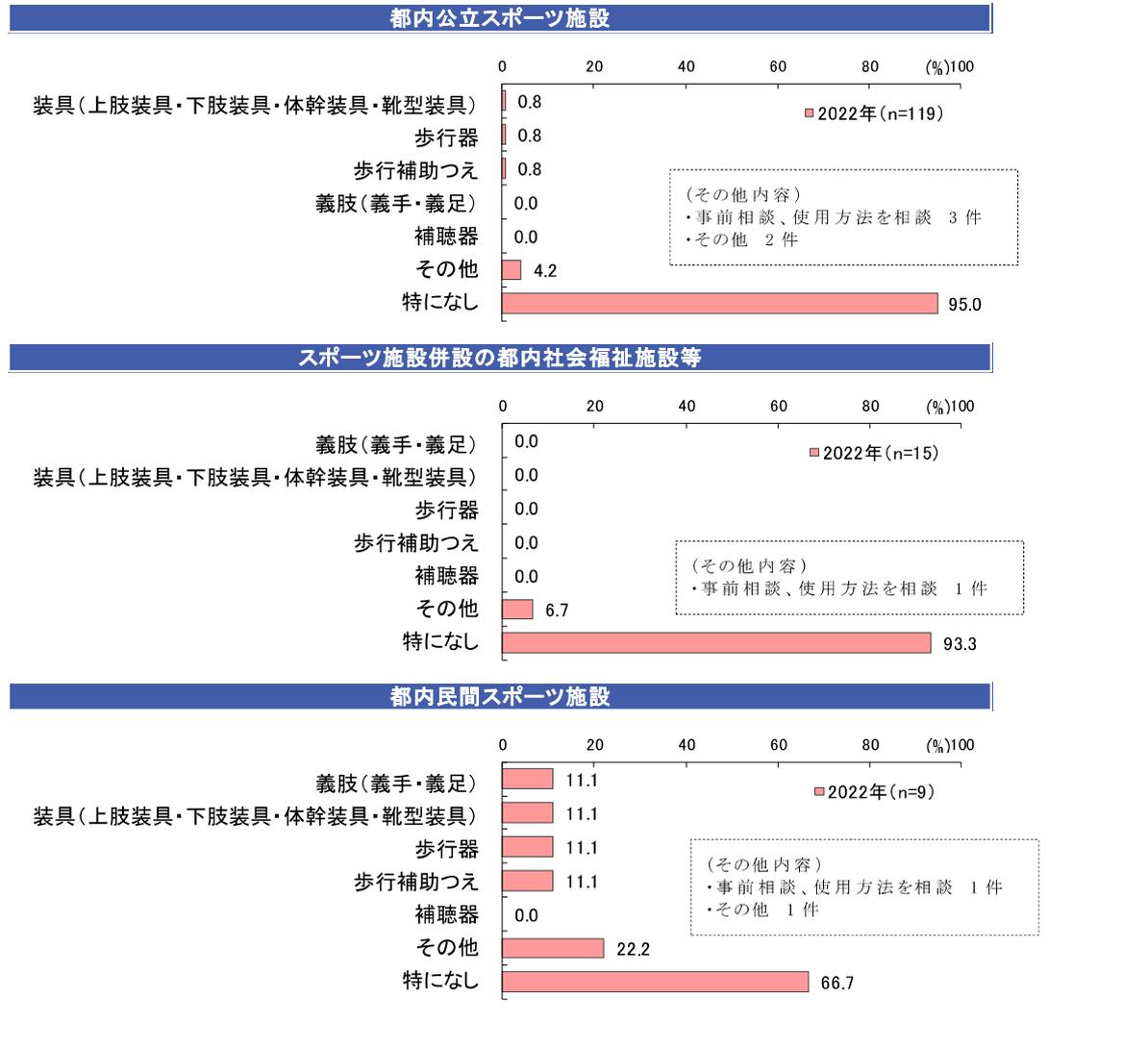
車いす使用者が体育館を利用するための条件（図表 12）をみると、都内公立スポーツ施設では「車いすのタイヤを清掃する」が 68.9%、「床面が損傷する危険のない使用方法をする」が 48.7%であった。「車いすの方の利用にあたり、条件は設けていない」は 21.0%であった。

②体育館で利用を制限しているもの

図表 13 体育館で利用を制限しているもの

【Q2で「3.体育館」と回答した方に】

Q13 貴施設の**体育館**において、車いす以外の補装具等で利用を制限しているものはありますか。(〇はいくつでも)



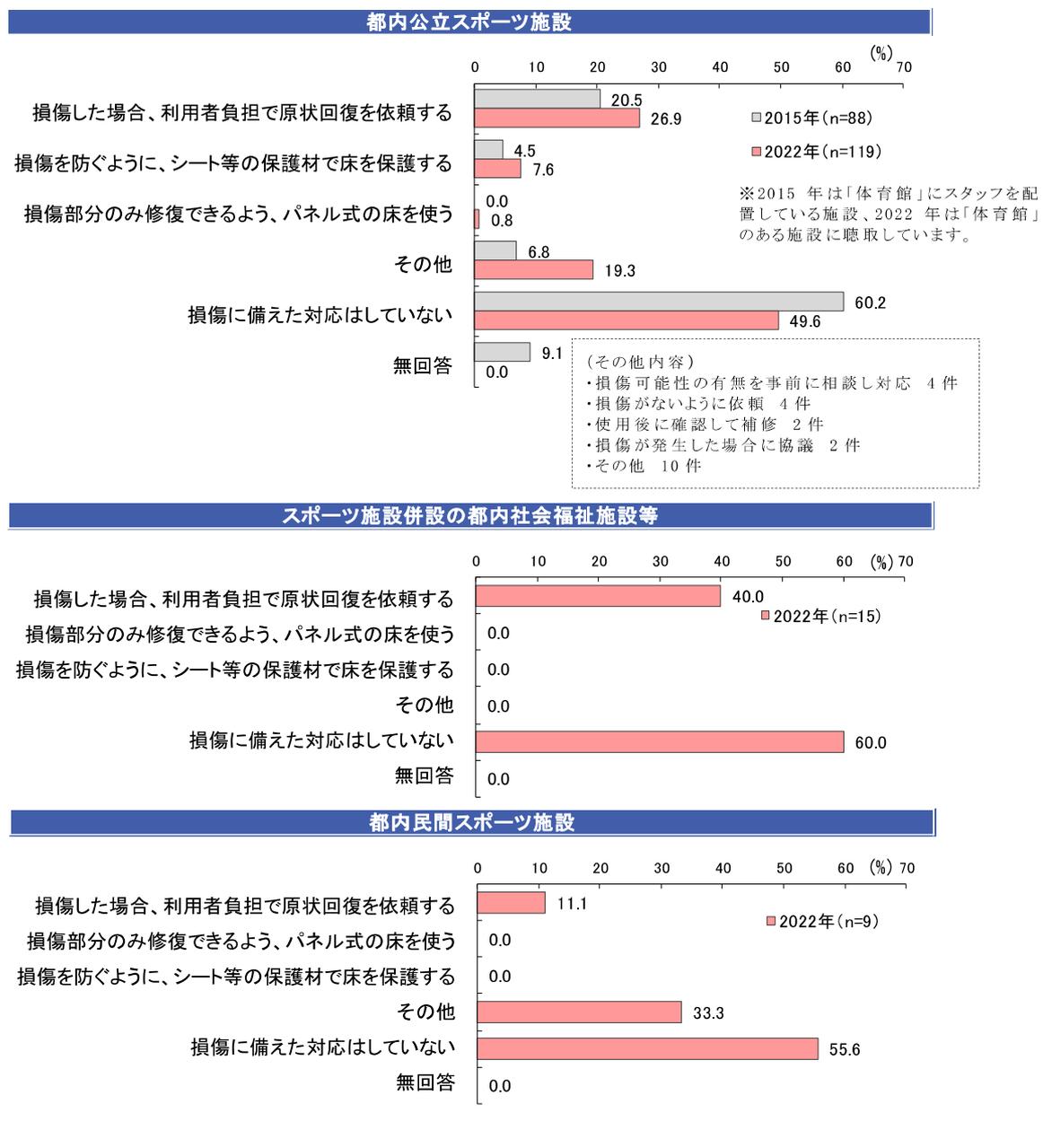
車いす以外で体育館での利用を制限しているもの(図表13)をみると、都内公立スポーツ施設では「特になし」が95.0%と車いす以外の利用制限はない施設が多かった。

### ③車いす競技の団体利用の際の損傷への備え

図表 14 車いす競技の団体利用の際の損傷への備え

【Q2で「3.体育館」と回答した方に】

Q14 貴施設の**体育館**を、車いす競技の団体が利用する際、損傷に備えて対応していますか。(〇はいくつでも)



車いす競技の団体が利用する際の損傷に備えた対応（図表 14）をみると、都内公立スポーツ施設では「損傷した場合、利用者負担で原状回復を依頼する」が 26.9%、「損傷を防ぐように、シート等の保護材で床を保護する」が 7.6%となっており、5割の施設は「損傷に備えた対応はしていない」が 49.6%であった。

#### (4) 障害者の施設利用状況

##### ① 障害者の施設利用状況

図表 15 障害者の施設利用状況

【全員に】

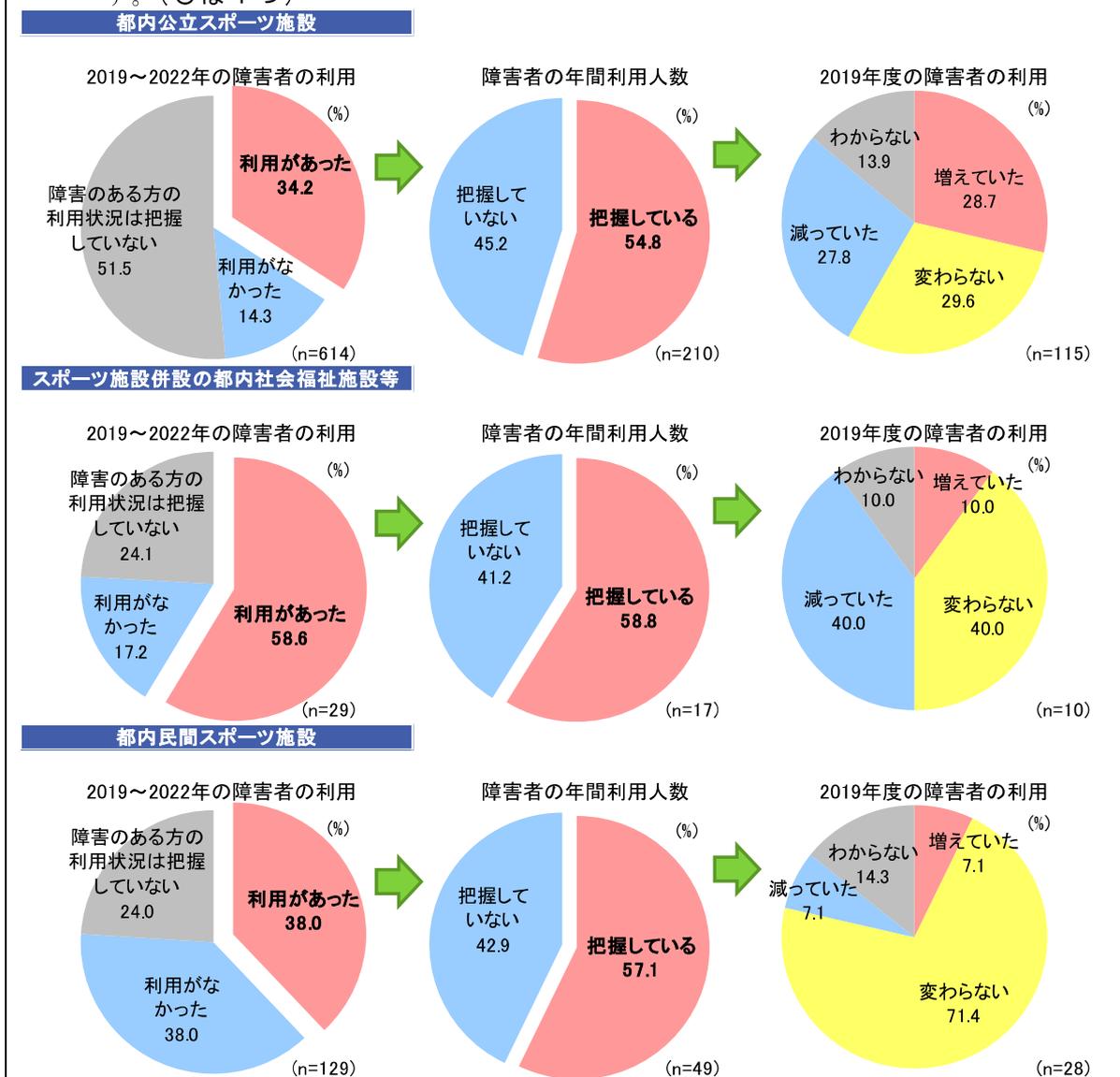
Q15 貴施設では、2019年から2022年の間に障害のある方の利用がありましたか。  
(○は1つ)

【Q15で「1.利用があった」と回答した方に】

Q16 貴施設では、障害のある方の年間利用人数を把握していますか。(○は1つ)

【Q16で「1.把握している」と回答した方に】

Q17 貴施設における障害のある方の2019年度の年間利用人数は、それ以前と比べて増えていましたか。※2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減っている事が考えられるので、2019年度とそれ以前の比較でお聞きしています。(○は1つ)



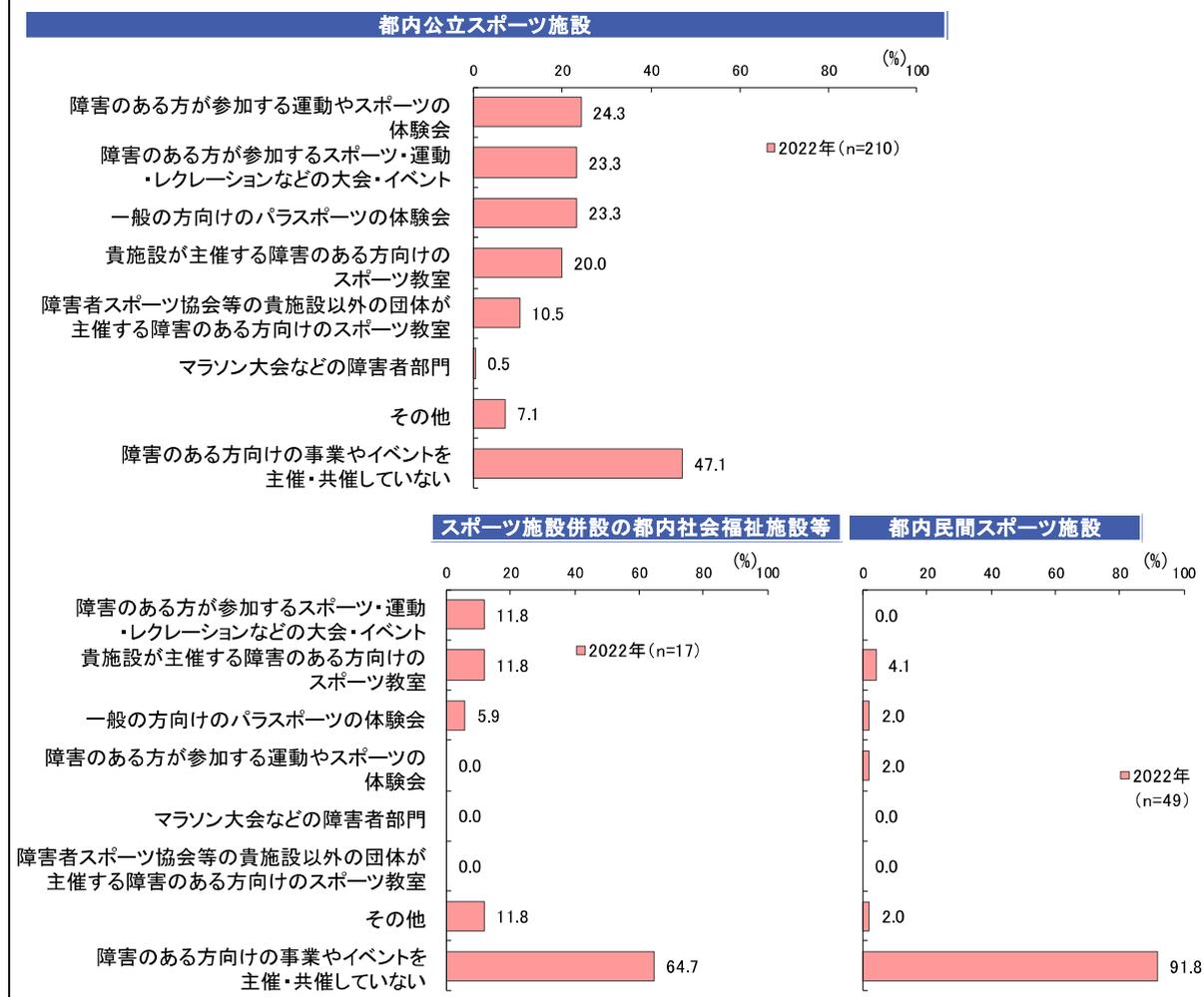
2019～2022年の障害者の利用状況(図表15)をみると、「利用があった」は、都内公立スポーツ施設では34.2%、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等では58.6%、都内民間スポーツ施設では38.0%であった。利用者の増減をみると、都内公立スポーツ施設では「増えていた」(28.7%)が「減っていた」(27.8%)をやや上回っていた。

## ②障害者向けの事業やイベントの主催・共催

図表 16 障害者向けの事業やイベントの主催・共催

【Q15で「1.利用があった」と回答した方に】

Q18 貴施設では、2019年から2022年の間に以下のような障害のある方向けの事業やイベント等を主催・共催していますか。(〇はいくつでも)



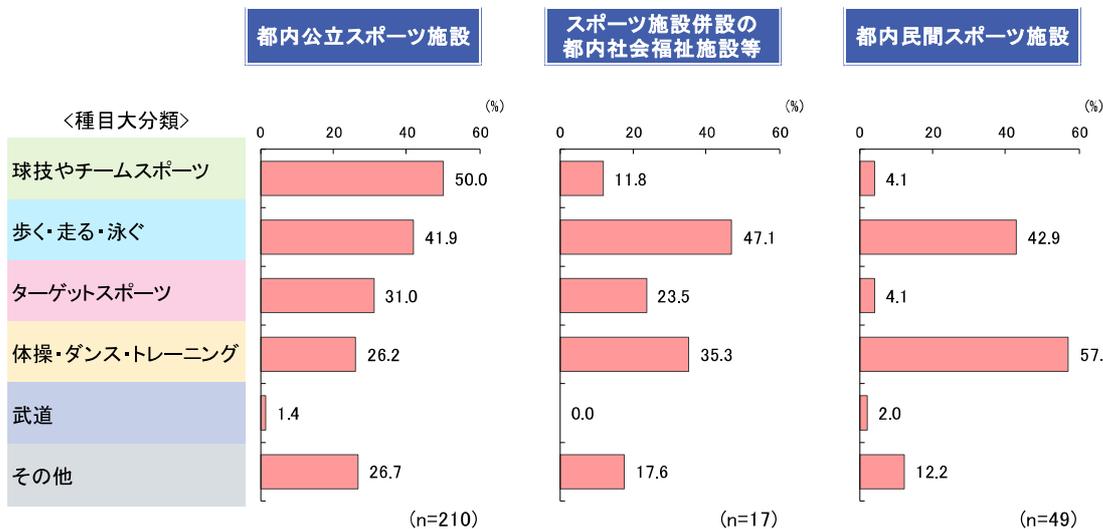
2019～2022の障害者向けの事業やイベントの主催・共催（図表16）をみると、都内公立スポーツ施設では「障害のある方が参加する運動やスポーツの体験会」（24.3%）、「障害のある方が参加するスポーツ・運動・レクリエーションなどの大会・イベント」（23.3%）、「一般の方向けのparasportsの体験会」（23.3%）、「貴施設が主催する障害のある方向けのスポーツ教室」（20.0%）を2割強の施設が実施をしていた。スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等では「障害のある方が参加するスポーツ・運動・レクリエーションなどの大会・イベント」（11.8%）、「貴施設が主催する障害のある方向けのスポーツ教室」（11.8%）を1割強の施設が実施をしていた。都内民間スポーツ施設では「障害のある方向けの事業やイベントを主催・共催していない」が91.8%であった。

③障害者が行ったスポーツ

図表 17 障害者が行ったスポーツ

【Q15で「1.利用があった」と回答した方に】

Q19 2019年から2022年の間に、貴施設を利用した障害のある方が行ったスポーツ、貴施設で障害のある方向けの事業やイベント等を主催・共催した際のスポーツをお答えください。(〇はいくつでも)



	都内公立スポーツ施設	スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等	都内民間スポーツ施設
1位	水泳(30.0%) →プールがある施設での実施率(74.7%)	水泳(35.3%) →プールがある施設での実施率(54.5%)	筋力トレーニング(マシーントレーニング)(49.0%)
2位	ポッチャ(29.5%)	体操(軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど)(29.4%)	水泳(32.7%) →プールがある施設での実施率(53.3%)
3位	水中歩行(19.0%) →プールがある施設での実施率(47.0%)	水中歩行(23.5%) →プールがある施設での実施率(36.4%)	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)(16.3%)
4位	筋力トレーニング(マシーントレーニング)(15.7%)	ポッチャ(23.5%)	水中歩行(16.3%) →プールがある施設での実施率(26.7%)
5位	体操(軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど)(11.9%)	車いすバスケットボール(11.8%)	マシンを使った有酸素運動(エアロバイク・ランニングマシンなど)(12.2%)
6位	テニス(軟式テニスを含む)(11.4%)	筋力トレーニング(マシーントレーニング)(11.8%)	アクアエクササイズ(8.2%) →プールがある施設での実施率(13.3%)
7位	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)(11.0%)	卓球(5.9%)	体操(軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど)(6.1%)
8位	卓球(10.0%)	バスケットボール(5.9%)	ポッチャ(4.1%)
9位	マシンを使った有酸素運動(エアロバイク・ランニングマシンなど)(10.0%)	ゴールボール(5.9%)	サッカー(2.0%)
10位	車いすバスケットボール(9.0%)	ふうせんバレー(5.9%)	テニス(軟式テニスを含む)(2.0%)
11位	バドミントン(8.1%)	筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)(5.9%)	車いすテニス(2.0%)
12位	サッカー(7.6%)	ウォーキング(ノルディックを含む)、散歩(ぶらぶら歩き)(5.9%)	エアロビックダンス(2.0%)
13位	バスケットボール(6.7%)	アクアエクササイズ(5.9%) →プールがある施設での実施率(9.1%)	ダンス(社交ダンス・フォークダンス・フラダンスなど)(2.0%)
14位	ふうせんバレー(6.7%)	マシンを使った有酸素運動(エアロバイク・ランニングマシンなど)(5.9%)	太極拳(2.0%)
15位	ダンス(社交ダンス・フォークダンス・フラダンスなど)(6.7%)	ソフトボール(0.0%)	スポーツ吹矢(2.0%)

障害者が行ったスポーツ(図表17上図)を種目大分類で見ると以下のような傾向がみられた。

「球技やチームスポーツ」は、都内公立スポーツ施設（50.0%）での実施が中心となっており、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等（11.8%）、都内民間スポーツ施設（4.1%）であった。

「体操・ダンス・トレーニング」は、都内民間スポーツ施設（57.1%）での実施が高く、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等（35.3%）、都内公立スポーツ施設（26.2%）と続く。

「歩く・走る・泳ぐ」は、都内公立スポーツ施設（41.9%）、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等（47.1%）、都内民間スポーツ施設（42.9%）と、どの施設でも40%台の実施となっていた。

「武道」は、都内公立スポーツ施設（1.4%）、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等（0.0%）、都内民間スポーツ施設（2.0%）といずれの施設でも実施が少なかった。

「ターゲットスポーツ」は、都内公立スポーツ施設（31.0%）とスポーツ施設併設の都内社会福祉施設等（23.5%）での実施が中心であった。

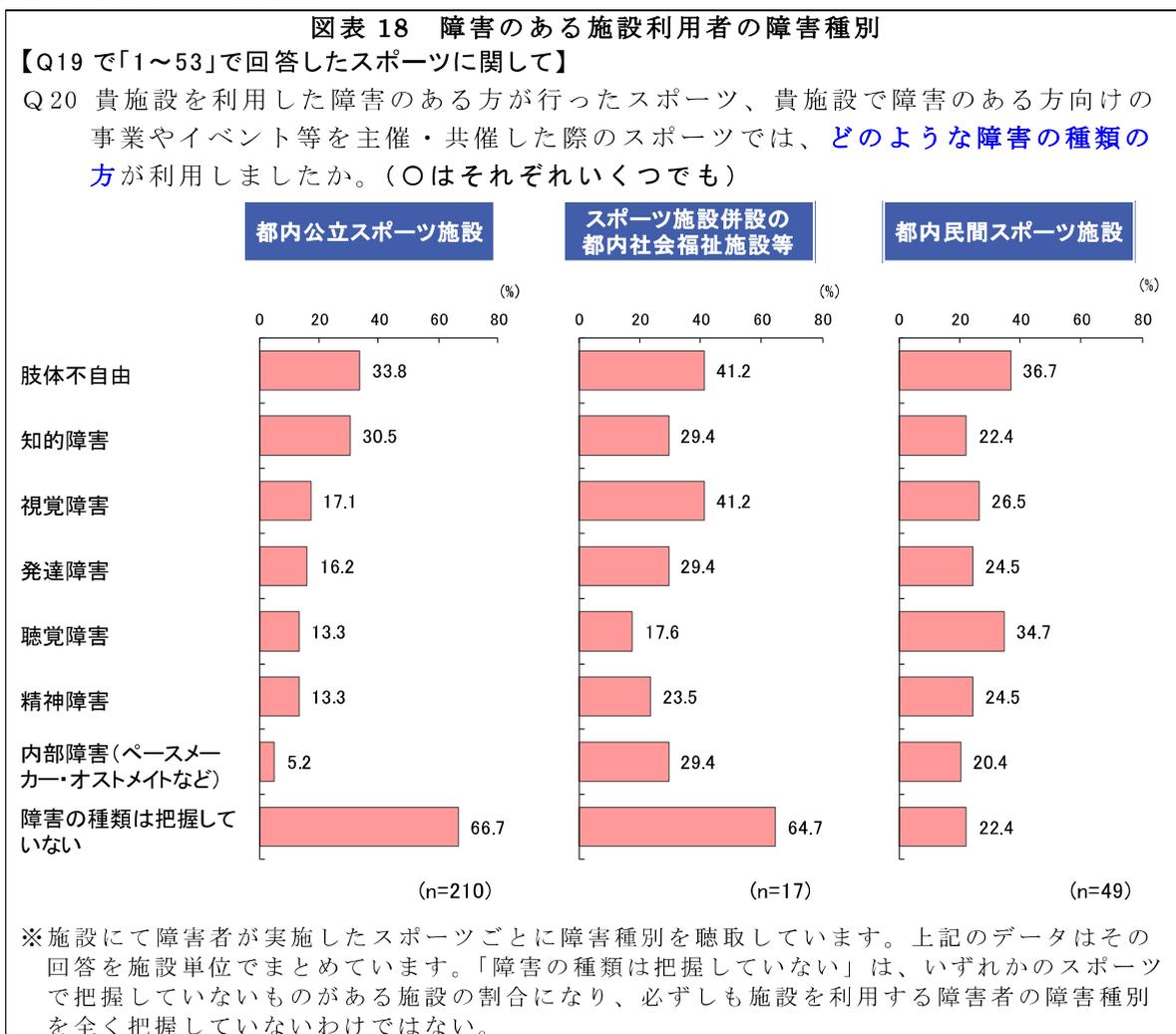
障害者が行ったスポーツ（図表 17 下図）を施設別に上位種目でみると以下のような傾向がみられた。

都内公立スポーツ施設は、「水泳」（30.0%）が最も高く、プールがある施設で「水泳」を実施している、障害者は74.7%であった。次いで、「ボッチャ」（29.5%）、「水中歩行」（19.0%）、「筋力トレーニング（マシントレーニング）」（15.7%）、「体操（軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど）」（11.9%）と続く。

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は、「水泳」（35.3%）と「体操（軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど）」（29.4%）を3割前後の施設で実施していた。次いで、「水中歩行」（23.5%）、「ボッチャ」（23.5%）、「車いすバスケットボール」（11.8%）、「筋力トレーニング（マシントレーニング）」（11.8%）と続く。

都内民間スポーツ施設は、半数近くの施設で「筋力トレーニング（マシントレーニング）」（49.0%）、3割強の施設で「水泳」（32.7%）を実施していた。次いで、「筋力トレーニング（ダンベル・自重のトレーニング）」（16.3%）、「水中歩行」（16.3%）、「マシンを使った有酸素運動（エアロバイク・ランニングマシンなど）」（12.1%）と続く。

#### ④施設利用者の障害種別



障害のある施設利用者の障害種別（図表 18）を施設別にみると以下のような傾向がみられる。

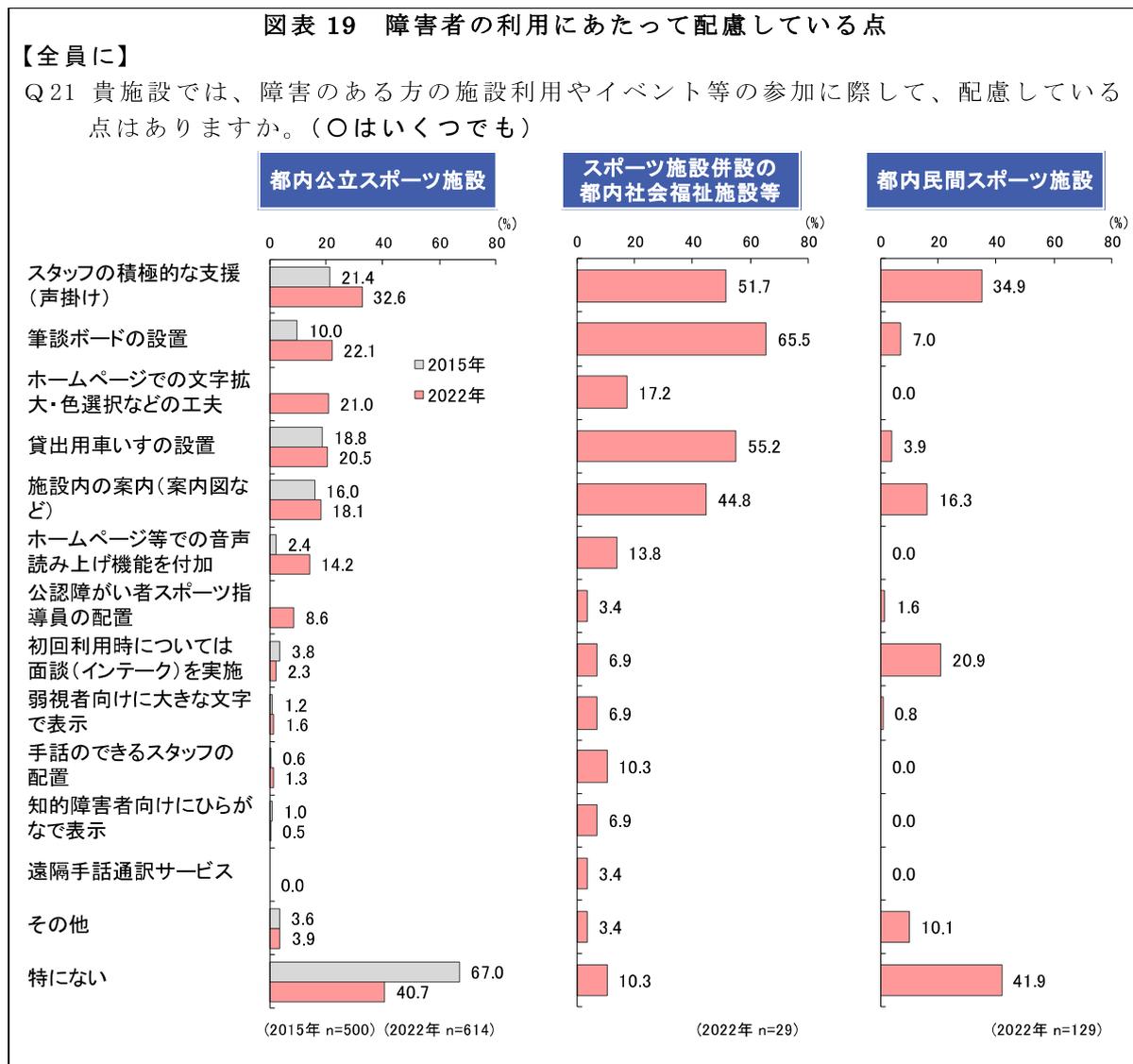
都内公立スポーツ施設は、「肢体不自由」（33.8%）、「知的障害」（30.5%）が3割を超えて高かった。「障害の種類は把握していない」が66.7%であった。公立スポーツ施設では、事前申込が不要のイベントを開催するケースもあり、利用者に障害の種類を確認していないことが多いと推測される。

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は、「視覚障害」（41.2%）、「肢体不自由」（41.2%）が4割を超えて高かった。都内公立スポーツ施設と同様に「障害の種類は把握していない」が64.7%と高かった。

都内民間スポーツ施設は、「肢体不自由」（36.7%）、「聴覚障害」（34.7%）が3割を超えて高かった。「障害の種類は把握していない」が22.4%となっており、他の施設に比べて把握率が高かった。民間スポーツ施設では、イベント参加者が会員に限定される場合が多く、障害の種類が把握しやすいと推測される。

## (5) 障害者向けの配慮と設備の設置状況

### ① 障害者の利用にあたって配慮している点



障害者の利用にあたって配慮している点（図表 19）をみると、

都内公立スポーツ施設は、「スタッフの積極的な支援(声掛け)」(32.6%)、「筆談ボードの設置」(22.1%)、「ホームページでの文字拡大・色選択などの工夫」(21.0%)、「貸出用車いすの設置」(20.5%)の順で実施している施設が多かった。2015年度と比べ、「筆談ボードの設置」(12.1ポイント)、「ホームページ等での音声読み上げ機能を付加」(11.8ポイント)、「スタッフの積極的な支援(声掛け)」(11.2ポイント)を実施する施設が増えた。

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は、「筆談ボードの設置」(65.5%)、「貸出用車いすの設置」(55.2%)、「スタッフの積極的な支援(声掛け)」(51.7%)、「施設内の案内(案内図など)」(44.8%)を実施している施設が多かった。

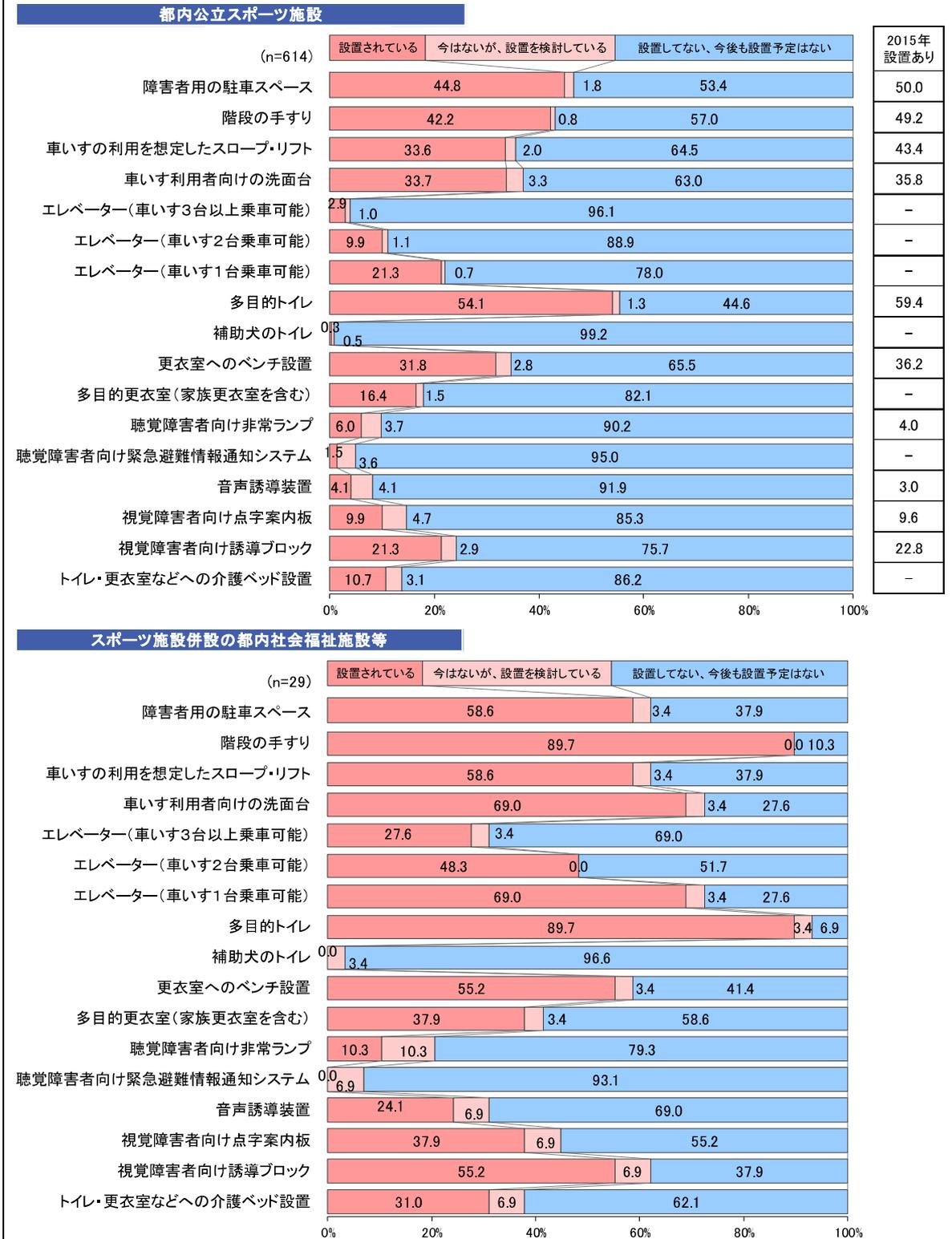
都内民間スポーツ施設は、「スタッフの積極的な支援(声掛け)」(34.9%)、「初回利用時については面談(インテーク)を実施」(20.9%)を実施している施設が多かった。

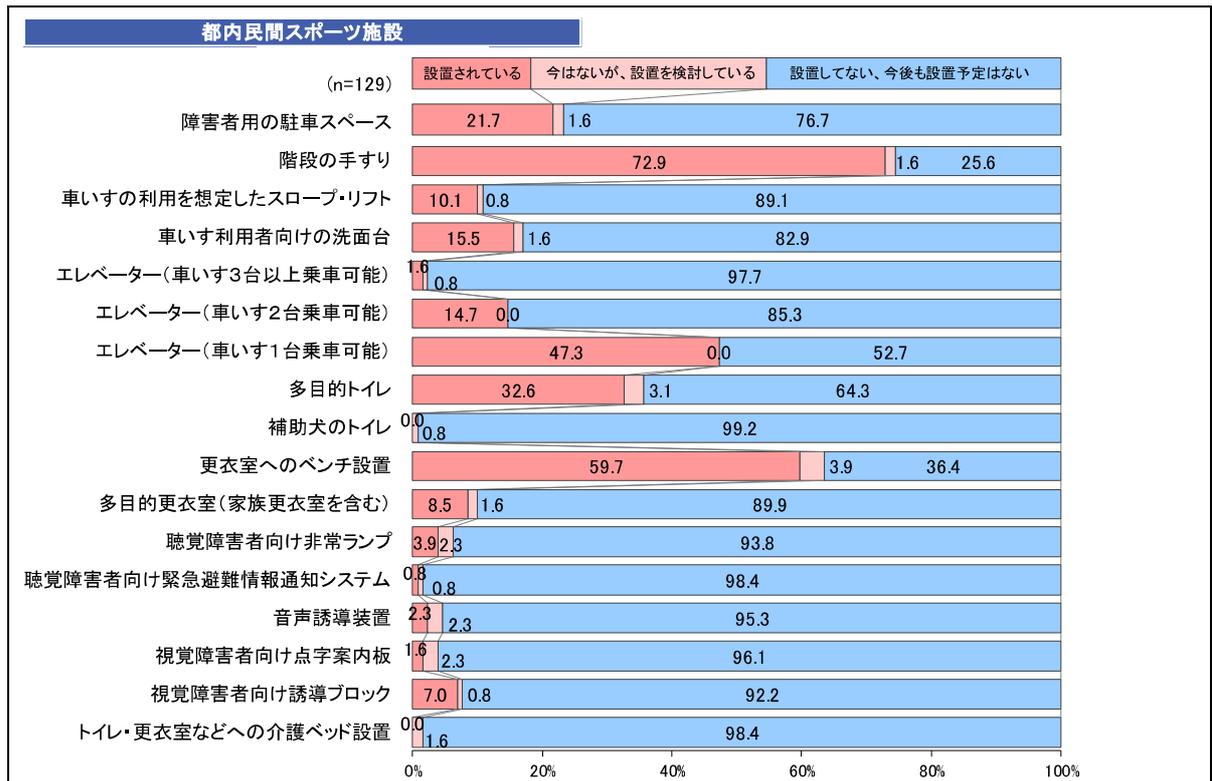
②障害者向け設備の設置状況

図表 20 障害者向け設備の設置状況

【全員に】

Q 22 貴施設には、以下の設備がありますか。(〇はそれぞれ1つつつ)





障害者向け設備の設置状況（図表 20）をみると、

都内公立スポーツ施設は、「多目的トイレ」（54.1％）の設置が 5 割を超える。「障害者用の駐車スペース」（44.8％）、「階段の手すり」（42.2％）は 4 割を超える施設で設置されており、「車いす利用者向けの洗面台」（33.7％）、「車いすの利用を想定したスロープ・リフト」（33.6％）、「更衣室へのベンチ設置」（31.8％）は 3 割を超える施設で設置されていた。2022 年度よりも 2015 年度の障害者設備の設置率が高い傾向がみられるが、これは、2022 年度調査は屋外施設からの回答が増加した結果、エレベーターや多目的トイレなどの障害者設備の設置状況が低くなったことが影響している可能性がある。

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は、「階段の手すり」（89.7％）、「多目的トイレ」（89.7％）の設置が 9 割弱と高かった。次いで、「車いす利用者向けの洗面台」（69.0％）、「エレベーター（車いす 1 台乗車可能）」（69.0％）、「障害者用の駐車スペース」（58.6％）、「車いすの利用を想定したスロープ・リフト」（58.6％）、「更衣室へのベンチ設置」（55.2％）、「視覚障害者向け誘導ブロック」（55.2％）の設置が 5 割を超えていた。

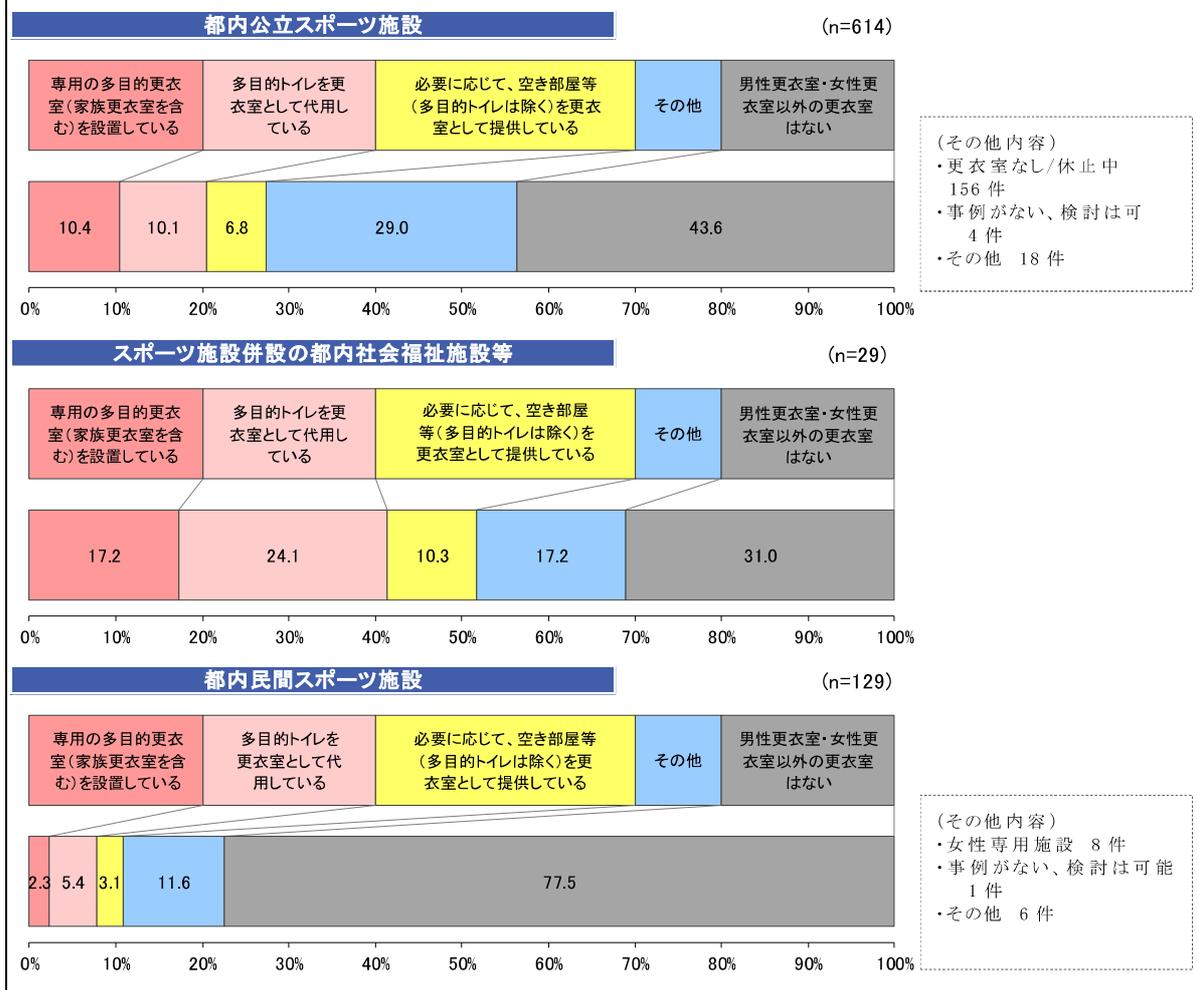
都内民間スポーツ施設は、「階段の手すり」（72.9％）の設置が 7 割を超えていた。「更衣室へのベンチ設置」（59.7％）、「エレベーター（車いす 1 台乗車可能）」（47.3％）、「多目的トイレ」（32.6％）を設置している施設も多かった。

### ③更衣室の設置状況

図表 21 更衣室の設置状況

【全員に】

Q 36 貴施設では、ジェンダーや障害を理由に男性更衣室・女性更衣室の利用を嫌がる方が利用できるその他の更衣室を設置していますか。(〇は1つ)



ジェンダーや障害を理由に男性更衣室・女性更衣室の利用を嫌がる方が利用できる更衣室の設置状況(図表 21)をみると、

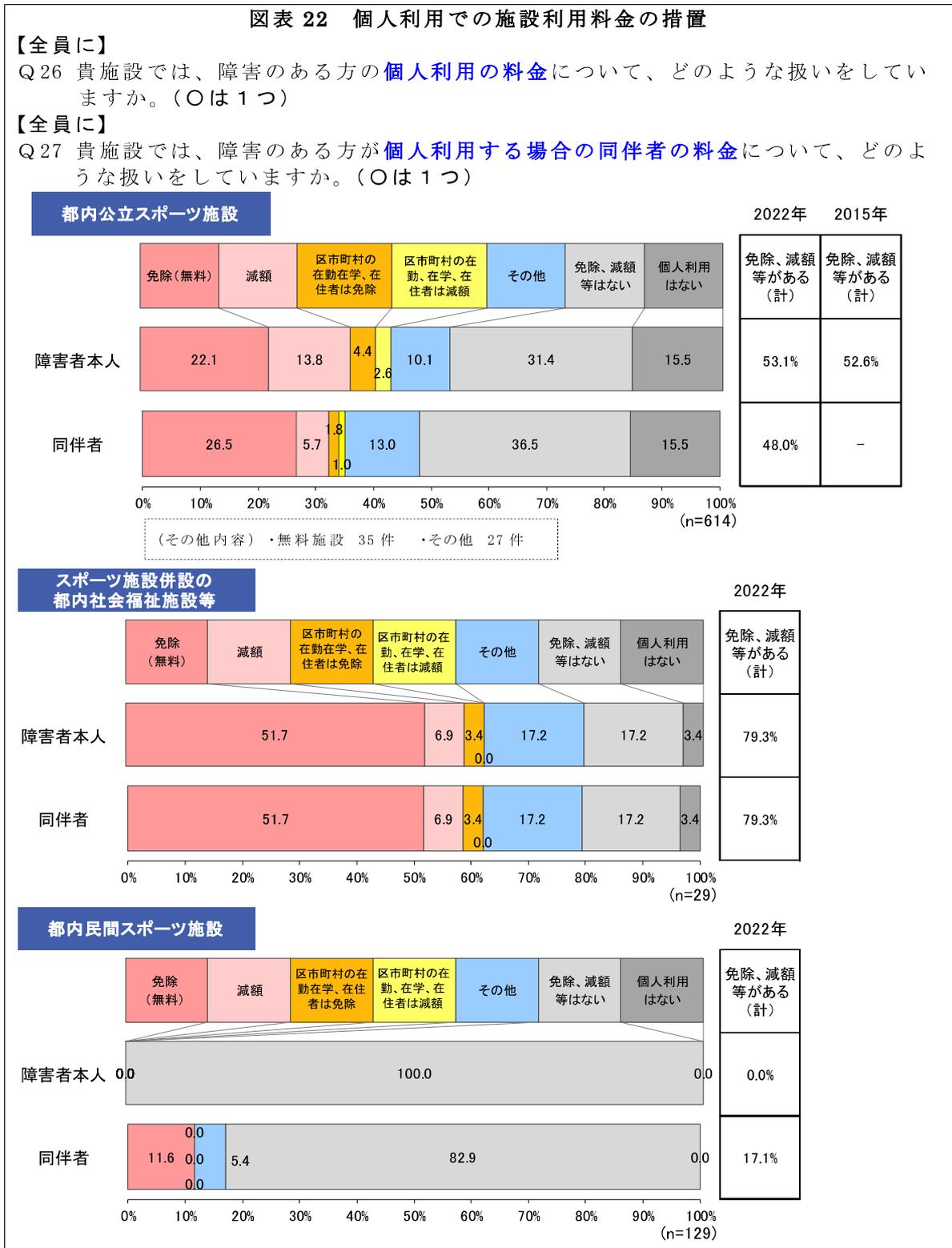
都内公立スポーツ施設は、「専用の多目的更衣室(家族更衣室を含む)を設置している」が10.4%、「多目的トイレを更衣室として代用している」が10.1%、「必要に応じて、空き部屋等(多目的トイレは除く)を更衣室として提供している」が6.8%であり、「男性更衣室・女性更衣室以外の更衣室はない」は43.6%であった。

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は、「多目的トイレを更衣室として代用している」が24.1%、「専用の多目的更衣室(家族更衣室を含む)を設置している」が17.2%、「必要に応じて、空き部屋等(多目的トイレは除く)を更衣室として提供している」が10.3%であった。

都内民間スポーツ施設は、「男性更衣室・女性更衣室以外の更衣室はない」は77.5%と8割弱で設置がなかった。

(6) 障害者の施設利用規定

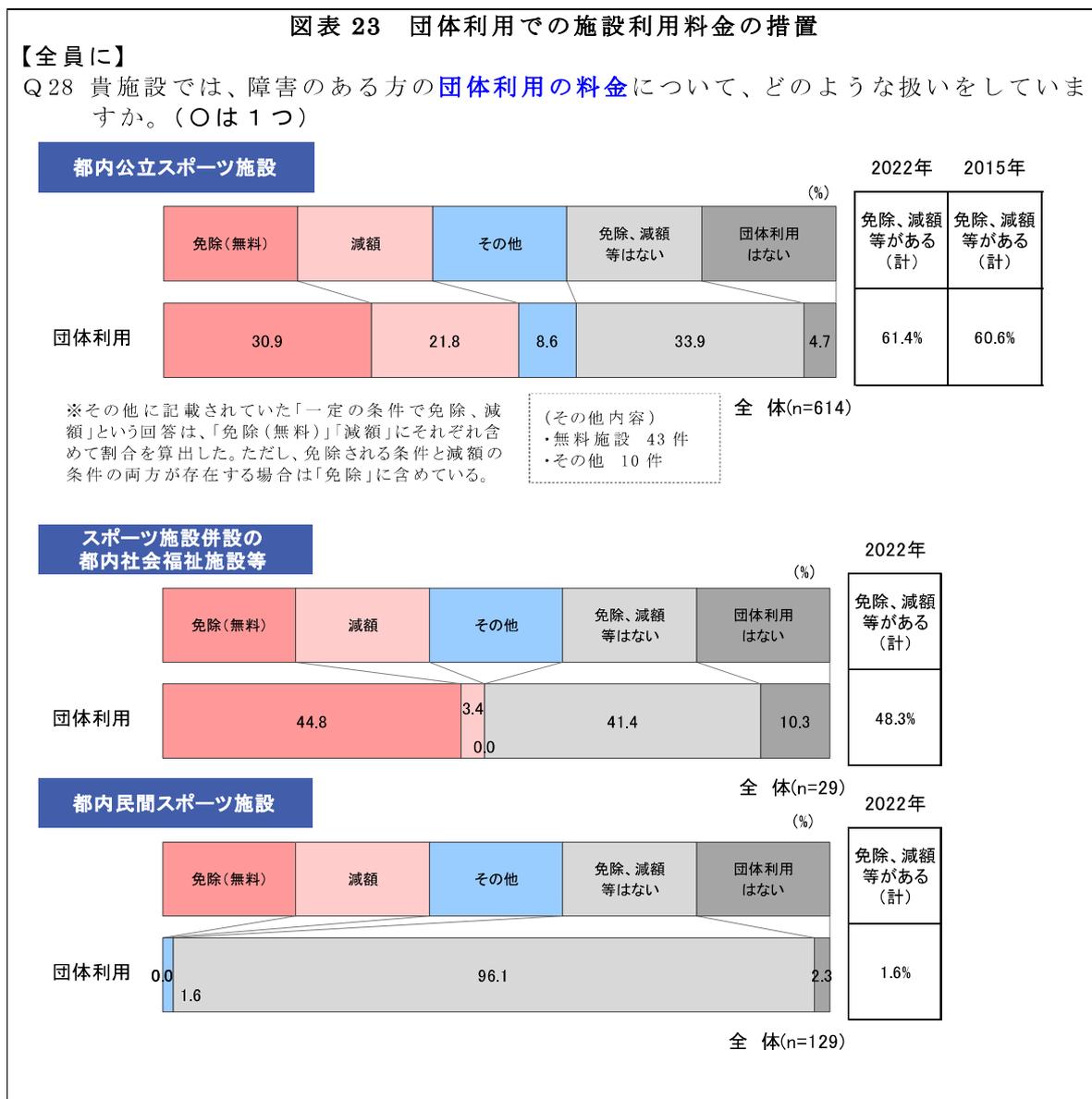
① 個人利用での施設利用料金の措置



個人利用での施設利用料金の措置（図表 22）をみると、都内公立スポーツ施設は障害者本人の「免除（無料）」が 22.1%、「減額」が 13.8%であった。スポーツ施設併設の都

内社会福祉施設等は障害者本人と同伴者の「免除（無料）」が 51.7%であった。都内民間スポーツ施設は障害者本人の「免除（無料）」や「減額」は行われていなかった。

## ②団体利用での施設利用料金の措置



団体利用での施設利用料金の措置（図表 23）をみると、都内公立スポーツ施設は「免除（無料）」が 30.9%、「減額」が 21.8%であった。「その他」は 8.8%で、無料施設であるという回答が大半を占めた。

スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は「免除（無料）」が 44.8%、都内民間スポーツ施設は「免除（無料）」や「減額」は行われていなかった。

### ③個人利用での障害者手帳の提示

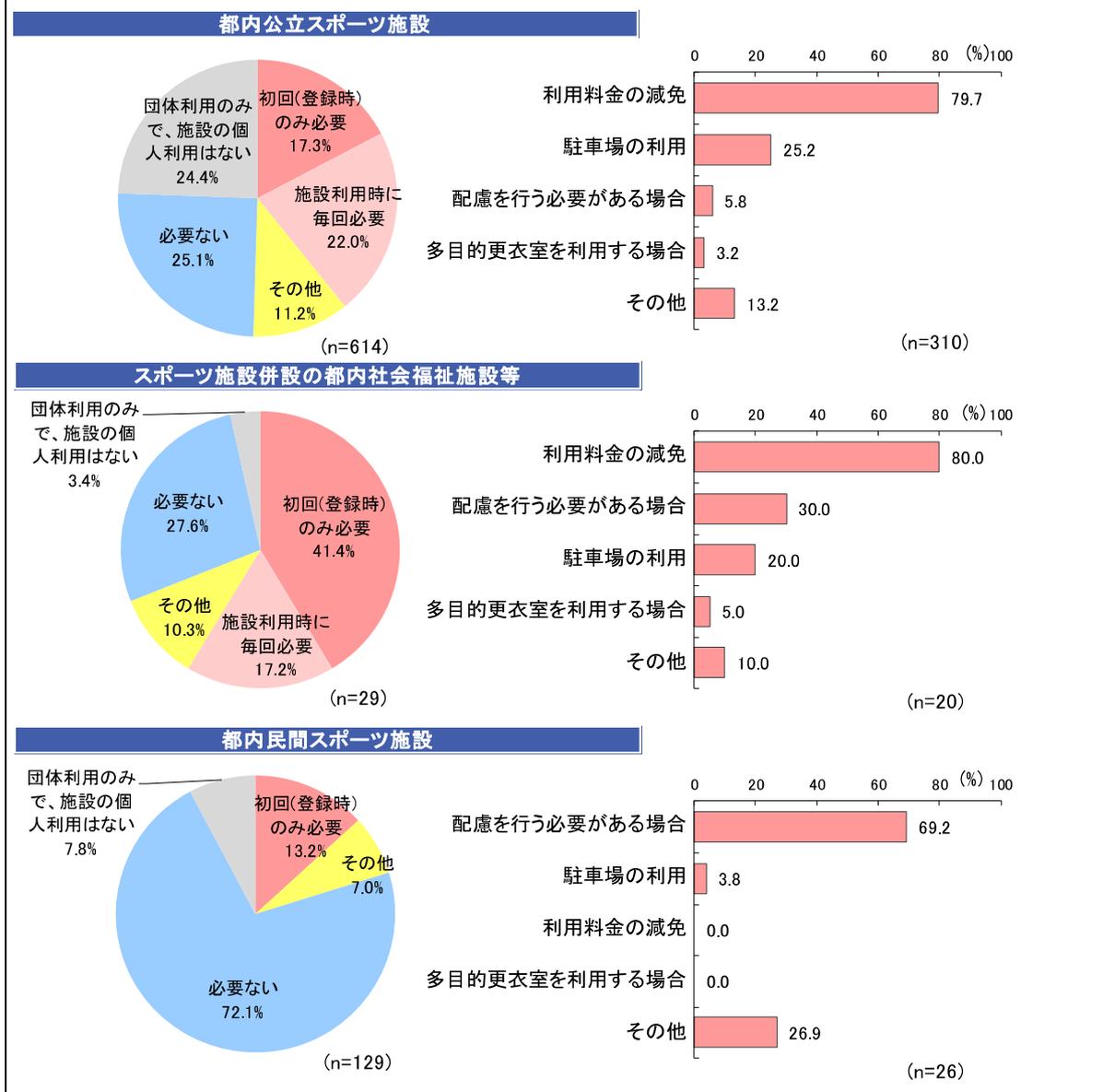
図表 24 障害者手帳の提示（個人利用）

【全員に】

Q29 貴施設では、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示が必要ですか。  
（○は1つ）

【Q29で「1～3.提示が必要」と回答した方に】

Q31 貴施設では、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示が必要な理由や場面をお答えください。（○はいくつでも）



障害者手帳の提示（個人利用）（図表 24）をみると、都内公立スポーツ施設は「初回（登録時）のみ必要」が 17.3%、「施設利用時に毎回必要」が 22.0%で、提示が必要な理由は「利用料金の減免」が 79.7%であった。スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は初回（登録時）のみ必要」が 41.4%、「施設利用時に毎回必要」が 17.2%で、提示が必要な理由は「利用料金の減免」が 80.0%であった。都内民間スポーツ施設は「初回（登録時）のみ必要」が 13.2%で、提示が必要な理由は「配慮を行う必要がある場合」が 69.2%であった。

④個人利用での障害者手帳の提示が初回にのみで良い理由

**図表 25 個人利用での障害者手帳の提示が初回にのみで良い理由配慮**

【Q29 で「1.初回(登録時)のみ必要」と回答した方に】

Q 30 貴施設で、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示が「初回(登録時)のみ」で良い理由はどのような理由からでしょうか。

---

**パス・登録証・減額証等で確認している(79件)**

- ・いきいきフリーパスという制度で区全体が高齢者、障害者の利用時に提示なくとも利用できるようなっている。(公立施設)
- ・区民無料利用証を発行し、提示してもらうため。(公立施設)
- ・減額証の提示で障害者手帳保持とみなすため。(公立施設)
- ・初回(登録時)に、別の利用証を交付するため。(公立施設)
- ・市内在住の高齢者又は障害のある方については、利用料が無料となる「オパール会員」という制度があり、登録証を交付するため(毎年度更新)。(公立施設)
- ・初回の確認時、次回から手帳の提示が不要になるようカードを作成しているため。(発行したカードの提示は毎回必須)(公立施設)

---

**初回に登録記録している(33件)**

- ・何度も提示する事は手間と考え、初回コピーを取らせて頂き、ファイルにして金庫に保管しています。(公立施設)
- ・登録時に利用システムで減免設定を行えば、以後の利用は減免料金が適用されるため。(公立施設)
- ・利用時に初回登録時の情報を確認するため。(公立施設)

---

**スタッフで情報を共有、認識可能なため(12件)**

- ・職員間で情報共有するため。(社会福祉施設等)
- ・障害者手帳提示者の氏名を控え、職員で情報共有し、障害者利用券と氏名の確認で提示の代わりとしている。(公立施設)

---

**障害の状態を確認するため(5件)**

- ・お客様のお身体の状態を確認するため。(民間施設)
- ・安全配慮として必要な情報有無の確認の為。(民間施設)

---

**市、区の条例・規定によるため(3件)**

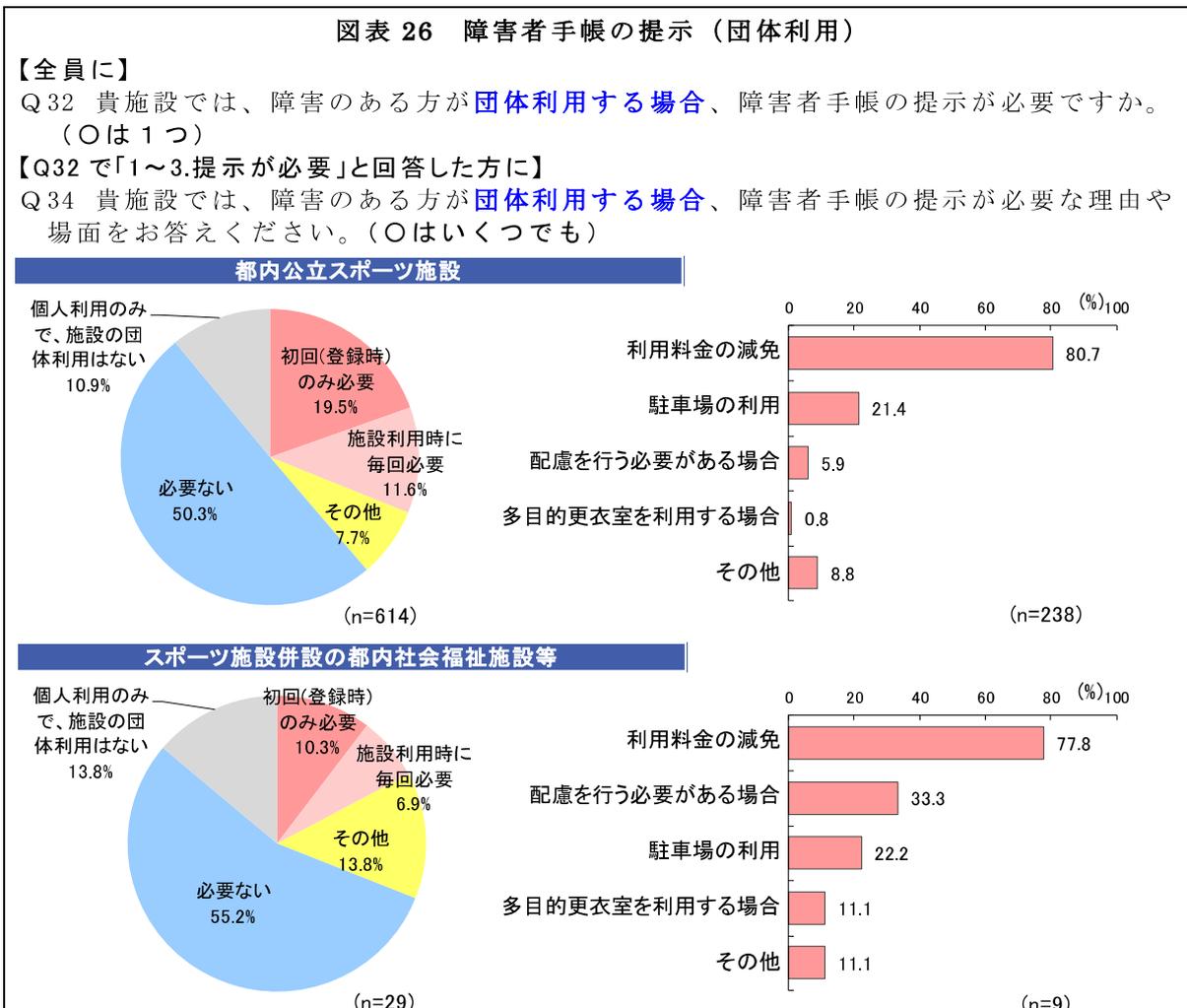
- ・市の条例によるため。(公立施設)

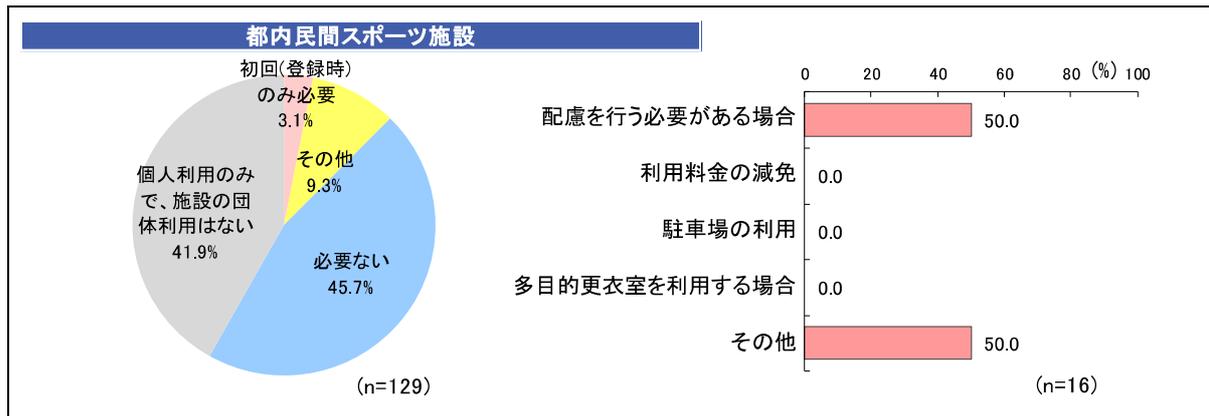
---

**システムで管理している(3件)**

- ・予約システム上、必要としないため。(公立施設)

⑤団体利用での障害者手帳の提示





障害者手帳の提示（団体利用）（図表 26）をみると、都内公立スポーツ施設は「初回（登録時）のみ必要」が 19.5%、「施設利用時に毎回必要」が 11.6%で、提示が必要な理由は「利用料金の減免」が 80.7%であった。スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は「初回（登録時）のみ必要」が 10.3%、「施設利用時に毎回必要」が 6.9%で、提示が必要な理由は「利用料金の減免」が 77.8%であった。都内民間スポーツ施設は「初回（登録時）のみ必要」が 3.1%で、提示が必要な理由は「配慮を行う必要がある場合」が 50.0%であった。

#### ⑥ 団体利用での障害者手帳の提示が初回にのみで良い理由

図表 27 団体利用での障害者手帳の提示が初回にのみで良い理由配慮

【Q32 で「1.初回（登録時）のみ必要」と回答した方に】

Q33 貴施設で、障害のある方が**団体利用する場合**、障害者手帳の提示が「初回（登録時）のみ」で良い理由はどのような理由からでしょうか。

**初回に登録記録している(53件)**

- ・初回（登録時）に確認済みであるため。（公立施設）
- ・団体登録の際、障害者の減免申請で確認済みのため。（公立施設）
- ・登録後は、免除が認められているため、2年更新のタイミングまでは、提示の必要がないため。（公立施設）

**事務手続きの簡略化(24件)**

- ・事務手続きの簡略化。（公立施設）

**システムで管理している(20件)**

- ・登録時に利用システムで減免設定を行えば以後の利用は減免料金が適用されるため。（公立施設）
- ・システム管理上、必要としないため。（公立施設）

**IDカード・登録証等で確認している(19件)**

- ・登録カードを発行するため。（公立施設）
- ・初回の登録時に団体の専用IDカードを発行するため。（公立施設）

**市、区の条例・規定によるため(12件)**

- ・渋谷区条例で定められている通り団体登録時に証明するための書類として必要。（公立施設）

**障害の状態を確認するため(1件)**

- ・お客様のお身体の状態確認のため。（民間施設）

**スタッフで情報を共有するため、認識可能なため(1件)**

- ・コーチ同士で共有出来るから。（民間施設）

⑦事前団体登録の必要性

図表 28 事前団体登録の必要性

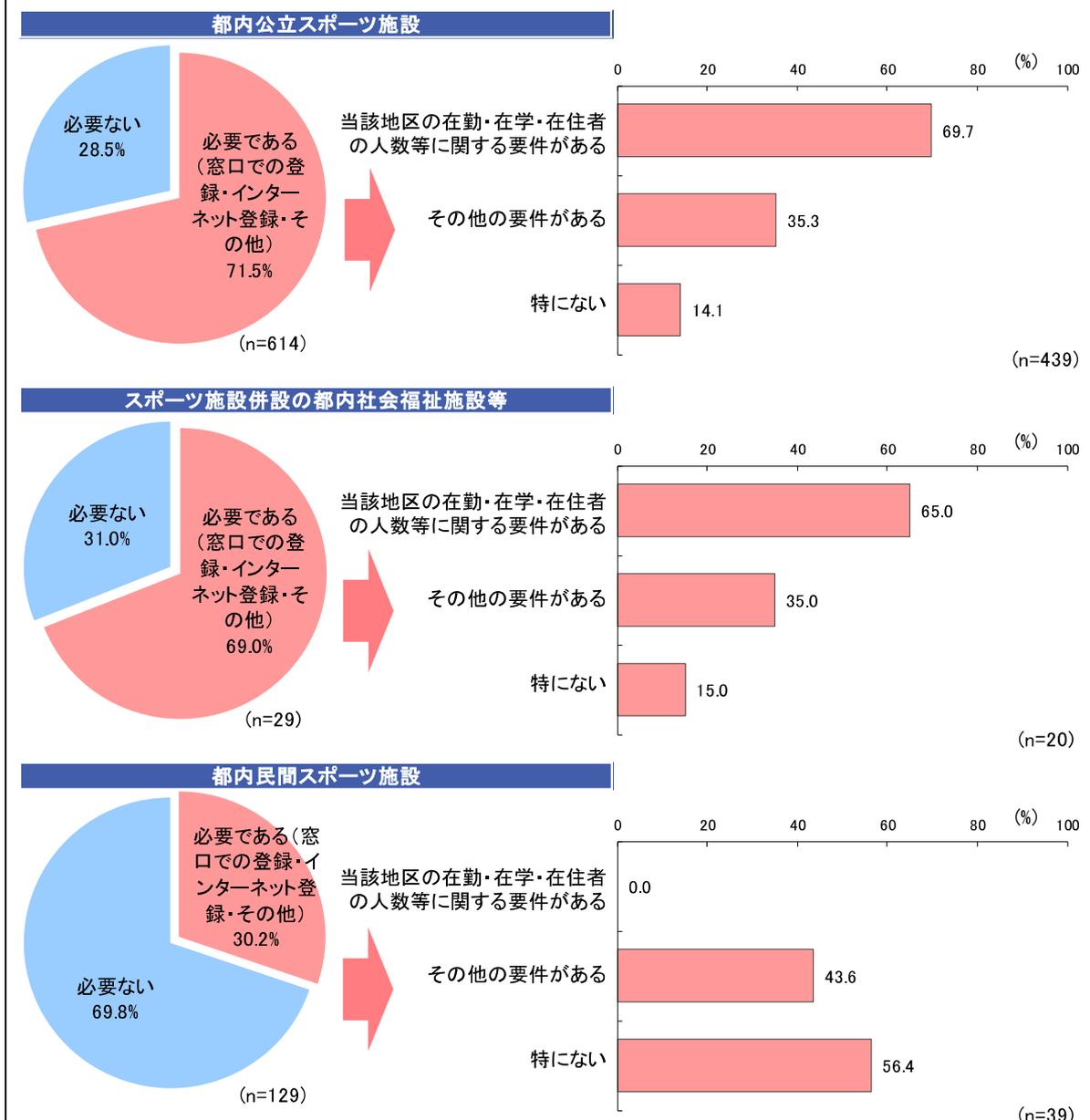
【全員に】

Q 35 貴施設における団体利用についてお伺いします。  
(障害の有無に関わらず、すべての団体について)

(1) 事前に団体登録が必要ですか。(○は1つ)

【Q35(1)で「1.必要である」と回答した方に】

(2) 団体登録の要件についてお答えください。(○はいくつでも)



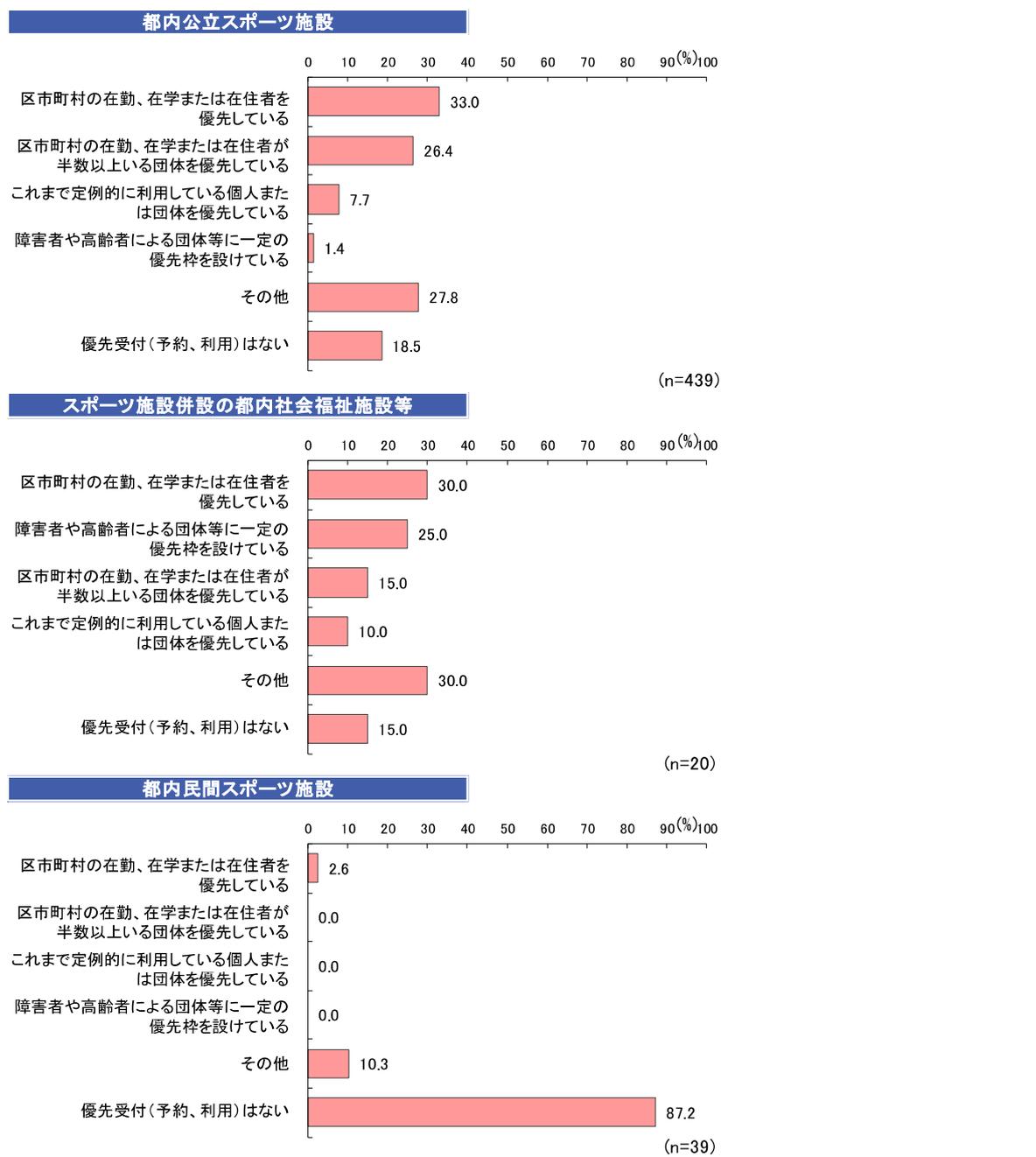
事前団体登録の必要性（図表 28）をみると、都内公立スポーツ施設は「必要である（窓口での登録・インターネット登録・その他）」が 71.5%で、団体登録の要件は「当該地区の在勤・在学・在住者の人数等に関する要件がある」が 69.7%であった。スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は「必要である（窓口での登録・インターネット登録・その他）」が 69.0%、都内民間スポーツ施設は「必要である（窓口での登録・インターネット登録・その他）」が 30.2%であった。

⑧ 団体利用の優先受付

図表 29 団体利用の優先受付

【Q35(1)で「1.必要である」と回答した方に】

(3) 団体利用について優先受付（予約、利用）はありますか。（〇はいくつでも）



団体利用の優先受付（予約、利用）（図表 29）をみると、都内公立スポーツ施設は「区市町村の在勤、在学または在住者を優先している」が 33.0%、「区市町村の在勤、在学または在住者が半数以上いる団体を優先している」が 26.4%であった。スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は「区市町村の在勤、在学または在住者を優先している」は 30.0%、「障害者や高齢者による団体等に一定の優先枠を設けている」が 25.0%であった。都内民間スポーツ施設は「優先受付（予約、利用）はない」が 87.2%であった。

(7)「障がい者スポーツ指導員」の配置状況

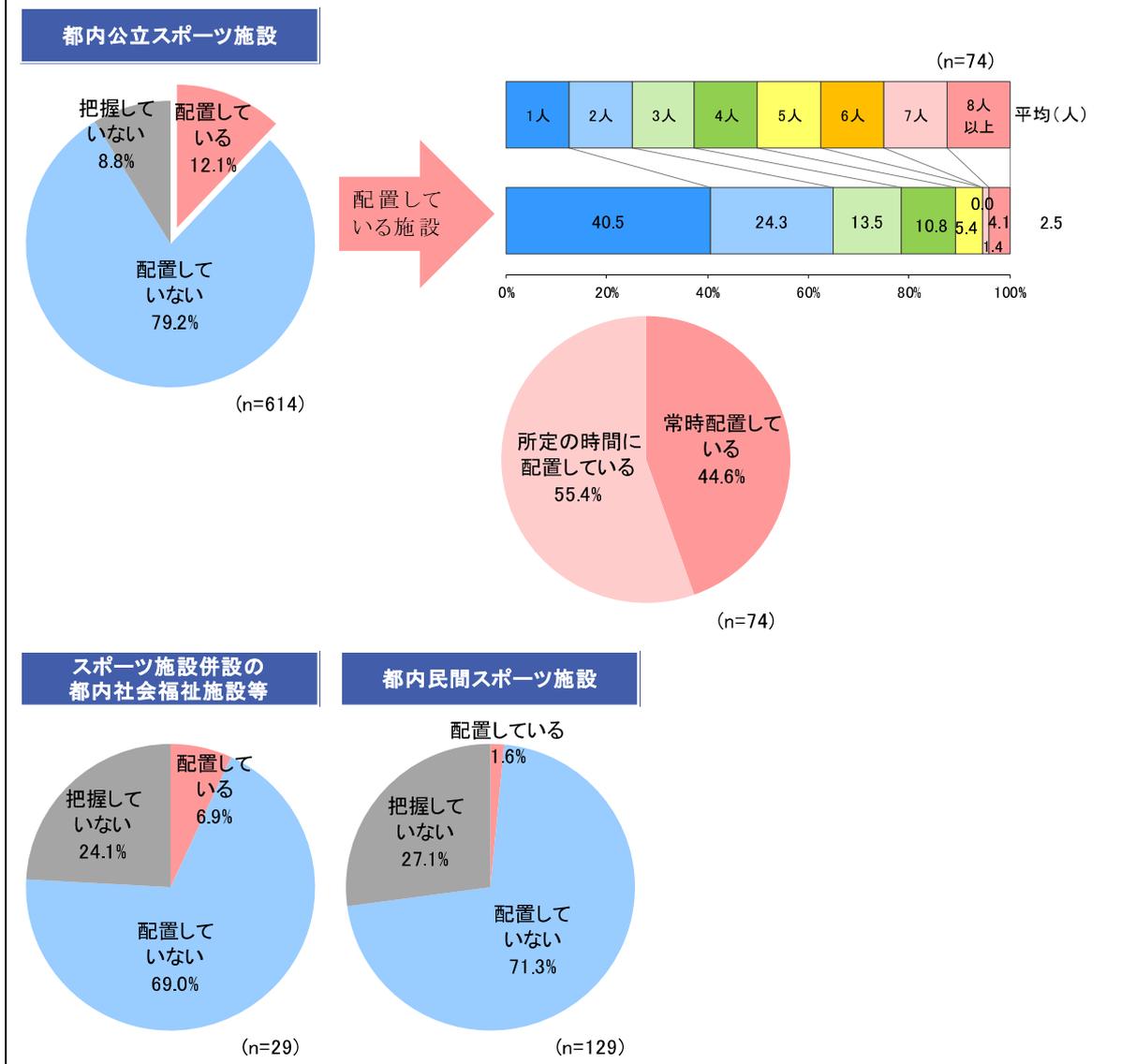
図表 30 「障がい者スポーツ指導員」の配置状況

【全員に】

Q 37 公益財団法人日本パラスポーツ協会では、国内における障害者のスポーツの普及と発展をめざし、「障がい者スポーツ指導員」の公認指導者制度を制定していますが、貴施設には、障がい者スポーツ指導員を配置していますか。(〇は1つ)

【Q37で「1.配置している」と回答した方に】

Q 38 「障がい者スポーツ指導員」の配置状況をお教えてください。(〇は1つ)



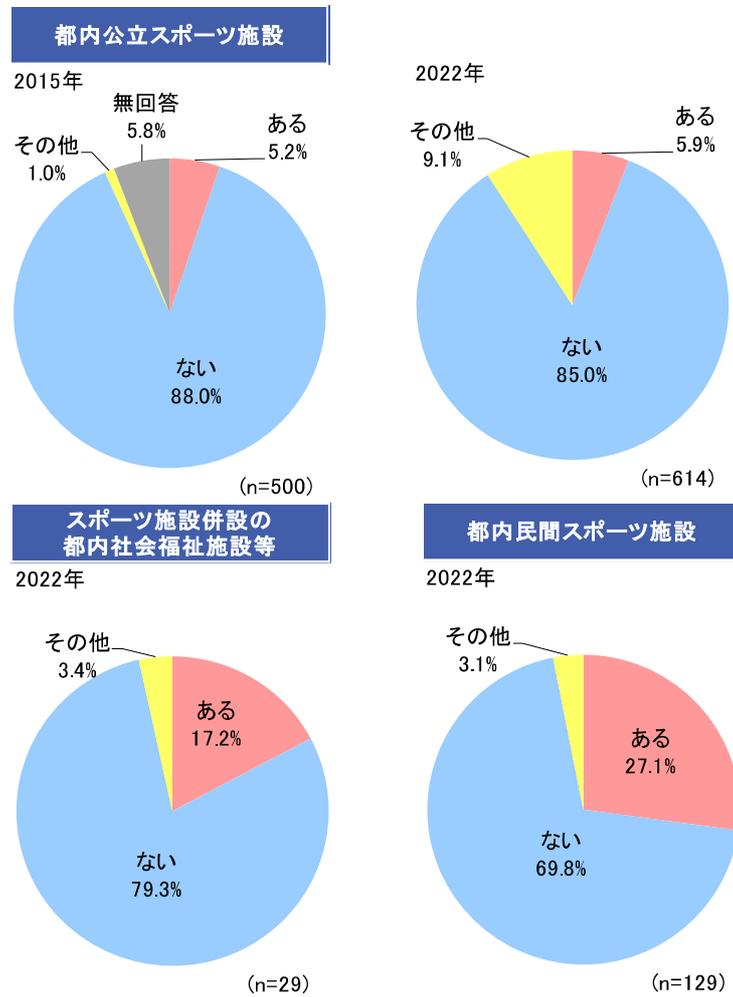
「障がい者スポーツ指導員」の配置状況（図表 30）をみると、都内公立スポーツ施設は「配置している」が 12.1%で、配置している施設の平均人数は 2.5 人、「常時配置している」は 44.6%であった。スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は「配置している」が 6.9%、都内民間スポーツ施設は「配置している」が 1.6%であった。

(8) 障害者利用に関するマニュアルの有無

図表 31 障害者利用に関するマニュアルの有無

【全員に】

Q 39 貴施設には、障害のある方が施設を利用する場合の対応等について記載したマニュアルがありますか。(〇は1つ)



障害者利用に関するマニュアルの有無（図表 31）をみると、都内公立スポーツ施設は「ある」が 5.9%で、スポーツ施設併設の都内社会福祉施設等は 17.2%、都内民間スポーツ施設は 27.1%であった。

(9) 障害のある方の利用促進のために、配慮している点、工夫している点

図表 32 障害のある方の利用促進のために、配慮している点、工夫している点  
【全員に】

Q 23 貴施設における障害のある方の利用促進のために、配慮している点、工夫している点、積極的にPRしたい点などがありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。特になし場合は「特になし」とお書きください。

○優先利用・料金減免(50件)

利用料金減免(39件)

- ・団体利用・・・障害者(児)で組織する市内の団体は施設使用料を全額減免としている。個人利用・・・市内に住所を有する障害者(児)及びその付添人が使用する場合は、施設使用料を全額減免している。(公立施設)

優先・専用利用(4件)

- ・混雑時に車いすの方が利用される際は1レーンを車いす専用レーンにする。(公立施設)
- ・プールにおいては障害をもつ方々の団体へ定期的にコース貸し切り利用を提供しています。(公立施設)

駐車スペース(3件) 駐車場(2件) 駐車場優先確保(1件) 駐車料金無料(1件)

○スタッフのサポート(42件)

声かけ・コミュニケーション(15件)

- ・積極的にお声掛けを実施し孤立させない取り組みをしております。(民間施設)

スタッフのサポート(14件)

- ・利用者様からお手伝いのご依頼があれば、職員が対応できる体制を取っており、障害を持つお子さんを連れてご利用になる団体の責任者様とは、施設等でのトラブルへの対応等意見交換を行うなどしています。(社会福祉施設等)

事前の面談(2件) 利用相談(2件) レシーバーでの連携(2件) 利用時補助(入退水、トレーニング機器)(1件) 利用者との意見交換(1件) 利用の案内(1件) 巡回見回り(1件) 公平な利用(1件) スタッフ間情報共有(1件) トレーニング室付添(1件)

○肢体不自由対応(33件)

スロープ(6件)

- ・プール入水の際スロープがあるため、脚が不自由な方も利用しやすい(公立施設)

車いす対応マシン(3件)

- ・トレーニングルームに、車いすでも利用できるマシンを導入(チェストプレス、ラットプル、ショルダープレス)(公立施設)
- エレベーター(3件) 車いす洗浄機(3件) プール直結更衣室(2件) 車いす貸出(2件) アクアリフト(1件) プールスロープ(1件)
- プール用車いす(1件) トイレ(車いす優先)(1件) 仮設スロープ(1件) 車いすスタッフ(1件) 車いす用ウォーターサーバー(1件)
- 車いす用設備(2件) 車いすの補助器具貸出(1件) 段差のないレイアウト(1件) 段差解消機(1件) 段差対応プレート(1件)
- シャワー(車いす優先)(1件)

○施設(28件)

バリアフリー(9件)

- ・メインアリーナ・サブアリーナ・プール・トレーニングジムなど、ご利用いただく施設への動線についてバリアフリーを完備(公立施設)

トイレ(6件)

- ・1・2・3階に多目的手洗所を設置しており、プール及び健康ルーム(トレーニングルーム)がある3階には多目的更衣室も設置(公立施設)

更衣室(6件)

- ・多目的更衣室といった身体的に障害のある方やLGBTの方にも気持ちよく使っていただける設備が整っています。(公立施設)

動線整理(2件)

- ・障害者の方でも安心してご利用していただけるよう、導線に物などを置かない配慮している。(公立施設)

フェンス(1件) 空き部屋の更衣室利用(1件) 案内サイン(1件) 案内板(1件) 誘導案内板(1件)

○聴覚障害対応(19件)

筆談対応(12件)

- ・トレーニングルームでは筆談ボードにて施設職員とトレーニング職員とがコミュニケーションをとれるよう工夫しています。(公立施設)

耳マーク設置(3件) ヒアリンググループ(2件) 集団補聴システム(1件) ヒアリンググループマークの掲示(1件)

○イベント・教室・交流(14件)

パラスポーツ体験会(5件)

- ・イベントで障害者スポーツ体験を実施(公立施設)

スポーツ教室(4件)

- ・会員制フィットネスクラブ事業と並行して、肢体不自由者水泳クラス、発達に遅れや偏りのある女兒の親子水泳クラスを実施(民間施設)

イベント(3件)

- ・障害者と健常者が一緒に楽しめるスポーツイベントなどを企画している(公立施設)

教室受入れ(1件) 総合福祉センターとの交流、イベントの共催(1件)

○視覚障害対応(6件)

音声ガイド(1件)

- ・誰でもトイレには視覚障害者用に音声ガイドが設置されています。(公立施設)

盲導犬(1件)

- ・盲導犬配置スペースの設置
- 点字ブロック(1件) 施設誘導(視覚)(1件) 音声認識誘導装置(1件) 弱視向けキャップ(1件)

○資格取得・資格者配置(6件)

指導員(6件)

○知的障害対応(5件)

コミュニケーションボード(4件) 知的障害者受入(保護者同伴)(1件)

○HP(3件)

HPバリアフリー情報(2件)

- ・車いす動線や施設設備についてホームページに掲載している。(公立施設)

ホームページに「障がいのある方へ」(1件)

○研修実施(3件)

差別解消法の研修(2件) 研修(1件)

○内部障害対応(2件)

オストメイト(2件)

○その他(4件)

医師(1件) 施設との連携(1件) パワープレート導入(1件) その他(1件)

(10)障害者差別解消法の施行に伴い施設で取り組んだこと

図表 33 障害者差別解消法の施行に伴い施設で取り組んだこと

【全員に】

Q 24 社会的障壁の除去の実施について、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成 28 年施行）が令和 3 年 5 月に改正され、行政機関だけではなく、これまで努力義務にとどまっていた民間事業者による合理的な配慮の提供が法的義務となり、3 年以内に施行されます。また、東京都では「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」（平成 30 年施行）により、行政機関及び民間事業者双方に対し、既に合理的な配慮を義務付けています。これらの法令の施行に伴い、障害のある方の利用促進のために貴施設で取り組まれた事例がありましたらお教えてください。

○肢体不自由対応(22件)

車いす用マシン

- ・車いす用のレジスタンスマシン導入(公立施設)

車いす洗浄機

- ・車イス洗浄機の設置(公立施設)

アクアシューズ

- ・アクアシューズ装着(民間施設)

スロープ

- ・スロープが無かった弓道場へ簡易のスロープを準備し、利用いただけるようにしました。(公立施設)

○イベント・教室・交流(21件)

スポーツ教室

- ・障害者向けスポーツ教室の拡充(公立施設)

ユニバーサルスポーツ

- ・ユニバーサル見学会実施やユニバーサルスポーツの実施(公立施設)

無料施設体験

- ・個々に面談をし、一緒に施設を回り、不安な点がないか確認している。必要に応じて無料にて施設体験を実施している。(民間施設)

○研修実施(20件)

差別解消法の研修

- ・全スタッフが障害者差別解消法の講習を受け適切な対応が出来るよう努めている。(公立施設)

法律・条例周知

- ・法律や条例を従業員へ周知し、障害のある方への利用への理解促進及び差別解消に努めている(公立施設)

研修

- ・平成30年9月に「障がい者対応研修」を職員を対象に実施し、理解を深めた(公立施設)

○聴覚障害対応(17件)

ヒアリンググループシステム

- ・聴覚障害者に対し携帯型ヒアリンググループシステム導入予定(公立施設)

筆談マークの設置

- ・筆談(マーク)の設置(公立施設)

筆談対応

- ・筆談ボードの設置(公立施設)

○スタッフのサポート(15件)

トレーニング室付添

- ・障害のある方がトレーニング室を利用する際には、最初の10分程度トレーナーが付き添っている。(公立施設)

自然な対応

- ・障害を持たれている方に対して、過剰に反応しない。一般の人と同じように(もちろん障害の特質における、合理的な配慮していますが)自然な対応をするよう心掛けています。(公立施設)

○施設(11件)

バリアフリー

- ・大規模改修工事の基本設計段階に入っており、その際に障害者に優しい施設づくりを検討中。(公立施設)

- ・バリアフリーマップの作成(公立施設)

- ・現状、スロープ、エレベーター、多目的トイレもあり、駐車台数にも余裕があります。今後も課題があれば改善していきます。(民間施設)

掲示見直し

- ・施設内の掲示、施設利用説明等について、掲示の位置が全般に高い。長々として説明でわかりにくい等を確認し、ユニバサルカラーも考慮し、分かち書き、カナ表記、平易な表現にて色々な方に理解いただけるよう掲示、説明の変更を進めています。(公立施設)

○資格取得・資格者配置(8件)

指導員

- ・障がい者スポーツ指導員の積極的な資格取得(公立施設)

ユニバーサルマナー検定

- ・指定管理者がユニバーサルマナー研修を受講し、3級の認定を受けた(公立施設)

○優先利用・料金減免(7件)

利用料金減免

- ・利用料金の免除措置を導入したこと。(公立施設)

○情報保障(3件)

情報保障

- ・スポーツイベント案内チラシに視覚障害のある方のための「音声コード」のバーコードを導入した。また、音声コードがあることを知らせるため、案内チラシに切り欠けをした。(公立施設)

○内部障害対応(1件)

オストメイト

- ・オストメイト用トイレの設置、受け入れ。(社会福祉施設等)

(11) 東京 2020 パラリンピック開催決定以降、施設で取り組んだこと

図表 34 東京 2020 パラリンピック開催決定以降、施設で取り組んだこと

【全員に】

Q 25 東京 2020 パラリンピック競技大会の開催が決定した 2013 年以降、障害のある方の利用促進のために貴施設で取り組まれた事例がありましたらお教えてください。

○**肢体不自由対応(29件)**

スロープ

・ 入口の段差を解消するため、入口に設置できるスロープを準備した。(公立施設)

車いす洗浄機

・ 車いすのタイヤを洗浄する機械を導入した。(公立施設)

段差解消工事

・ 更衣室、トイレの段差解消。車いす用シャワー室の設置。(公立施設)

○**資格取得・資格者配置(23件)**

指導員

・ 現地管理人には、初級障がい者スポーツ指導員の登録を義務づけている(公立施設)

・ 常勤職員に、初級障がい者スポーツ指導員資格の取得を義務付けた。(公立施設)

・ 大会を機に障害者スポーツについて意識するようになり、職員に障害者スポーツ指導員資格の取得を促進していきたい。(公立施設)

○**イベント・教室・交流(16件)**

パラスポーツ体験会

・ 2022年度5月にパラスポーツ体験としてポッチャ体験会を実施。9月にも同体験会を実施予定。(公立施設)

・ 体育館でのパラスポーツのイベントを1度実施しました。(民間施設)

・ ポッチャ体験会を実施予定(社会福祉施設等)

イベント

・ 10月のスポーツの日(旧体育の日)に障害の有無に関係なく楽しめるスポーツイベントを2014年より開催しています。(公立施設)

○**優先利用・料金減免(12件)**

利用料金減免

・ 手帳掲示による利用料金免除(区内在住者のみ)(公立施設)

・ 利用料金の免除措置を導入したこと。(公立施設)

利用の公平性

・ 大会前より、全ての施設利用の公平性を配慮していました。(公立施設)

○**視覚障害対応(8件)**

点字ブロック

・ 視覚障害者用に点字ブロックを設置した。(公立施設)

音声認識誘導装置

・ 音声認識誘導装置の設置(公立施設)

○**パラリンピック大会/選手(5件)**

パラリンピック事前合宿地

・ パラリンピック開催時にはコロンビア共和国 パワーリフティング代表選手の事前合宿地として使用してもらい、交流を図るとともに、障害者スポーツへのアピールを行った。(公立施設)

選手によるスポーツ教室

・ パラリンピック競泳に出場された選手にお越しいただき、一般の方々の水泳教室に同席していただき、水泳の技術や模範泳法を実施していただいた。(公立施設)

○**施設全体(4件)**

アクセシビリティガイドライン

・ 施設改修時・改築時に都のTokyo2020アクセシビリティガイドライン等に沿った整備を行っている。(公立施設)

東京都工事

・ 2020大会準備のため、東京都の工事により以下の増設工事が行われた。障害者用観覧スペースの増設 エレベーターの増設 手摺りの増設 多目的トイレの増設 案内誘導サインの増設(公立施設)

○**研修実施(3件)**

講習会受講

・ 足立区が主催していた障がい者スポーツに関するセミナーに職員が参加。(公立施設)

○**機運醸成(2件)**

プロジェクトチーム立ち上げ

・ スポーツ推進委員の役割として障害者スポーツ・パラスポーツのプロジェクトチームを立ち上げた。(公立施設)

○**聴覚障害対応(2件)**

ヒアリンググループ

・ ヒアリンググループ等の設置(公立施設)

○**知的・精神障害対応(1件)**

センサリールーム

・ センサリールームの設置 (以下東京都の工事によるもの)(公立施設)

○**スタッフのサポート(1件)**

声かけ

・ スタッフへの声掛け(民間施設)

## (12) 障害のある方の利用に関して、不安な点や悩んでいる点

図表 35 障害のある方の利用に関して、不安な点や悩んでいる点と

### 【全員に】

Q 40 貴施設における障害のある方の利用に関して、不安な点や悩んでいる点などがありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。特に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成 28 年施行）に関して、不安な点や悩んでいる点などがありましたらお知らせください。

#### 施設・設備が障害者対応できていない(34件)

- ・施設が古いため、バリアフリーに完全には対応できない。(公立施設)
- ・障害の有無を理由に利用を制限することはないが、対応できる範囲での対応となる。施設全体の老朽化が進んでおり、施設の更新が課題となっている。(公立施設)
- ・施設の形状が日常的に建物内への案内が出来ない環境にあるので、障害のある方には申し訳なく思う。(公立施設)
- ・古いフィットネスクラブなので時代に合わせた改築などが必要であることは理解している。時代に合わせたリニューアルの対しての補助金制度などがあるとよいと考えます。(民間施設)
- ・施設の老朽化により、障害のある方が安全安心に利用できるレベルにないと感じますが、ハード面をソフト面でカバーしていきたいと思っております。(社会福祉施設等)

#### どこまで合理的配慮やサポートを行うべきか(26件)

- ・介助が必要なのか、またどのような介助が正しいのか分からず不安です。(公立施設)
- ・補助と介助の違い お1人でご利用出来ない方は原則介助者と一緒にご利用をお願いしているがどこまでが利用出来てどこまでが出来ないのか線引きが難しい。あくまで現場としてはサポートはするが付きっきりで介助は出来ない所以对応に困る時がある。(公立施設)
- ・「合理的配慮」としてどこまで取り組むべきなのか。(公立施設)
- ・障害者の方にセンターを利用していただくために、どのような取り組みから行っていけばいいのか、まだ把握できていない。最初にどのようにアプローチをすれば、より多くの障害者の方に利用をしていただけるのを知りたい。(公立施設)

#### マンパワーが不足、人材育成(22件)

- ・少人数の受付要員のみの配置のため、手厚いサポートは難しい。(公立施設)
- ・身体障害者手帳をお持ちの方が介助者がいない場合、事故の不安とマンパワーが不足するなかで、どこまで対応すべきか迷うことがある。(公立施設)
- ・障害者がスポーツ施設を利用する場合、介助が必要となる場面があるが、市として手が届かない状態である。都には、利用者が必要とするときに介助者を派遣するサービスか、利用者との介助者をマッチングするサービスの提供をしていただきたい。(公立施設)

#### 経験不足(利用者が少ない)(9件)

- ・利用事例がないので、もし貸出希望の方がいた場合の対応について不安がある。(公立施設)
- ・利用者が少なく、施設側の経験値が皆無。(公立施設)
- ・障害のある方の利用についてはまだ準備不足で、知識が足りないので、障害のある方の利用に不安を感じる。(民間施設)

#### マニュアル、ガイドライン、周知施策がない(7件)

- ・障害のある方の利用に関して、施設内の案内や、マニュアルの作成が現状として行うことができていないため、今後の課題として考えていきたい。(公立施設)
- ・障害をお持ちの方が不安なく利用できるための要件について、ガイドラインがあるとよい。(公立施設)

#### 障害者の利用促進(6件)

- ・障害者の方に向けたイベントを実施したいが、集客面やプログラム内容に不安がある。(公立施設)
- ・利用促進をしていくにあたり、どのようなところに声をかけていけばいいかご教授ください。様々な団体やNPO法人などがございますが、その他にありましたらご教授ください。(公立施設)
- ・周知がうまくいっていないこともあるが、どのようにしたら障害のある方に利用していただけるか試行錯誤している。(公立施設)

#### ジェンダーの方の対応(5件)

- ・ジェンダーに対応する施設整備。(公立施設)
- ・ジェンダーの方への配慮が難しい 配慮しすぎて嫌がられるので・・・自己申告してくる方がいらっしやらない。(社会福祉施設等)
- ・多目的トイレで着替えた後に建物の構造上、プールの男OR女更衣室を通らないとプールに行けないので、性同一障害の方が来た場合どちらかを通らなくてはいけない。浴場施設についても貸切風呂がないので対応にもし。性同一障害の方が来た場合どうするか検討中。(社会福祉施設等)

#### 障害者の過度の要求、高圧的な態度、暴力(4件)

- ・基本的に譲り合ったの利用を依頼しているものの、他の利用者とのトラブルになることがある。利用者本人がスタッフに対し、高圧的な態度をとる、暴力(いたずら含む)をふるう。(公立施設)
- ・障害を理由に過度のサービスを期待するお客様への配慮の仕方。(公立施設)
- ・障害を理由に過度のサービスを要求された場合の対応方法。(公立施設)

#### 障害の程度を把握するのが難しい(3件)

- ・障害の程度によりご本人がどの程度の補助や協力してほしいのかがなかなかわからない。また、協力方法が介助等になってしまうと介助を専門に学んだ者がいないため大変不安である。(公立施設)

#### 一般利用者の理解(3件)

- ・プールの利用に際して、一般の利用者に知的障害のある方への配慮をどのようにご理解いただくか悩んでいる。(公立施設)
- ・障害のある方にどの程度まで補助すべきなのか。また、健常者からすると障害者に対する料金等の優遇が不公平感があると云われたことがあり、その線引きが難しい。(公立施設)

#### トラブルが生じた時の対応(3件)

- ・愛の手帳、精神障害者手帳をお持ちの方とのトラブルが生じたときに介助者がいない場合、対応に困り不安となることもある。(公立施設)

#### 障害の多様化への対応(2件)

- ・障害やLGBTなど社会の多様化に合わせてお客様を受け入れをしていく必要があるのですが、その変化に施設がどこまで対応できるのかが不透明である。(民間施設)

#### 事故への不安(1件)

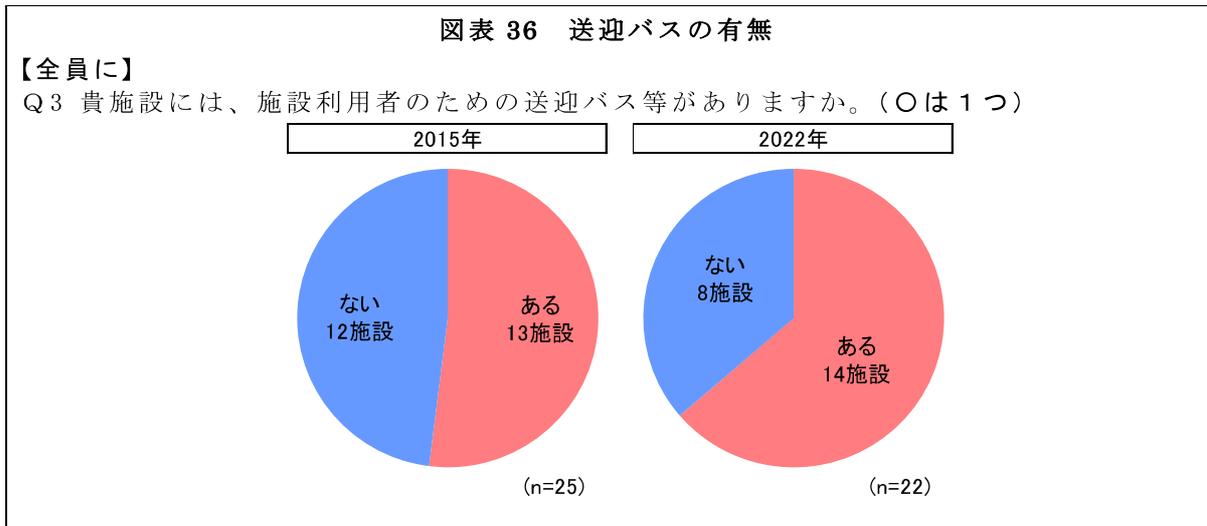
#### 子供への対応(1件)

#### 本部の許可や連携(1件)

#### 緊急時の対応(1件)

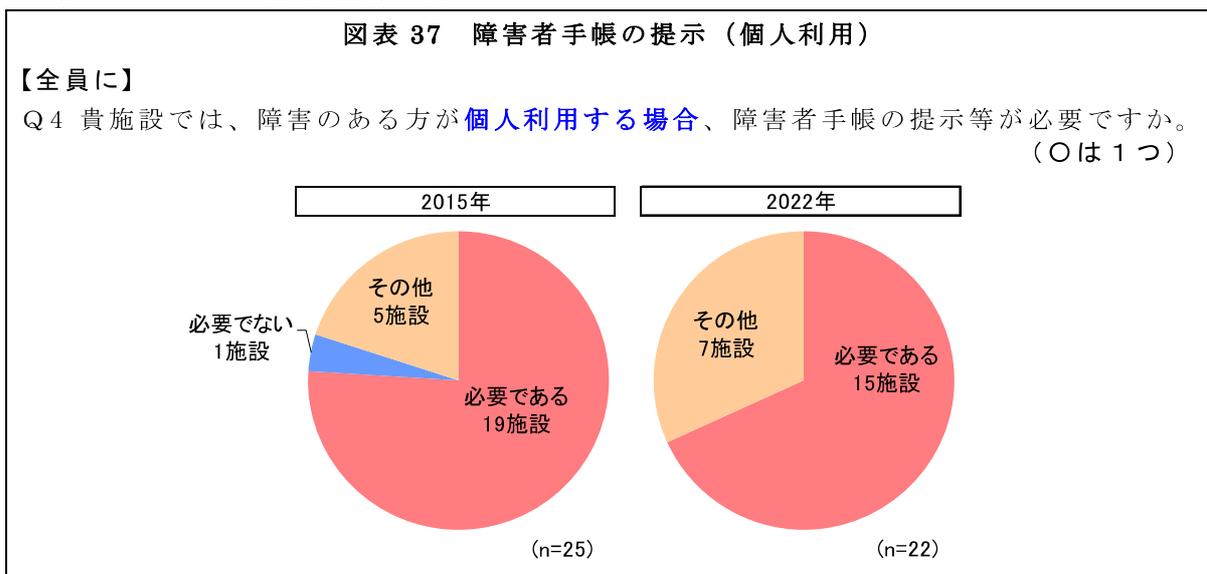
## 2 障害者スポーツ施設の利用状況調査

### (1) 送迎バスの有無



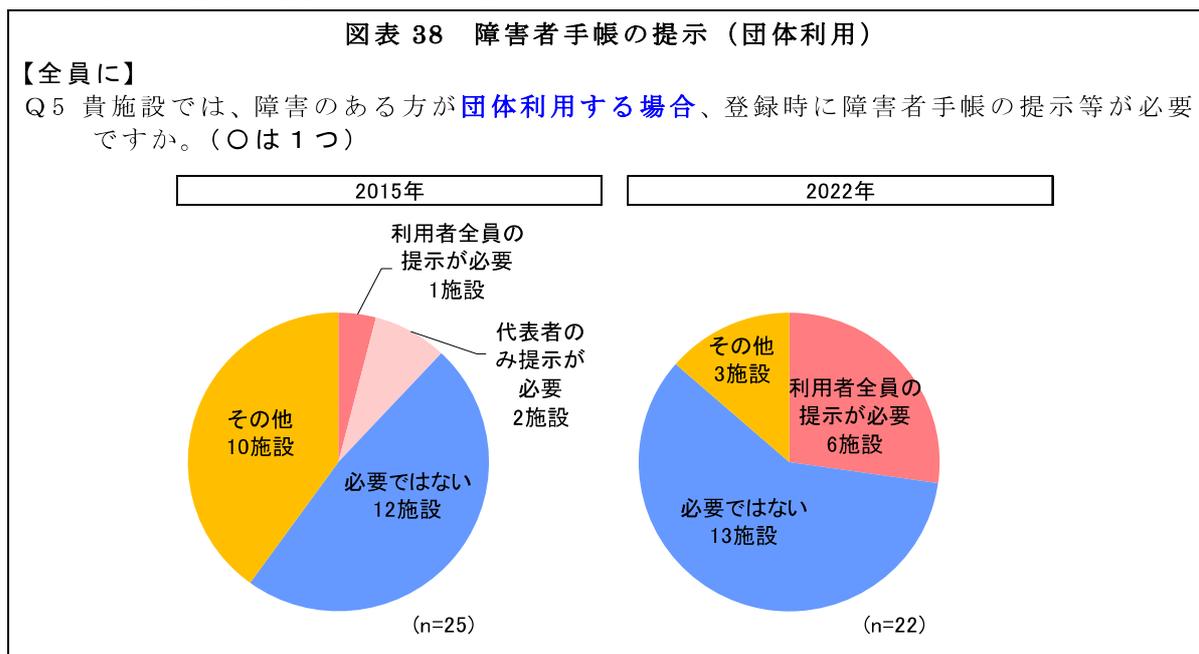
施設利用者のための送迎バスが「ある」のは 22 施設中、14 施設であった。(図表 36)

### (2) 障害者手帳提示の必要性(個人利用)



障害者手帳の提示が「必要である」という施設は 22 施設中 15 施設であった。(図表 37)

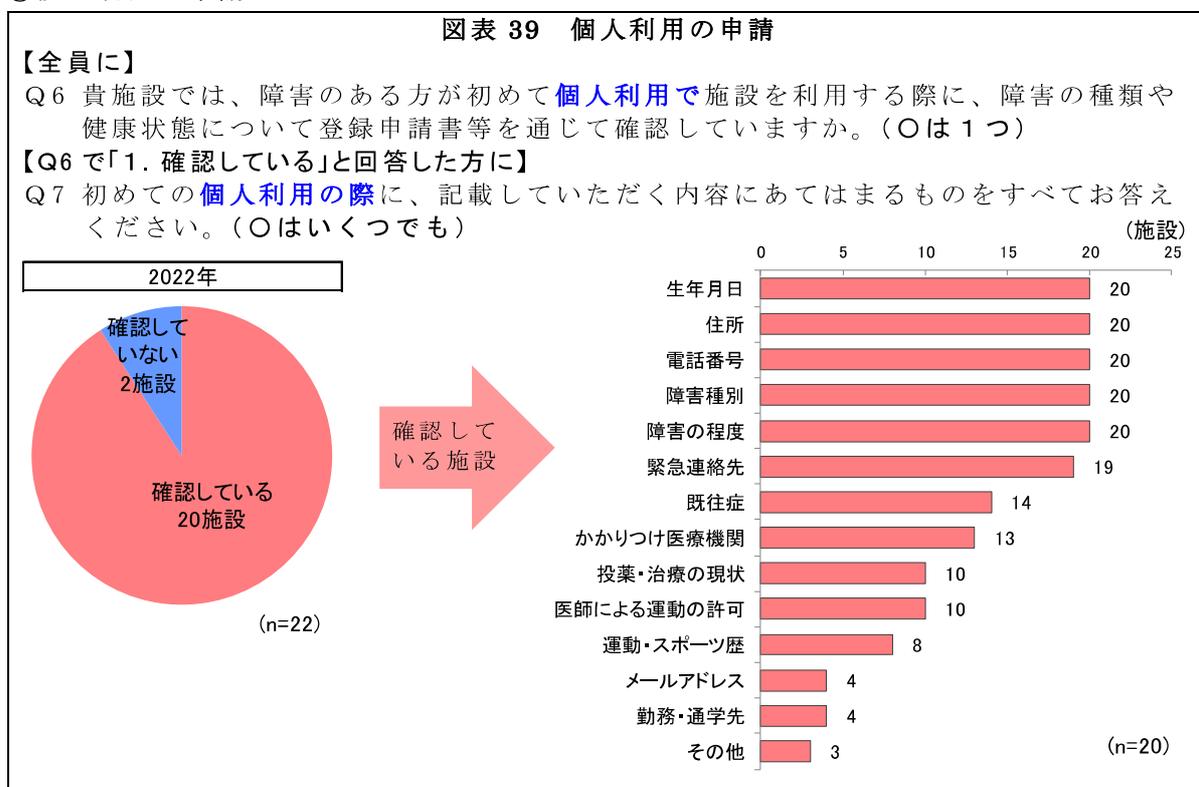
### (3) 障害者手帳提示の必要性(団体利用)



障害者手帳の提示が「利用者全員の提示が必要」という施設は 22 施設中 6 施設であった。「必要ではない」という施設は 13 施設であった。(図表 38)

### (4) 施設利用の申請

#### ① 個人利用の申請



初めて個人利用で施設を利用する際に、障害の種類や健康状態について記入する登録申請書等で「確認している」施設は、22 施設中 20 施設であった。そのすべての施設で、「生年月日」「住所」「電話番号」「障害種別」「障害の程度」の記載を求めている。(図表 39)

②団体利用の申請

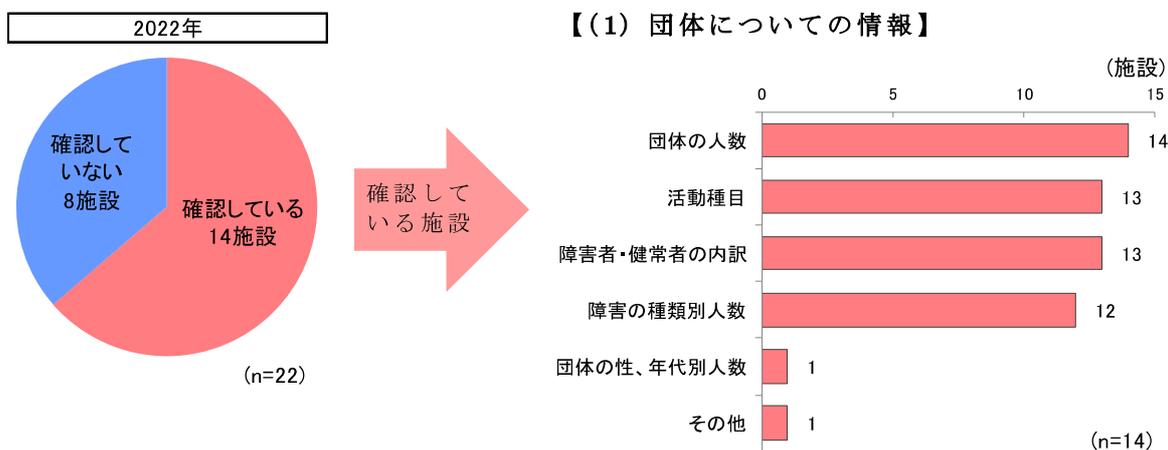
図表 40 団体利用の申請

【全員に】

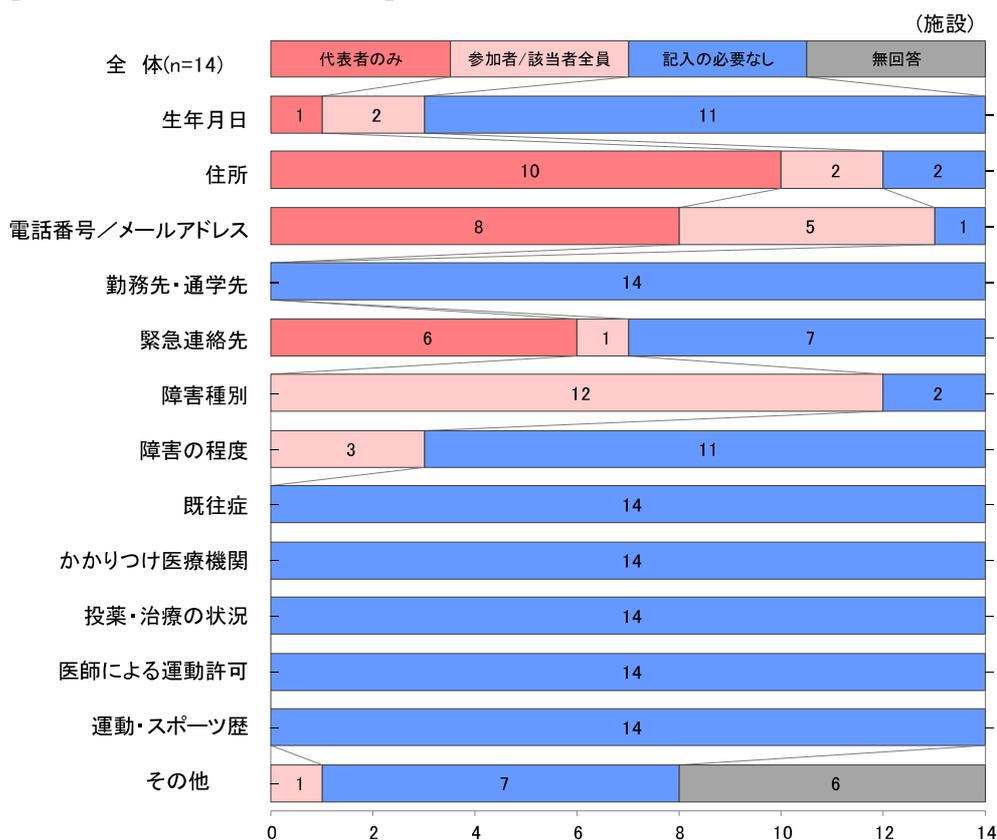
Q8 貴施設では、障害のある方が初めて**団体利用**で施設を利用する際に、障害の種類や健康状態について登録申請書等を通じて確認していますか。(〇は1つ)

【Q8で「1. 確認している」と回答した方に】

Q9 初めての**団体利用の際**に、記載していただく内容について、下記の(1)と(2)のそれぞれについて、お答えください。



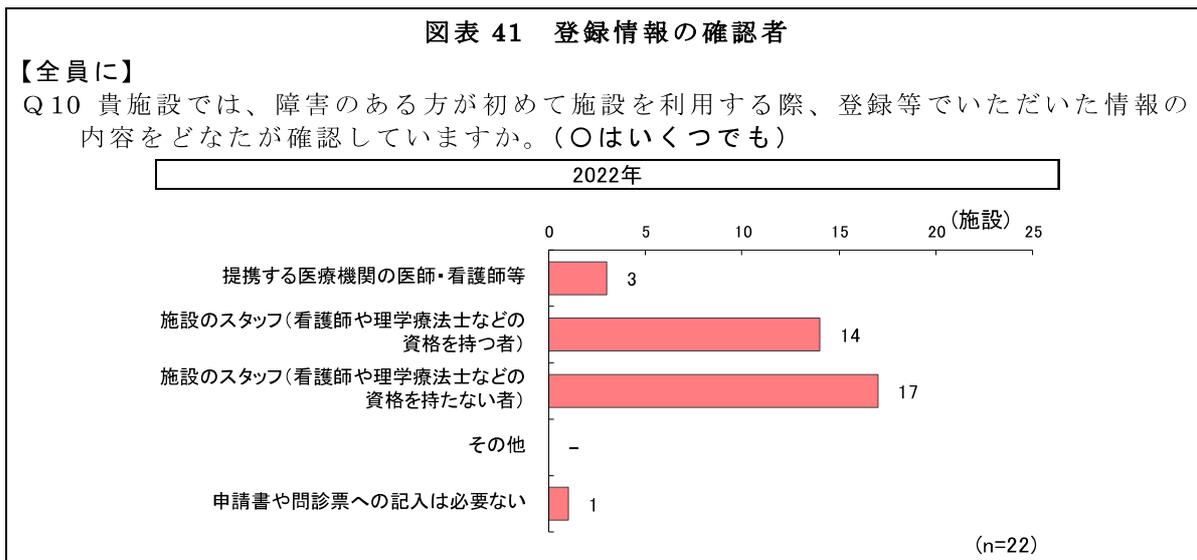
【(2) 参加者についての情報】



障害者が、初めて団体利用で施設を利用する際に、障害の種類や健康状態について記入する登録申請書等で「確認している」施設は 22 施設中 14 施設であった。(図表 40)

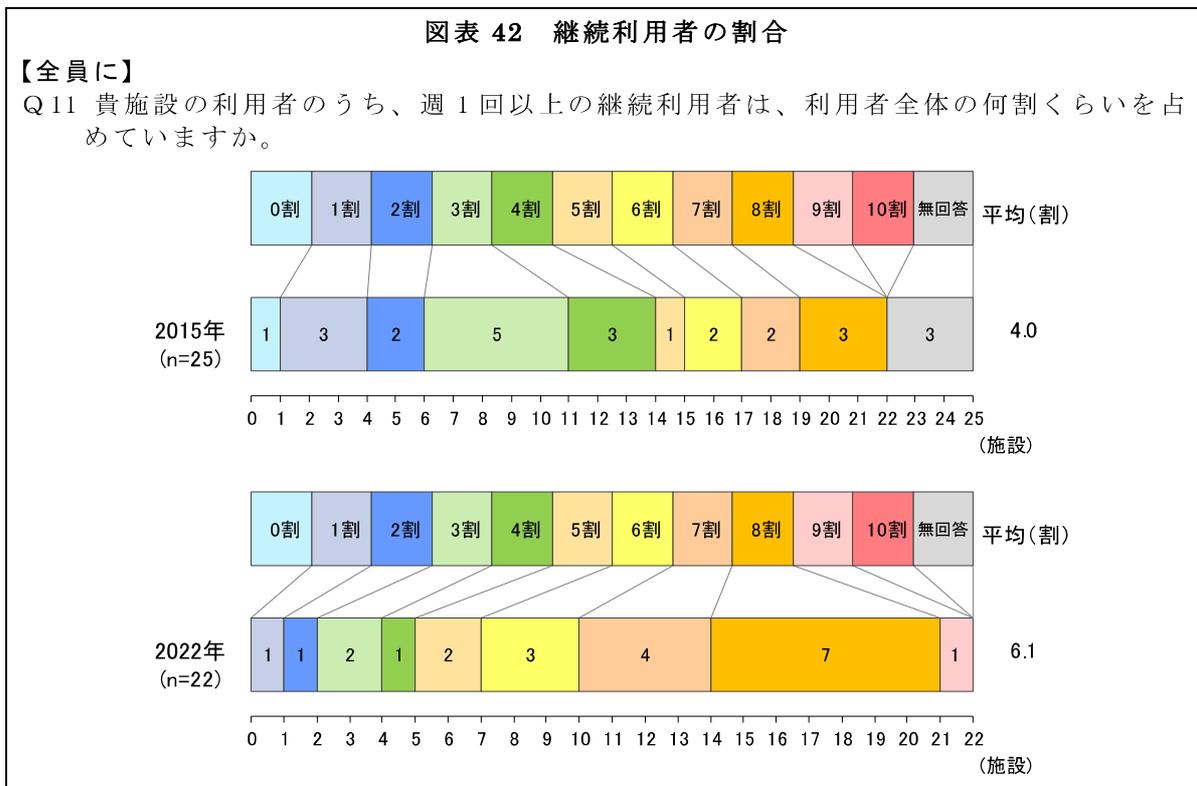
“団体についての情報”としては、「団体の人数」を 14 施設で求めており、“参加者についての情報”としては、「障害種別」を 12 施設で参加者全員に求めていた。

(5) 登録情報の確認者



登録情報の確認者（図表 41）をみると、22 施設中 17 施設が「施設のスタッフ（看護師や理学療法士などの資格を持たない者）」、14 施設が「施設のスタッフ（看護師や理学療法士などの資格を持つ者）」、3 施設が「提携する医療機関の医師・看護師等」であった。

(6) 継続利用者の割合



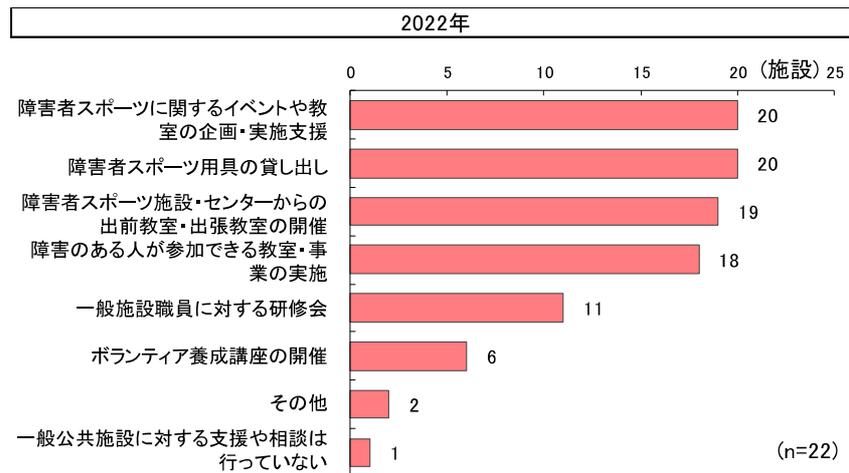
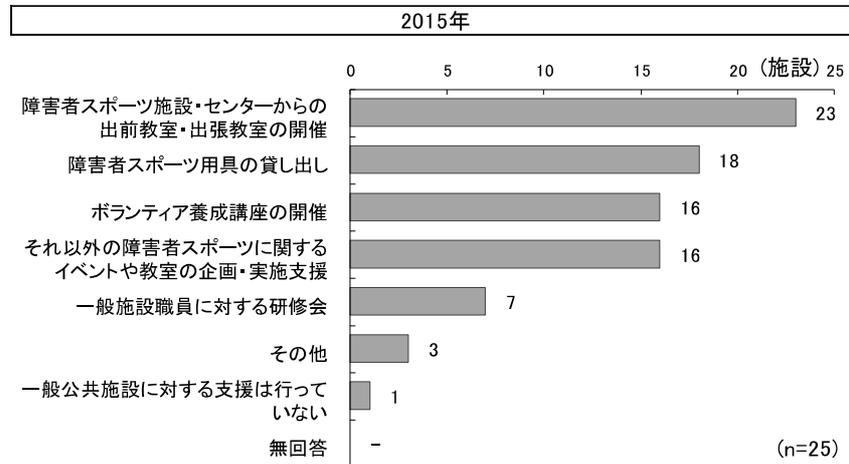
施設利用者のうち週 1 回以上の継続利用者の占める割合は、「8 割」が 22 施設中 7 施設、「7 割」が 4 施設であった。(図表 42) 週 1 回以上の継続利用者の占める割合は 2015 年の平均 4.0 割から、2022 年の平均 6.1 割と増加していた。

(7) 地域の一般公共施設への支援

図表 43 地域の一般公共施設への支援

【全員に】

Q12 地域の一般公共施設で行われる障害のある方の利用促進に関する取り組みについて、貴施設が支援することや相談を受けることはありますか。あてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)



地域の一般公共施設で行われる、障害者の利用促進に関する取組について支援することとしては(図表43)、「障害者スポーツに関するイベントや教室の企画・実施支援」と「障害者スポーツ用具の貸し出し」を22施設中20施設と最も多く、以下、「障害者スポーツ施設・センターからの出前教室・出張教室の開催」が19施設、「障害のある人が参加できる教室・事業の実施」が18施設、「一般施設職員に対する研修会」が11施設の順となっている。

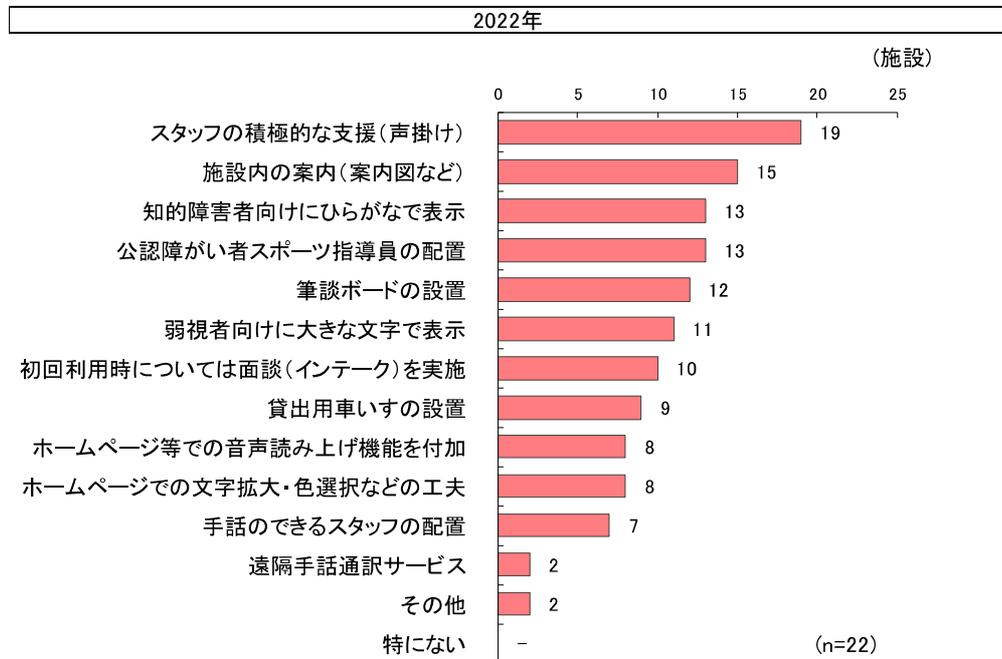
(8) 障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な配慮

図表 44 障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な配慮

【全員に】

Q13 貴施設が所在する自治体にある公共のスポーツ施設について、障害者の方の利用促進のため、優先的に行っていかなければならない配慮は何ですか。

(○はいくつでも)



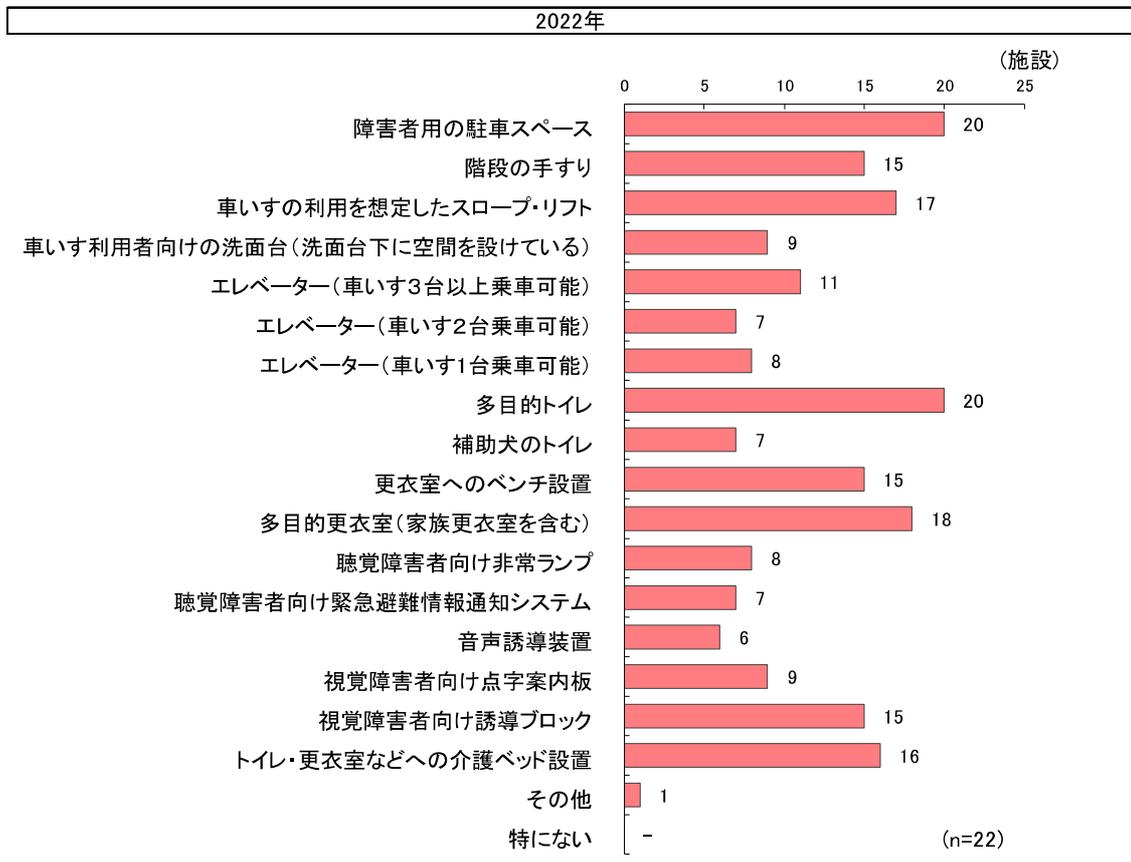
施設が所在する自治体の公共スポーツ施設について、障害者の方の利用促進のため、優先的に行っていかなければならない配慮としては（図表 44）、「スタッフの積極的な支援（声掛け）」が 22 施設中 19 施設であった。次いで、「施設内の案内（案内図など）」が 15 施設、「知的障害者向けにひらがなで表示」と「公認障がい者スポーツ指導員の配置」が 13 施設、「筆談ボードの設置」が 12 施設となっていた。

(9) 障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な設備

図表 45 障害者利用促進のために公共スポーツ施設に必要な設備

【全員に】

Q14 貴施設が所在する自治体にある公共のスポーツ施設について、障害者の方の利用促進のため、設備として優先的に設置をしていかなければならないと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)



施設が所在する自治体の公共スポーツ施設について、障害者の利用促進のため必要だと思う設備としては(図表45)、「障害者用の駐車スペース」と「多目的トイレ」が22施設中20施設であった。次いで、「多目的更衣室(家族更衣室を含む)」が18施設、「車いすの利用を想定したスロープ・リフト」が17施設、「トイレ・更衣室などへの介護ベッド設置」が16施設であった。

(10) 障害者が施設を利用する際の配慮や取り組み

図表 46 障害者が施設を利用する際の配慮や取り組み

【全員に】

Q15 貴施設において、日ごろ、利用者が施設内の設備を利用したり、プログラム等に参加したりする際に、声掛けや支援、配慮などでしていることがありましたら、具体的にお教えてください。

○障害のある人全般に対して

**障害の程度に合わせたサポートや提案(8件)**

- ・利用者一人ひとりに合った対応を心がけ、目的とされていることを把握し、必要とされている支援ができるように努めています。
- ・それぞれの障害に合わせて配慮ができるよう声をかけている。
- ・「できない」を「やったらできた」になるように声掛け

**わかりやすい説明や情報保障(7件)**

- ・わかりやすい説明や情報保障には気を付けている。
- ・情報発信するときにできるだけ漏れなく伝わるように、発信方法を複数用意している。

**積極的な挨拶・声掛け(7件)**

- ・親しみを込めた「笑顔の挨拶」を積極的に行っている。
- ・障害や個人の特徴に合わせた声かけ

**体調の把握(3件)**

- ・積極的なコミュニケーションを通じて、相手の顔色や表情、仕草や動作などの反応の確認(いつもと異なる様子を察知した場合は、その旨の確認)
- ・当日の体調等を把握するためのコミュニケーション。

**用具の工夫(2件) 基本方針に沿った対応(1件) 季節ごとの体調管理(1件) 空調による温度調節(1件)**

**社会参加の促進や生きがい作りの支援(1件) 医師の診断や介護者の確保(1件)**

○身体障害のある人全般に対して

**障害の程度に合わせたサポートや提案(8件)**

- ・身体状況の確認をして、必要な準備を整える。
- ・可動域や運動制限の確認

**わかりやすい説明や情報保障(6件)**

- ・視覚障害のある人の場合、声をかけている人が誰なのかが分かるように自ら先に名のる。聴覚障害のある人の場合、相手の視線に入り、手話やジェスチャーを交えたコミュニケーションを行っている。
- ・視覚や聴覚に障害がある人に対しても十分な情報が伝わるよう掲示物や音声で案内しているが、個々にも対応している。

**用具の工夫(6件)**

- ・設備やスポーツ器具など、障害によっては使いづらい場合もあるので、個々に使いやすいよう対応している。
- ・安全面に配慮し、安心して利用していただけるように設備や道具の工夫、声掛けに努めています。

**積極的な挨拶・声掛け(4件)**

- ・必要とされている支援を障害だけで判断せず、本人の意思を尊重する。
- ・当日の体調等を把握するためのコミュニケーション。

**安全確保のための整理・整頓(3件)**

- ・安全確保のための整理・整頓。
- ・準備、片付け時の支援

**障害者の自立を促進(2件) 休憩用の椅子の設置(1件) トイレの便座の温度調整を管理(1件)**

**臨機応変な対応(1件) スタッフや利用者への情報共有(1件) 体調の把握(1件)**

○知的障害のある人全般に対して

**わかりやすい説明や情報保障(10件)**

- ・漢字にルビを付ける。視覚的な情報の活用。分かりやすい言葉を使う。
- ・わかりやすい声かけ。年齢や障害の程度にもよるが、絵で描いたカードを使用するなどの工夫。人権の尊重、言葉遣い、呼称など。
- ・わかりやすく明確な言葉使いを心がけ、行きやすい施設であるように心がけている。

**積極的な挨拶・声掛け(8件)**

- ・本人の行動において不自然な動きがみられる場合には、積極的に声をかける。
- ・わかりやすい表現での声掛けを心がける。

**観察など通じて個人の特性の把握(6件)**

- ・観察を通じて得意な事と苦手な事の把握に努め、スモールステップでの指導を行っている。
- ・のびのびと利用していただけるように、個人の特性の理解とコミュニケーションに努めています。

**保護者・介助者からの聞き取り(3件)**

- ・積極的なコミュニケーションや介助者等からの聞き取りを通じて、効果的なコミュニケーション方法の選択を行っている。
- ・必要に応じて、日常生活等の情報も聞き取り、対応を検討する。
- ・保護者からの聞き取り

**障害の程度に合わせたサポートや提案(2件)**

○精神障害のある人全般に対して

**積極的な挨拶・声掛け(関係性構築)(8件)**

- ・症状が多岐にわたるため、コミュニケーションをとり、関係性を構築することを心がける。
- ・体調が悪い時にも頑張りすぎないような声かけを心がけている

**体調の把握(6件)**

- ・体調の変化に気づきづらい方もいるので、こまめな声かけと様子の確認
- ・服薬の影響により疲れやすいことがあるため、体調変化などの様子確認とこまめな声掛けを行っている。
- ・季節の変わり目など、特に精神が不安定になる時期には注意して監視している。

**わかりやすい説明や情報保障(4件)**

- ・肯定的な表現と承認すること。見通しが立ちやすいような説明。
- ・コミュニケーションはゆっくりと相手の理解度を確認しながら行っている。

**個人の特性の把握(3件) 距離感を大事に見守りつつ、必要に応じて対応(1件) 障害の程度に合わせたサポートや提案(1件)**

[WEB 画面]

## スポーツ施設等における障害者の利用状況調査

調査依頼状は下記からダウンロードください。

[URL]

### <回答方法>

- ①本調査はインターネットでの回答をお願いしております。
- ②eメールに記載されている貴施設のID（アルファベット2文字＋数字4文字）を半角で入力してから回答を開始してください。

※郵便で依頼状が届いた施設の方は、依頼状に貴施設のIDが記載されています。

貴施設のID：

- ③質問紙を参考にご覧になりたい方は下記からダウンロードください。

回答はインターネットでお願いします。

[URL]

- ④画面が表示されない、ログインが拒否される場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### <問い合わせ先>

株式会社 日本リサーチセンター

所在地：東京都墨田区江東橋 4-26-5

本件お問い合わせアドレス：[paraspo@nrc.co.jp](mailto:paraspo@nrc.co.jp)

※お問い合わせいただく際は、必ず施設名または施設IDを記載ください。

### <日本リサーチセンターのご紹介>

株式会社日本リサーチセンターは、1960年に創設された、総合調査機関のひとつです。個人情報保護法、及び一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の「マーケティング・リサーチ綱領」を遵守して、世論調査・社会調査を行っております。

HP：<https://www.nrc.co.jp/>

### <日本リサーチセンター個人情報保護方針>

<https://www.nrc.co.jp/privacy/index.html>

【全員に】

Q1 貴施設の概要についてお伺いします。

(1) 施設名（正式名称）	NA 不可
(2) 施設の開設年	西暦 年 ※半角数字 4 桁 NA 可
(3) 施設の設置者	NA 可
(4) 施設の管理、運営者	NA 可

※アラート：(1) 施設名（正式名称）が無回答

→「(1) 施設名（正式名称）」は必ず回答してください

次へ

【全員に】

Q2 貴施設内にある **スポーツ施設** をすべてお答えください。（〇はいくつでも）

1 プール（屋内）	9 テニスコート（屋内）
2 プール（屋外）	10 テニスコート（屋外）
3 体育館	11 トレーニングルーム
4 武道場	12 スタジオ
5 陸上競技場	13 アーチェリー場
6 野球場	14 その他
7 卓球場	（具体的に NA 不可）
8 球技場(サッカー場等)	15 いずれの施設もない

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【Q2 で「1～14.施設がある」と回答した方に】

Q3 貴施設内において、**指導員・監視員等のスタッフを配置している施設** をすべてお答えください。ただし、入館時の受付を主たる業務とするスタッフは含めません。

（〇はいくつでも）

1 プール（屋内）	9 テニスコート（屋内）
2 プール（屋外）	10 テニスコート（屋外）
3 体育館	11 トレーニングルーム
4 武道場	12 スタジオ
5 陸上競技場	13 アーチェリー場
6 野球場	14 その他（Q2.14 の回答表示）
7 卓球場	15 スタッフが配置されている施設はない
8 球技場(サッカー場等)	

※排他設定：最後の選択肢

※選択肢表示設定：選択肢 1～14 は、Q2 で回答があった選択肢のみ表示

次へ

【Q3で「1. プール(屋内)」と回答した方に】

Q4 貴施設の**プール(屋内)**についてお聞きします。

(1)指導員・監視員等のスタッフは、どのように配置されていますか。(〇は1つ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 常時配置                    |
| 2 所定の時間に配置                |
| 3 敷地内を巡回するスタッフを配置         |
| 4 その他(具体的に <b>NA 不可</b> ) |

(2)配置されているスタッフは、日ごろ、施設の利用者に対して実技指導をしていますか。貴施設で主催するイベントや教室などでの指導は除いてお答えください。(〇は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 指導している | 2 指導していない |
|----------|-----------|

次へ

【Q3で「2. プール(屋外)」と回答した方に】

Q5 貴施設の**プール(屋外)**についてお聞きします。

(1)指導員・監視員等のスタッフは、どのように配置されていますか。(〇は1つ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 常時配置                    |
| 2 所定の時間に配置                |
| 3 敷地内を巡回するスタッフを配置         |
| 4 その他(具体的に <b>NA 不可</b> ) |

(2)配置されているスタッフは、日ごろ、施設の利用者に対して実技指導をしていますか。貴施設で主催するイベントや教室などでの指導は除いてお答えください。(〇は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 指導している | 2 指導していない |
|----------|-----------|

次へ

【Q3で「11. トレーニングルーム」と回答した方に】

Q6 貴施設の**トレーニングルーム**についてお聞きします。

(1)指導員・監視員等のスタッフは、どのように配置されていますか。(〇は1つ)

- |                           |
|---------------------------|
| 1 常時配置                    |
| 2 所定の時間に配置                |
| 3 敷地内を巡回するスタッフを配置         |
| 4 その他(具体的に <b>NA 不可</b> ) |

(2)配置されているスタッフは、日ごろ、施設の利用者に対して実技指導をしていますか。貴施設で主催するイベントや教室などでの指導は除いてお答えください。(〇は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 指導している | 2 指導していない |
|----------|-----------|

次へ

【Q2で「1. プール(屋内)」「2. プール(屋外)」と回答した方に】

Q7 貴施設の**プール(屋内/屋外)**では、障害のある方の利用を促すための専用、もしくは優先のコース/レーンを設置していますか。(〇は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 設置している | 2 設置していない |
|----------|-----------|

次へ

【Q7で「1.設置している」と回答した方に】

Q8 貴施設の**プール（屋内／屋外）**で設置されている**障害のある方の利用を促すための専用、もしくは優先のコース／レーン**についてお聞きします。

(1)月平均で何日くらい設置していますか。(半角整数)

月平均  日くらい

※アラート：1～31以外→「Q8(1)は1～31の範囲でお答えください。」

(2)1回あたりどのくらいの時間を設置していますか。(半角整数)

※分数に換算してお答えください。

1回あたり  分

※アラート：1～1440以外→「Q8(2)は1～1440の範囲でお答えください。」

(3)1回あたり何コース設置していますか。(半角整数)

1回あたり  コース

※アラート：1～10以外→「Q8(3)は1～10の範囲でお答えください。」

【Q7で「2.設置していない」と回答した方に】

Q9 貴施設の**プール（屋内／屋外）**では、障害のある方の利用を促すための専用、もしくは優先のコース／レーンを設置していないとのことですが、障害のある方がプール利用時に何か配慮している事などがあれば、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。特にない場合は「特になし」とお書きください。

【Q2で「1.プール(屋内)」「2.プール(屋外)」と回答した方に】

Q10 貴施設の**プール（屋内／屋外）**を、車いすの方が利用するための条件はありますか。

(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 介助者を同伴する（障害の程度に応じて）</li><li>2 プール入水前に専用の車いすに乗り換える（利用者自身の車いすは不可）</li><li>3 その他（具体的に <input type="text" value="NA 不可"/> )</li><li>4 車いすの方の利用にあたり、条件は設けていない</li></ol> |
|--|

※排他設定：最後の選択肢

【Q2で「1.プール(屋内)」「2.プール(屋外)」と回答した方に】

Q11 貴施設の**プール(屋内/屋外)入水前のプールサイド**において、車いす以外の補装具で利用を制限しているものはありますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 義肢(義手・義足)</li><li>2 装具(上肢装具・下肢装具・体幹装具・靴型装具)</li><li>3 水中用の歩行靴(アクアシューズ)</li><li>4 歩行器</li><li>5 歩行補助つえ</li><li>6 眼鏡</li><li>7 補聴器</li><li>8 その他(具体的に NA 不可 )</li><li>9 特になし</li></ol> |
|--|

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【Q2で「3.体育館」と回答した方に】

Q12 貴施設の**体育館**を、車いすの方が利用するための条件はありますか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 車いすのタイヤを清掃する</li><li>2 室内専用の車いすを利用する</li><li>3 床面が損傷する危険のない使用方法をする</li><li>4 その他(具体的に NA 不可 )</li><li>5 車いすの方の利用にあたり、条件は設けていない</li></ol> |
|--|

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【Q2で「3.体育館」と回答した方に】

Q13 貴施設の**体育館**において、車いす以外の補装具で利用を制限しているものはありますか。  
(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 義肢(義手・義足)</li><li>2 装具(上肢装具・下肢装具・体幹装具・靴型装具)</li><li>3 歩行器</li><li>4 歩行補助つえ</li><li>5 眼鏡</li><li>6 補聴器</li><li>7 その他(具体的に NA 不可 )</li><li>8 特になし</li></ol> |
|---|

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【Q2で「3.体育館」と回答した方に】

Q14 貴施設の**体育館**を、車いす競技の団体が利用する際、損傷に備えて対応していますか。  
(○はいくつでも)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 損傷部分のみ修復できるよう、パネル式の床を使う</li><li>2 損傷を防ぐように、シート等の保護材で床を保護する</li><li>3 損傷した場合、利用者負担で原状回復を依頼する</li><li>4 その他（具体的に <b>NA 不可</b> )</li><li>5 損傷に備えた対応はしていない</li></ol> |
|--|

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【全員に】

Q15 貴施設では、**2019年から2022年の間に障害のある方の利用**がありましたか。  
(○は1つ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 利用があった</li><li>2 利用がなかった</li><li>3 障害のある方の利用状況は把握していない</li></ol> |
|--|

次へ

【Q15で「1.利用があった」と回答した方に】

Q16 貴施設では、**障害のある方の年間利用人数**を把握していますか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 把握している</li><li>2 把握していない</li></ol> |
|--|

次へ

【Q16で「1.把握している」と回答した方に】

Q17 **貴施設における障害のある方の2019年度の年間利用人数**は、それ以前と比べて増えていましたか。※2020年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減っている事が考えられるので、2019年度とそれ以前の比較でお聞きしています。(○は1つ)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 増えていた</li><li>2 変わらない</li><li>3 減っていた</li><li>4 わからない</li></ol> |
|---|

次へ

【Q15で「1.利用があった」と回答した方に】

Q18 貴施設では、2019年から2022年の間に以下のような障害のある方向けの事業やイベント等を主催・共催していますか。(〇はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 障害のある方が参加するスポーツ・運動・レクリエーションなどの大会・イベント開催 |
| 2 | 障害のある方が参加する運動やスポーツの体験会                  |
| 3 | マラソン大会などの障害者部門                          |
| 4 | 貴施設が主催する大会・イベント・スポーツ教室                  |
| 5 | 障害者スポーツ協会等の貴施設以外の団体が主催する大会・イベント・スポーツ教室  |
| 6 | 一般の方向けのパラスポーツの体験会                       |
| 7 | その他(具体的に NA 不可 )                        |
| 8 | 障害のある方向けの事業やイベントを主催・共催していない             |

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【Q15で「1.利用があった」と回答した方に】

Q19 2019年から2022年の間に、貴施設を利用した障害のある方が行ったスポーツ、貴施設で障害のある方向けの事業やイベント等を主催・共催した際のスポーツをお答えください。(〇はいくつでも)

(1) 球技やチームスポーツ

- |    |                      |    |              |
|----|----------------------|----|--------------|
| 1  | ソフトボール               | 16 | ボウリング        |
| 2  | 野球                   | 17 | 車いすラグビー      |
| 3  | グラウンドゴルフ             | 18 | グラウンドソフトボール  |
| 4  | ゴルフ                  | 19 | 車いすテニス       |
| 5  | ゲートボール               | 20 | 車いすバスケットボール  |
| 6  | サッカー                 | 21 | ゴールボール       |
| 7  | フットサル                | 22 | シッティングバレーボール |
| 8  | フットベースボール(キックベースボール) | 23 | フロアバレーボール    |
| 9  | テニス(軟式テニスを含む)        | 24 | 卓球バレー        |
| 10 | 卓球                   | 25 | サウンドテーブルテニス  |
| 11 | バドミントン               | 26 | ティーボール       |
| 12 | ドッジボール               | 27 | ハンドサッカー      |
| 13 | バスケットボール             | 28 | ふうせんバレー      |
| 14 | バレーボール(ソフトバレーボールを含む) | 29 | ブラインドテニス     |
| 15 | フライングディスク            | 30 | ブラインドサッカー    |

(2) 体操・ダンス・トレーニング

- |    |                            |
|----|----------------------------|
| 31 | エアロビックダンス                  |
| 32 | 体操(軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど)        |
| 33 | ダンス(社交ダンス・フォークダンス・フラダンスなど) |
| 34 | 筋力トレーニング(マシントレーニング)        |
| 35 | 筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)   |

(3) 歩く・走る・泳ぐ

- |    |                              |
|----|------------------------------|
| 36 | ウォーキング(ノルディックを含む)、散歩(ぶらぶら歩き) |
|----|------------------------------|

- 37 ジョギング・ランニング・マラソン・駅伝など  
 38 陸上競技  
 39 アクアエクササイズ  
 40 水泳  
 41 水中歩行  
 42 マシンを使った有酸素運動（エアロバイク・ランニングマシーンなど）
- (4) 武道
- 43 空手  
 44 柔道  
 45 太極拳
- (5) ターゲットスポーツ
- 46 ボッチャ  
 47 カローリング、ペタンク、ユニカール  
 48 アーチェリー  
 49 スポーツ吹矢
- (6) その他
- 50 運動会・レクリエーション大会
- (7) (1)～(6) 以外のその他
- 51 その他 1（具体的に NA 不可）  
 52 その他 2（具体的に NA 不可）  
 53 その他 3（具体的に NA 不可）

次へ

【Q19 で「1～53.スポーツ」のいずれかに回答した方に】

Q20 貴施設を利用した障害のある方が行ったスポーツ、貴施設で障害のある方向けの事業やイベント等を主催・共催した際のスポーツでは、**どのような障害の種類の方が**利用しましたか。（○はそれぞれいくつでも）

		視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	オーストメイトメーカー・内部障害（ペースメーカーなど）	知的障害	発達障害	精神障害	障害の種類は把握していない
1) ソフトボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
2) 野球	→	1	2	3	4	5	6	7	8
3) グラウンドゴルフ	→	1	2	3	4	5	6	7	8
4) ゴルフ	→	1	2	3	4	5	6	7	8
5) ゲートボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
6) サッカー	→	1	2	3	4	5	6	7	8
7) フットサル	→	1	2	3	4	5	6	7	8
8) フットベースボール(キックベースボール)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
9) テニス(軟式テニスを含む)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
10) 卓球	→	1	2	3	4	5	6	7	8

11) バドミントン	→	1	2	3	4	5	6	7	8
12) ドッジボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
13) バスケットボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
14) バレーボール(ソフトバレーボールを含む)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
15) フライングディスク	→	1	2	3	4	5	6	7	8
16) ボウリング	→	1	2	3	4	5	6	7	8
17) 車いすラグビー	→	1	2	3	4	5	6	7	8
18) グランドソフトボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
19) 車いすテニス	→	1	2	3	4	5	6	7	8
20) 車いすバスケットボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
21) ゴールボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
22) シットイングバレーボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
23) フロアバレーボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
24) 卓球バレー	→	1	2	3	4	5	6	7	8
25) サウンドテーブルテニス	→	1	2	3	4	5	6	7	8
26) ティーボール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
27) ハンドサッカー	→	1	2	3	4	5	6	7	8
28) ふうせんバレー	→	1	2	3	4	5	6	7	8
29) ブラインドテニス	→	1	2	3	4	5	6	7	8
30) ブラインドサッカー	→	1	2	3	4	5	6	7	8
31) エアロビクダンス	→	1	2	3	4	5	6	7	8
32) 体操(軽い体操・ラジオ体操・ヨガなど)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
33) ダンス(社交ダンス・フォークダンス・フラダンスなど)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
34) 筋力トレーニング(マシーントレーニング)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
35) 筋力トレーニング(ダンベル・自重のトレーニング)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
36) ウォーキング(ノルディックを含む)、散歩(ぶらぶら歩き)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
37) ジョギング・ランニング・マラソン・駅伝など	→	1	2	3	4	5	6	7	8
38) 陸上競技	→	1	2	3	4	5	6	7	8
39) アクアエクササイズ	→	1	2	3	4	5	6	7	8
40) 水泳	→	1	2	3	4	5	6	7	8
41) 水中歩行	→	1	2	3	4	5	6	7	8
42) マシンを使った有酸素運動(エアロバイク・ランニングマシーンなど)	→	1	2	3	4	5	6	7	8
43) 空手	→	1	2	3	4	5	6	7	8
44) 柔道	→	1	2	3	4	5	6	7	8
45) 太極拳	→	1	2	3	4	5	6	7	8
46) ボッチャ	→	1	2	3	4	5	6	7	8
47) カローリング、ペタンク、ユニカール	→	1	2	3	4	5	6	7	8
48) アーチERY	→	1	2	3	4	5	6	7	8
49) スポーツ吹矢	→	1	2	3	4	5	6	7	8
50) 運動会・レクリエーション大会	→	1	2	3	4	5	6	7	8
51) その他 1[Q19-51]回答表示	→	1	2	3	4	5	6	7	8
52) その他 2[Q19-52]回答表示	→	1	2	3	4	5	6	7	8
53) その他 3[Q19-53]回答表示	→	1	2	3	4	5	6	7	8

※排他設定：最後の選択肢

※表側表示制御：Q19 で 1～53 に回答があったもののみ表示

次へ

【全員に】

Q21 貴施設では、障害のある方の施設利用やイベント等の参加に際して、配慮している点はありませんか。(〇はいくつでも)

1	施設内の案内（案内図など）
2	貸出用車いすの設置
3	筆談ボードの設置
4	手話のできるスタッフの配置
5	遠隔手話通訳サービス
6	弱視者向けに大きな文字で表示
7	知的障害者向けにひらがなで表示
8	初回利用時については面談（インタビュー）を実施
9	スタッフの積極的な支援（声掛け）
10	ホームページ等での音声読み上げ機能を付加
11	ホームページでの文字拡大・色選択などの工夫
12	公認障がい者スポーツ指導員の配置
13	その他（具体的に NA 不可）
14	特になし

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【全員に】

Q22 貴施設には、以下の設備がありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	設置されている	今はないが、設置を検討している	設置しておらず、今後も設置する予定等はない
1) 障害者用の駐車スペース →	1	2	3
2) 階段の手すり →	1	2	3
3) 車いすの利用を想定したスロープ・リフト →	1	2	3
4) 車いす利用者向けの洗面台（洗面台下に空間を設けている） →	1	2	3
5) エレベーター（車いす3台以上乗車可能） →	1	2	3
6) エレベーター（車いす2台乗車可能） →	1	2	3
7) エレベーター（車いす1台乗車可能） →	1	2	3
8) 多目的トイレ →	1	2	3
9) 補助犬のトイレ →	1	2	3
10) 更衣室へのベンチ設置 →	1	2	3
11) 多目的更衣室（家族更衣室を含む） →	1	2	3
12) 聴覚障害者向け非常ランプ →	1	2	3
13) 聴覚障害者向け緊急避難情報通知システム（「光」と「文字」により災害発生情報を表示） →	1	2	3
14) 音声誘導装置 →	1	2	3

15) 視覚障害者向け点字案内板	→	1	2	3
16) 視覚障害者向け誘導ブロック	→	1	2	3
17) トイレ・更衣室などへの介護ベッド設置	→	1	2	3

次へ

【全員に】

Q23 貴施設における障害のある方の利用促進のために、配慮している点、工夫している点、積極的にPRしたい点などがありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。特にない場合は「特になし」とお書きください。

NA 不可

【全員に】

Q24 社会的障壁の除去の実施について、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成28年施行）が令和3年5月に改正され、行政機関だけではなく、これまで努力義務にとどまっていた民間事業者による合理的な配慮の提供が法的義務となり、3年以内に施行されます。また、東京都では「東京都障害者への理解促進及び差別解消の推進に関する条例」（平成30年施行）により、行政機関及び民間事業者双方に対し、既に合理的な配慮を義務付けています。これらの法令の施行に伴い、障害のある方の利用促進のために貴施設で取り組まれた事例がありましたらお教えてください。

NA 可

【全員に】

Q25 東京2020パラリンピック競技大会の開催が決定した2013年以降、障害のある方の利用促進のために貴施設で取り組まれた事例がありましたらお教えてください。

例:「大会の開催により障害者の利用増加が見込まれたので、入口にスロープを設置した。」  
「大会を機に障害者スポーツについて意識するようになり、職員に障がい者スポーツ指導員資格の取得を義務付けた。」など

NA 可

次へ

【全員に】

Q26 貴施設では、障害のある方の**個人利用の料金**について、どのような扱いをしていますか。  
(○は1つ)

- 1 免除（無料）
- 2 減額
- 3 区市町村の在勤、在学または在住者は免除（無料）
- 4 区市町村の在勤、在学または在住者は減額
- 5 その他（具体的に **NA 不可** ）
- 6 免除、減額等はない

【全員に】

Q27 貴施設では、障害のある方が**個人利用する場合の同伴者の料金**について、どのような扱いをしていますか。(○は1つ)

- 1 免除（無料）
- 2 減額
- 3 区市町村の在勤、在学または在住者は免除（無料）
- 4 区市町村の在勤、在学または在住者は減額
- 5 その他（具体的に **NA 不可** ）
- 6 免除、減額等はない

次へ

【全員に】

Q28 貴施設では、障害のある方の**団体利用の料金**について、どのような扱いをしていますか。  
(○は1つ)

- 1 免除（無料）
- 2 減額
- 3 区市町村の在勤、在学または在住者は免除（無料）
- 4 区市町村の在勤、在学または在住者は減額
- 5 その他（具体的に **NA 不可** ）
- 6 免除、減額等はない

次へ

【全員に】

Q29 貴施設では、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示が必要ですか。  
(○は1つ)

- 1 初回(登録時)のみ必要
- 2 施設利用時に毎回必要
- 3 その他(具体的に **NA 不可** )
- 4 必要ない
- 5 個人利用は行っていない

次へ

【Q29で「1.初回(登録時)のみ必要」と回答した方に】

Q30 貴施設で、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示が「初回(登録時)のみ」で良い理由はどのような理由からでしょうか。

**NA 不可**

次へ

【Q29で「1～3.提示が必要」と回答した方に】

Q31 貴施設では、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示が必要な理由や場面をお答えください。(〇はいくつでも)

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1 減免           | 4 多目的更衣室を利用する場合           |
| 2 駐車場の利用       | 5 その他(具体的に <b>NA 不可</b> ) |
| 3 配慮を行う必要がある場合 |                           |

次へ

【全員に】

Q32 貴施設では、障害のある方が**団体利用する場合**、障害者手帳の提示が必要ですか。(〇は1つ)

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1 初回(登録時)のみ必要             | 4 必要ない        |
| 2 施設利用時に毎回必要              | 5 団体利用は行っていない |
| 3 その他(具体的に <b>NA 不可</b> ) |               |

次へ

【Q32で「1.初回(登録時)のみ必要」と回答した方に】

Q33 貴施設で、障害のある方が**団体利用する場合**、障害者手帳の提示が「初回(登録時)のみ」で良い理由はどのような理由からでしょうか。

**NA 不可**

次へ

【Q32で「1～3.提示が必要」と回答した方に】

Q34 貴施設では、障害のある方が**団体利用する場合**、障害者手帳の提示が必要な理由や場面をお答えください。(〇はいくつでも)

- |                |                           |
|----------------|---------------------------|
| 1 減免           | 4 多目的更衣室を利用する場合           |
| 2 駐車場の利用       | 5 その他(具体的に <b>NA 不可</b> ) |
| 3 配慮を行う必要がある場合 |                           |

次へ

【全員に】

Q35 貴施設における団体利用についてお伺いします。(障害の有無に関わらず、すべての団体について)  
(1)事前に団体登録が必要ですか。(〇は1つ)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 必要である(窓口での登録・インターネット登録・その他) |
| 2 必要ない                        |

(2)団体登録の要件についてお答えください。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1 当該地区の在勤・在学・在住者の人数等に関する要件がある。<br>〔具体的に <b>NA 不可</b> 〕 |
| 2 その他の要件がある。<br>〔具体的に <b>NA 不可</b> 〕                   |
| 3 特にない   |

※排他設定：最後の選択肢

(3) 団体利用について優先受付（予約、利用）はありますか。（〇はいくつでも）

- |   |                                  |   |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 区市町村の在勤、在学または在住者を優先している          |   |
| 2 | 区市町村の在勤、在学または在住者が半数以上いる団体を優先している |   |
| 3 | これまで定例的に利用している個人または団体を優先している     |   |
| 4 | 障害者や高齢者による団体等に一定の優先枠を設けている       |   |
| 5 | その他（具体的に <b>NA 不可</b>            | ） |
| 6 | 優先受付（予約、利用）はない                   |   |

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【全員に】

Q36 貴施設では、ジェンダーや障害を理由に男性更衣室・女性更衣室の利用を嫌がる方が利用できるその他の更衣室を設置していますか。（〇は1つ）

- |   |                            |   |
|---|----------------------------|---|
| 1 | 専用の多目的更衣室（家族更衣室を含む）を設置している |   |
| 2 | 必要に応じて、空き部屋等を更衣室として提供している  |   |
| 3 | その他（具体的に <b>NA 不可</b>      | ） |
| 4 | 男性更衣室・女性更衣室以外の更衣室はない       |   |

【全員に】

Q37 公益財団法人日本パラスポーツ協会では、国内における障害者のスポーツの普及と発展をめざし、「障がい者スポーツ指導員」の公認指導者制度を制定していますが、貴施設には、障がい者スポーツ指導員を配置していますか。（〇は1つ）

- |   |                          |   |         |
|---|--------------------------|---|---------|
| 1 | 配置している→（ <b>NA 不可</b> 名） | 3 | 把握していない |
| 2 | 配置していない                  |   |         |

次へ

【Q37で「1.配置している」と回答した方に】

Q38 「障がい者スポーツ指導員」の配置状況をお教えてください。（〇は1つ）

- |   |          |   |              |
|---|----------|---|--------------|
| 1 | 常時配置している | 2 | 所定の時間に配置している |
|---|----------|---|--------------|

次へ

【全員に】

Q39 貴施設には、障害のある方が施設を利用する場合の対応等について記載したマニュアルがありますか。（〇は1つ）

- |   |    |   |                       |   |
|---|----|---|-----------------------|---|
| 1 | ある | 3 | その他（具体的に <b>NA 不可</b> | ） |
| 2 | ない |   |                       |   |

次へ

【全員に】

Q40 貴施設における障害のある方の利用に関して、不安な点や悩んでいる点などがありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。特に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成28年施行）に関して、不安な点や悩んでいる点などがありましたらお知らせください。

**NA 可**

--

次へ

**【全員に】**

Q41 アンケートの内容やヒアリングについて、後日照会をさせていただくために、次の質問でご回答者の連絡先（所属、回答者名、役職、電話、FAX、メールアドレス）をお聞きします。ご記入いただく個人情報は、本調査のお問い合わせのみに利用し、他の用途に使用することは一切ございません。個人情報は株式会社日本リサーチセンターが責任を持って管理し、本調査終了後に速やかに消去いたします。ご連絡先をご回答いただけますでしょうか。（○は1つ）

<日本リサーチセンター 個人情報保護方針>

<https://www.nrc.co.jp/privacy/index.html>

- |                           |
|---------------------------|
| <b>1</b> 上記に同意し、連絡先を回答します |
| <b>2</b> 上記に同意しない         |

※同意しない場合は調査終了

（完了票とする→「ご協力いただき、誠にありがとうございました。」）

次へ

**【Q41で「1.同意する」と回答した方に】**

アンケートの内容やヒアリングについて、後日照会する場合のために、以下のご記入をお願いいたします。

連絡・照会先	所属先（部局課（室）） <small>（係名までご記入ください）</small>	NA 不可		
	回答者氏名	NA 不可	役職	NA 可
	TEL	NA 不可		
	FAX	NA 可		
	Email	NA 不可		

次へ

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

[WEB 画面]

## 障害者スポーツ施設の利用状況調査

調査依頼状は下記からダウンロードください。

[URL]

### < 回答方法 >

- ① 本調査はインターネットでの回答をお願いしております。
- ② eメールに記載されている貴施設のID（アルファベット2文字＋数字4文字）を半角で入力してから回答を開始してください。

※郵便で依頼状が届いた施設の方は、依頼状に貴施設のIDが記載されています。

貴施設のID：

- ③ 質問紙を参考にご覧になりたい方は下記からダウンロードください。  
回答はインターネットでお願いします。

[URL]

- ④ 画面が表示されない、ログインが拒否される場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

### < 問い合わせ先 >

株式会社 日本リサーチセンター

所在地：東京都墨田区江東橋 4-26-5

本件お問い合わせアドレス： [paraspo@nrc.co.jp](mailto:paraspo@nrc.co.jp)

※お問い合わせいただく際は、必ず施設名または施設IDを記載ください。

### < 日本リサーチセンターのご紹介 >

株式会社日本リサーチセンターは、1960年に創設された、総合調査機関のひとつです。個人情報保護法、及び一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の「マーケティング・リサーチ綱領」を遵守して、世論調査・社会調査を行っております。

HP： <https://www.nrc.co.jp/>

### < 日本リサーチセンター個人情報保護方針 >

<https://www.nrc.co.jp/privacy/index.html>

【全員に】

Q1 貴施設は、障害者**専用**施設ですか、それとも障害者**優先**施設ですか。  
(○は1つ)

1 専用施設	2 優先施設
--------	--------

次へ

【全員に】

Q2 貴施設の**常勤スタッフ数**と**非常勤スタッフ数**をお答えください。また、特定の資格を持っているスタッフ数も合わせてお答えください。一人のスタッフが複数の資格を持っている場合はそれぞれの資格でカウントして延べ人数で回答してください。(半角整数)

	常勤スタッフ	非常勤スタッフ
1) スタッフの総数	NA 可	NA 可
2) 初級障がい者スポーツ指導員	NA 可	NA 可
3) 中級障がい者スポーツ指導員	NA 可	NA 可
4) 上級障がい者スポーツ指導員	NA 可	NA 可
5) 障がい者スポーツコーチ	NA 可	NA 可
6) 障がい者スポーツトレーナー	NA 可	NA 可
7) 障がい者スポーツ医	NA 可	NA 可
8) 理学療法士	NA 可	NA 可
9) 作業療法士	NA 可	NA 可
10) 看護師	NA 可	NA 可
11) 柔道整復師	NA 可	NA 可
12) 精神保健福祉士	NA 可	NA 可
13) 社会福祉士	NA 可	NA 可

次へ

【全員に】

Q3 貴施設には、施設利用者のための送迎バス等がありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない
------	------

次へ

【全員に】

Q4 貴施設では、障害のある方が**個人利用する場合**、障害者手帳の提示等が必要ですか。(○は1つ)

1 必要である	3 その他
2 必要ではない	(具体的に NA 不可 )

【全員に】

Q5 貴施設では、障害のある方が**団体利用する場合**、登録時に障害者手帳の提示等が必要ですか。(○は1つ)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1 利用者全員の提示が必要 | 4 減免申請の際に提示が必要    |
| 2 代表者のみ提示が必要  | 5 その他(具体的に NA 不可) |
| 3 必要ではない      |                   |

次へ

【全員に】

Q6 貴施設では、障害のある方が初めて**個人利用**で施設を利用する際に、障害の種類や健康状態について登録申請書等を行い確認していますか。(○は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

次へ

【Q6で「1. 確認している」と回答した方に】

Q7 初めての**個人利用の際**に、記載していただく内容にあてはまるものをすべてお答えください。(○はいくつでも)

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 1 生年月日    | 8 障害の程度            |
| 2 住所      | 9 既往症              |
| 3 電話番号    | 10 かかりつけ医療機関       |
| 4 メールアドレス | 11 投薬・治療の現状        |
| 5 緊急連絡先   | 12 医師による運動の許可      |
| 6 勤務・通学先  | 13 運動・スポーツ歴        |
| 7 障害種別    | 14 その他(具体的に NA 不可) |

次へ

【全員に】

Q8 貴施設では、障害のある方が初めて**団体利用**で施設を利用する際に、障害の種類や健康状態について登録申請書等を行い確認していますか。(○は1つ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 確認している | 2 確認していない |
|----------|-----------|

次へ

【Q8で「1. 確認している」と回答した方に】

Q9 初めての**団体利用の際**に、記載していただく内容について、下記の(1)と(2)のそれぞれについて、お答えください。

(1)団体についての情報(○はいくつでも)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 団体の人数      | 5 障害者・健常者の内訳 |
| 2 活動種目       | 6 その他        |
| 3 団体の性、年代別人数 | (具体的に NA 不可) |
| 4 障害の種類別人数   |              |

(2)参加者についての情報（○はそれぞれ1つつ）

		代表者のみ	参加者/該当者 全員	記入の必要 なし
1) 生年月日	→	1	2	3
2) 住所	→	1	2	3
3) 電話番号/メールアドレス	→	1	2	3
4) 勤務先・通学先	→	1	2	3
5) 緊急連絡先	→	1	2	3
6) 障害種別	→	1	2	3
7) 障害の程度	→	1	2	3
8) 既往症	→	1	2	3
9) かかりつけ医療機関	→	1	2	3
10) 投薬・治療の状況	→	1	2	3
11) 医師による運動許可	→	1	2	3
12) 運動・スポーツ歴	→	1	2	3
13) その他(具体的に NA 不可 )	→	1	2	3

次へ

【全員に】

Q10 貴施設では、障害のある方が初めて施設を利用する際、登録等でいただいた情報の内容をどなたが確認していますか。（○はいくつでも）

1 提携する医療機関の医師・看護師等
2 施設のスタッフ（看護師や理学療法士などの資格を持つ者）
3 施設のスタッフ（看護師や理学療法士などの資格を持たない者）
4 その他（具体的に NA 不可 ）
5 申請書や問診票への記入は必要ない

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【全員に】

Q11 貴施設の利用者のうち、週1回以上の継続利用者は、利用者全体の何割くらいを占めていますか。（半角整数）

およそ 

NA 不可
-------

 割くらい

※アラート：0～10以外→「Q11は0～10の範囲でお答えください。」

次へ

【全員に】

Q 12 地域の一般公共施設で行われる障害のある方の利用促進に関する取り組みについて、貴施設が**支援することや相談を受けること**はありますか。あてはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 障害者スポーツ施設・センターからの出前教室・出張教室の開催   |
| 2 | ボランティア養成講座の開催   |
| 3 | 障害者スポーツに関するイベントや教室の企画・実施支援<br>※障害者スポーツ施設・センターからの出前教室・出張教室の開催、ボランティア養成講座の開催を除く |
| 4 | 一般施設職員に対する研修会   |
| 5 | 障害者スポーツ用具の貸し出し  |
| 6 | 障害のある人が参加できる教室・事業の実施  |
| 7 | その他（具体的に <b>NA 不可</b> )   |
| 8 | 一般公共施設に対する支援や相談は行っていない  |

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【全員に】

Q 13 貴施設が所在する自治体にある公共のスポーツ施設について、障害者の方の利用促進のため、優先的に行っていかなければならない配慮は何ですか。  
(〇はいくつでも)

- |    |                         |
|----|-------------------------|
| 1  | 施設内の案内（案内図など）           |
| 2  | 貸出用車いすの設置               |
| 3  | 筆談ボードの設置                |
| 4  | 手話のできるスタッフの配置           |
| 5  | 遠隔手話通訳サービス              |
| 6  | 弱視者向けに大きな文字で表示          |
| 7  | 知的障害者向けにひらがなで表示         |
| 8  | 初回利用時については面談（インテーク）を実施  |
| 9  | スタッフの積極的な支援（声掛け）        |
| 10 | ホームページ等での音声読み上げ機能を付加    |
| 11 | ホームページでの文字拡大・色選択などの工夫   |
| 12 | 公認障がい者スポーツ指導員の配置        |
| 13 | その他（具体的に <b>NA 不可</b> ) |
| 14 | 特になし                    |

※排他設定：最後の選択肢

【全員に】

Q14 貴施設が所在する自治体にある公共のスポーツ施設について、障害者の方の利用促進のため、設備として優先的に設置をしていかなければならないと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

1	障害者用の駐車スペース
2	階段の手すり
3	車いすの利用を想定したスロープ・リフト
4	車いす利用者向けの洗面台（洗面台下に空間を設けている）
5	エレベーター（車いす3台以上乗車可能）
6	エレベーター（車いす2台乗車可能）
7	エレベーター（車いす1台乗車可能）
8	多目的トイレ
9	補助犬のトイレ
10	更衣室へのベンチ設置
11	多目的更衣室（家族更衣室を含む）
12	聴覚障害者向け非常ランプ
13	聴覚障害者向け緊急避難情報通知システム（「光」と「文字」により災害発生情報を表示）
14	音声誘導装置
15	視覚障害者向け点字案内板
16	視覚障害者向け誘導ブロック
17	トイレ・更衣室などへの介護ベッド設置
18	その他（具体的に NA 不可）
19	特になし

※排他設定：最後の選択肢

次へ

【全員に】

Q15 貴施設において、日ごろ、利用者が施設内の設備を利用したり、プログラム等に参加したりする際に、声掛けや支援、配慮などでしていることがありましたら、具体的にお教えてください。

(1) 障害のある人全般に対して NA 可
(2) 身体障害のある人全般に対して NA 可
(3) 知的障害のある人全般に対して NA 可
(4) 精神障害のある人全般に対して NA 可

次へ

【全員に】

Q 16 東京 2020 パラリンピック競技大会の開催が決定した 2013 年以降、障害のある方の利用促進のために貴施設で取り組まれた事例や変化がありましたらお教えてください。

例:「障害者からの問い合わせが増えた。」「施設見学や体験コースを充実させた。」など

NA 可

次へ

【全員に】

Q 17 貴施設において、新型コロナウイルス感染症対策として実施したことに関してお聞きします。3密を避ける、アルコール消毒、マスク着用などの点で、障害者施設として工夫した点や配慮などしていることがありましたら、具体的にお教えてください。

NA 可

次へ

【全員に】

Q 18 東京 2020 パラリンピック競技大会の開催が決定した 2013 年以降、貴施設が所在する自治体の障害者スポーツを取り巻く環境に変化を感じますか。どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

NA 可

次へ

【全員に】

Q19 アンケートの内容やヒアリングについて、後日照会をさせていただくために、次の質問でご回答者様の連絡先（所属、回答者名、役職、電話、FAX、メールアドレス）をお聞きします。ご記入いただく個人情報は、本調査のお問い合わせのみに利用し、他の用途に使用することは一切ございません。個人情報は株式会社日本リサーチセンターが責任を持って管理し、本調査終了後に速やかに消去いたします。ご連絡先をご回答いただけますでしょうか。（○は1つ）

<日本リサーチセンター 個人情報保護方針>

<https://www.nrc.co.jp/privacy/index.html>

- |                           |
|---------------------------|
| <b>1</b> 上記に同意し、連絡先を回答します |
| <b>2</b> 上記に同意しない         |

※同意しない場合は調査終了

（完了票とする→「ご協力いただき、誠にありがとうございました。」）

次へ

【Q19で「1.同意する」と回答した方に】

アンケートの内容やヒアリングについて、後日照会する場合のために、以下のご記入をお願いいたします。

連絡・照会 先	所属先（部局課（室）） （係名までご記入ください）	NA 不可		
	回答者氏名	NA 不可	役職	NA 可
	TEL	NA 不可		
	FAX	NA 可		
	Email	NA 不可		

次へ

ご協力いただき、誠にありがとうございました。